

藤岡市子ども・子育て支援事業計画に係る
ニーズ調査結果報告書

令和 6 年 11 月

藤岡市 健やか未来部 子ども課

目 次

1 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査の種類、対象者及び実施概要	1
(3) 回収結果	1

2 集計方法

(1) 報告書の見方	1
------------	---

就学前児童調査

1 住まいの地域について	2
2 家族の状況について	3
3 子育てをめぐる環境について	10
4 保護者の就労状況について	17
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	31
6 地域の子育て支援事業の利用状況について	46
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	55
8 病気の際の対応について	63
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	71
10 小学校に入学してからの放課後の過ごし方について	79
11 育児休業や短時間勤務制度などについて	91
12 子育ての情報や環境、子育てへの意識、市の施策について	105
13 子育ての環境や支援に関する意見（自由意見）まとめ	109

1 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、幼稚園・保育所・学童保育室などの教育・保育・子育て支援を計画的に整備※するために、市民の利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません〕

※子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を作成します。

(2) 調査の種類、対象者及び実施概要

この調査の種類と対象者及び実施概要は下表のとおりです。

●調査の種類と対象者

種類	対象者	対象者数
就学前児童	平成30年4月2日～令和6年7月1日の間に生まれた児童のうち、令和6年7月1日現在、住民基本台帳に記載されている児童	1,510人

●実施概要

種類	対象地域	調査形式	配布・回収方法	調査時期
就学前児童	藤岡市全域	アンケート調査	園経由配布及び郵送 フォーム内回答及び郵送回収	令和6年 8月7日～8月25日

(3) 回収結果

この調査の回収結果は下表のとおりです。

●回収結果

区 分	調査票配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,510	548	36.3%

2 集計方法

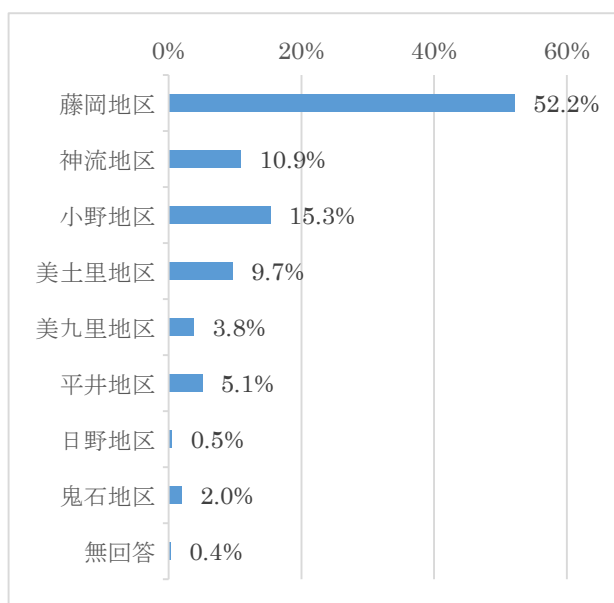
(1) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱う。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱う。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれない。
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し算出しているため合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示している。したがって、合計値は100%にならない場合もある。

1 お住いの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「藤岡地区」の割合が52.2%と最も高く、次いで「小野地区」が15.3%、「神流地区」が10.9%となっています。

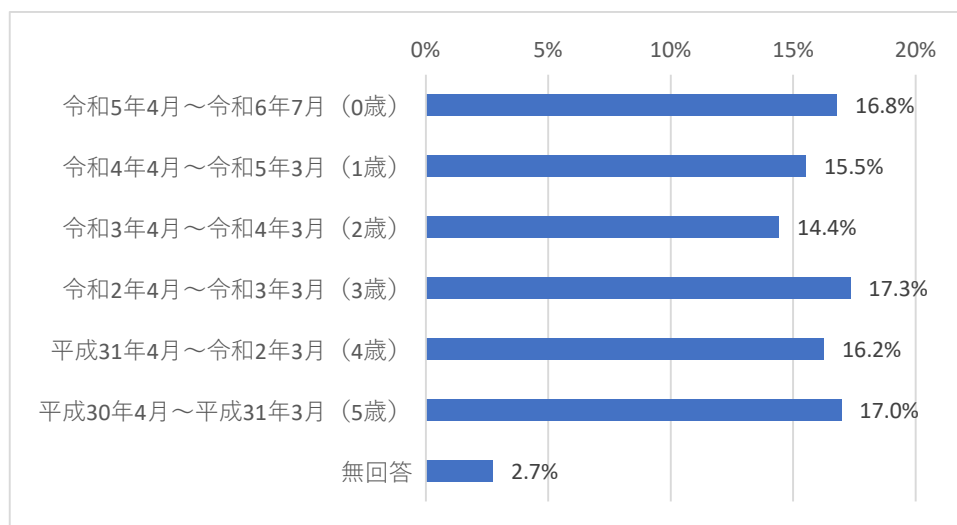


項目	度数	構成比
藤岡地区	286	52.2%
神流地区	60	10.9%
小野地区	84	15.3%
美土里地区	53	9.7%
美九里地区	21	3.8%
平井地区	28	5.1%
日野地区	3	0.5%
鬼石地区	11	2.0%
無回答	2	0.4%
回答者数	548	100.0%

2 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

子どもの年齢(令和6年4月1日基準)は、「3歳」の割合が17.3%と最も高く、ほかはそれぞれ16%前後と同程度の分布となっています。



生年月日 (年齢)	度数	構成比
令和5年4月～令和6年7月 (0歳)	92	16.8%
令和4年4月～令和5年3月 (1歳)	85	15.5%
令和3年4月～令和4年3月 (2歳)	79	14.4%
令和2年4月～令和3年3月 (3歳)	95	17.3%
平成31年4月～令和2年3月 (4歳)	89	16.2%
平成30年4月～平成31年3月 (5歳)	93	17.0%
無回答	15	2.7%
回答者数	548	100.0%

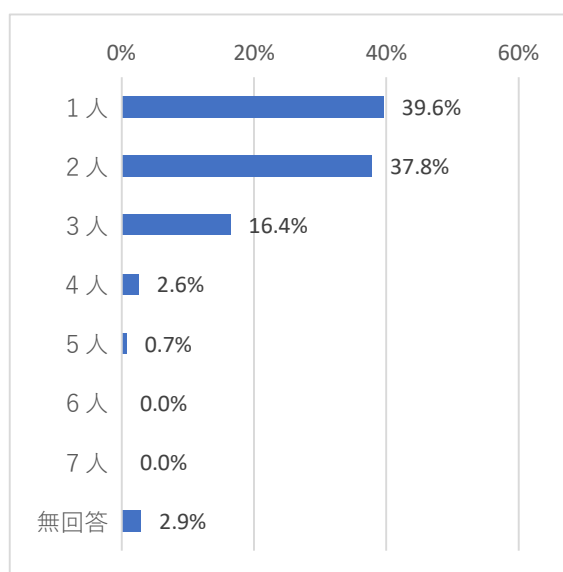
※年齢算出基準日：令和6年4月1日

問3 宛名のお子さんも含め、何人のお子さんがいらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

1世帯あたりの子どもの人数は、「1人」の割合が39.6%と最も高く、次いで「2人」が37.8%、「3人」が16.4%となっています。

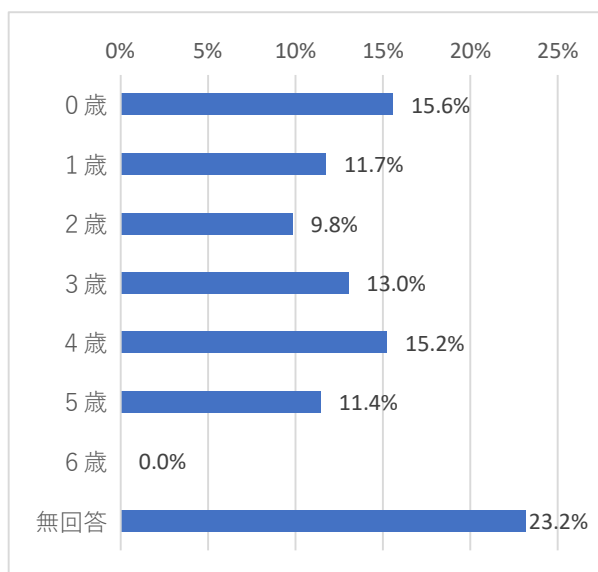
また、2人以上のきょうだいがいる世帯の末子の年齢は、「0歳」の割合が15.6%と最も高くなっています。

■きょうだい数



項目	度数	構成比
1人	217	39.6%
2人	207	37.8%
3人	90	16.4%
4人	14	2.6%
5人	4	0.7%
6人	0	0.0%
7人	0	0.0%
無回答	16	2.9%
回答者数	548	100.0%

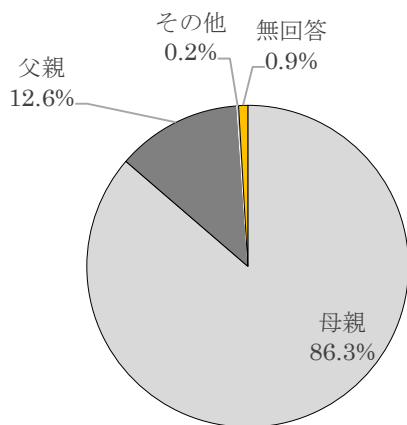
■末子の年齢



項目	度数	構成比
0歳	49	15.6%
1歳	37	11.7%
2歳	31	9.8%
3歳	41	13.0%
4歳	48	15.2%
5歳	36	11.4%
6歳	0	0.0%
無回答	73	23.2%
回答者数	315	100.0%
非該当	233	—

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

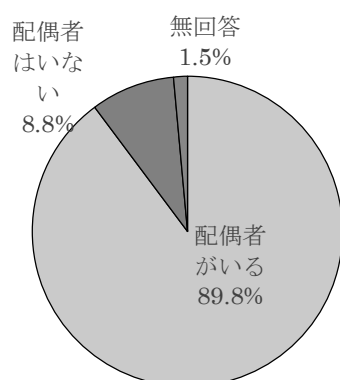
調査票の回答者は、「母親」が86.3%に対し、「父親」が12.6%と、「母親」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
母親	473	86.3%
父親	69	12.6%
その他	1	0.2%
無回答	5	0.9%
回答者数	548	100.0%

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

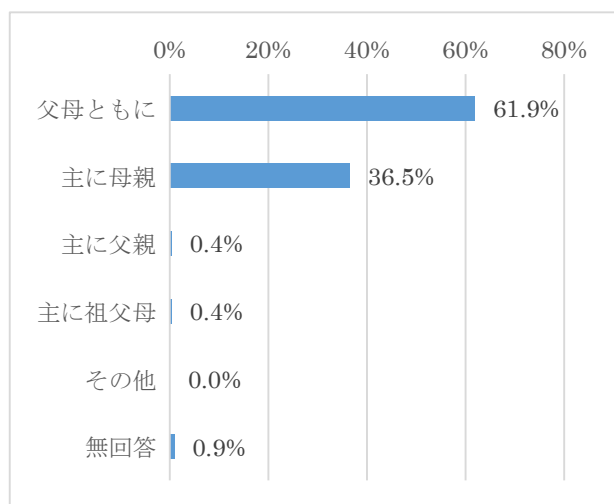
調査票の回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が89.8%に対し、「配偶者はいない」が8.8%となっています。



項目	度数	構成比
配偶者がいる	492	89.8%
配偶者はいない	48	8.8%
無回答	8	1.5%
回答者数	548	100.0%

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

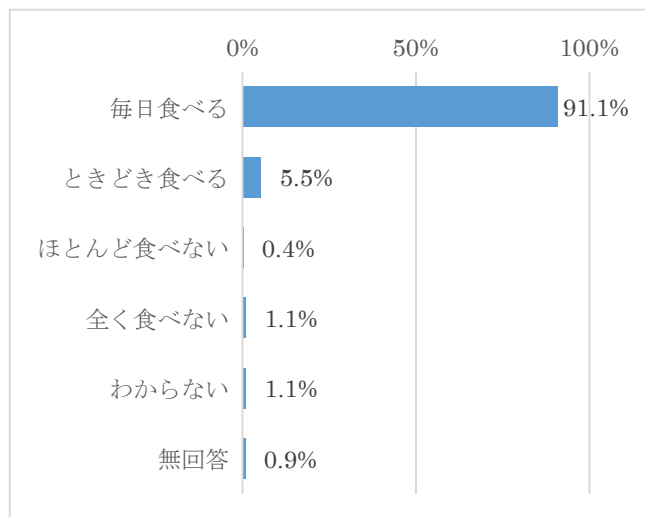
子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「父母ともに」の割合が61.9%と最も高く、「主に母親」が36.5%と続いています。



項目	度数	構成比
父母ともに	339	61.9%
主に母親	200	36.5%
主に父親	2	0.4%
主に祖父母	2	0.4%
その他	0	0.0%
無回答	5	0.9%
回答者数	548	100.0%

問7 宛名のお子さんは、「朝食」を食べていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

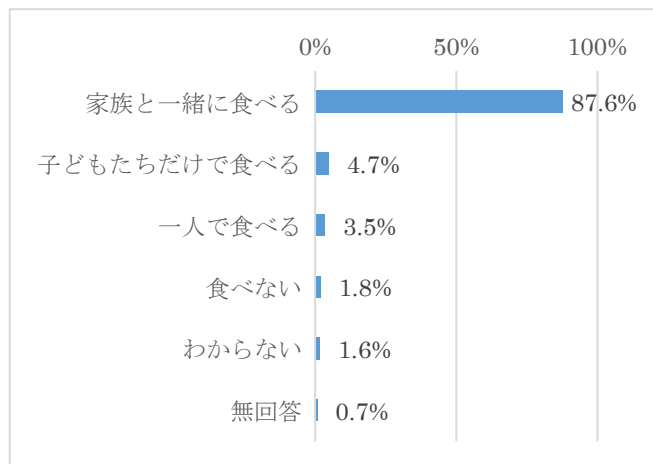
子どもの朝食を摂る状況は、「毎日食べる」が91.1%と高く、次に「ときどき食べる」が5.5%となっています。



項目	度数	構成比
毎日食べる	499	91.1%
ときどき食べる	30	5.5%
ほとんど食べない	2	0.4%
全く食べない	6	1.1%
わからない	6	1.1%
無回答	5	0.9%
回答者数	548	100.0%

問8 宛名のお子さんは、普段どのように「夕食」を食べていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

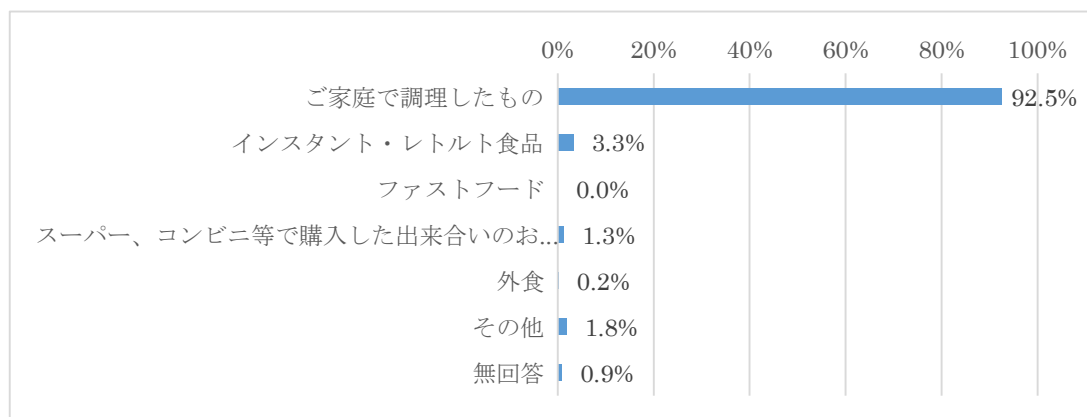
子どもの夕食を食べる状況は、「家族と一緒に食べる」の割合が87.6%と最も高く、「子どもたちだけで食べる」が4.7%、「一人で食べる」が3.5%となっています。



項目	度数	構成比
家族と一緒に食べる	480	87.6%
子どもたちだけで食べる	26	4.7%
一人で食べる	19	3.5%
食べない	10	1.8%
わからない	9	1.6%
無回答	4	0.7%
回答者数	548	100.0%

問9 ご家庭では、普段どのような食事をとることが多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ご家庭での食事の状況は、「ご家庭で調理したもの」の割合が92.5%と最も高くなっています。



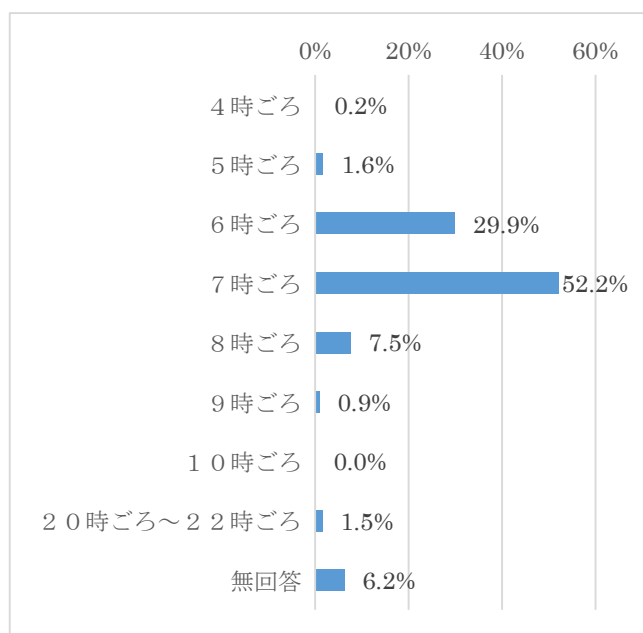
項目	度数	構成比
ご家庭で調理したもの	507	92.5%
インスタント・レトルト食品	18	3.3%
ファストフード	0	0.0%
スーパー、コンビニ等で購入した出来合いのお弁当	7	1.3%
外食	1	0.2%
その他	10	1.8%
無回答	5	0.9%
回答者数	548	100.0%

問 10 宛名のお子さんの起床時間・就寝時間は、だいたい何時ごろですか。時間は必ず（例）０８時～１８時のように、２４時間制でお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

子どもの起床時刻は、「７時ごろ」の割合が 52.2%と最も高く、次に「６時ごろ」が 29.9%、「８時ごろ」が 7.5%となっています。就寝時刻は、「２１時ごろ」が 49.1%、「２２時ごろ」が 25.7%となっています。

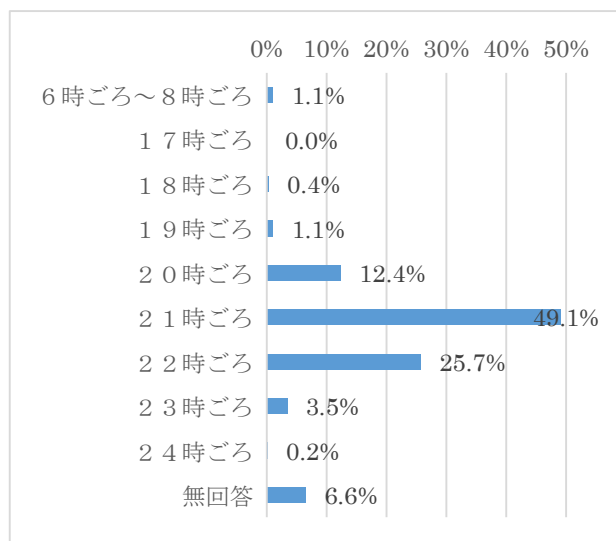
睡眠時間は「約 10 時間」が 44.2%と最も高く、次に「約 9 時間」が 26.9%となっています。

■起床時刻



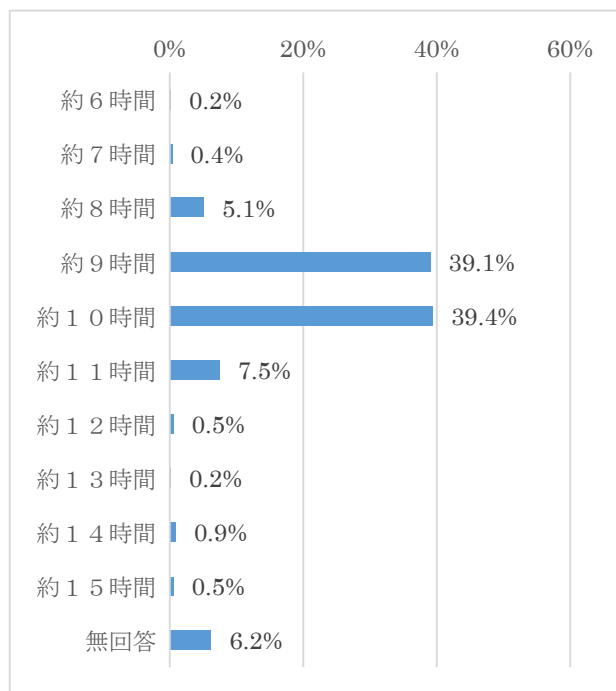
項目	度数	構成比
4時ごろ	1	0.2%
5時ごろ	9	1.6%
6時ごろ	164	29.9%
7時ごろ	286	52.2%
8時ごろ	41	7.5%
9時ごろ	5	0.9%
10時ごろ	0	0.0%
20時 ～22時ごろ	8	1.5%
無回答	34	6.2%
回答者数	548	99.8%

■就寝時刻



項目	度数	構成比
6時～8時ごろ	6	1.1%
1 7時ごろ	0	0.0%
1 8時ごろ	2	0.4%
1 9時ごろ	6	1.1%
2 0時ごろ	68	12.4%
2 1時ごろ	269	49.1%
2 2時ごろ	141	25.7%
2 3時ごろ	19	3.5%
2 4時ごろ	1	0.2%
無回答	36	6.6%
回答者数	548	98.9%

■睡眠時間



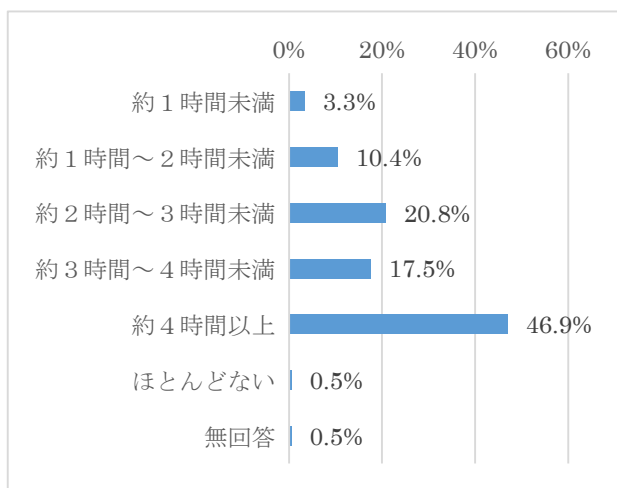
項目	度数	構成比
約6時間	1	0.2%
約7時間	2	0.4%
約8時間	28	5.1%
約9時間	214	39.1%
約10時間	216	39.4%
約11時間	41	7.5%
約12時間	3	0.5%
約13時間	1	0.2%
約14時間	5	0.9%
約15時間	3	0.5%
無回答	34	6.2%
回答者数	548	100.0%

3 子育てをめぐる環境について

問11 宛名のお子さんとふれ合える時間についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 平日1日あたり

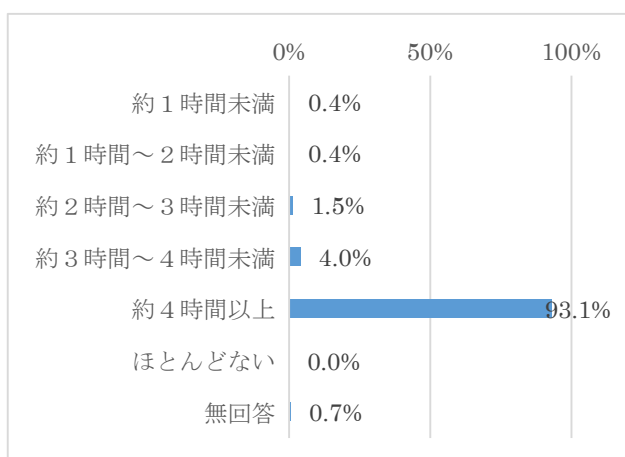
平日の子どもとふれ合える時間は、「約4時間以上」の割合が46.9%と最も高く、「約3時間～4時間未満」17.5%、「約2時間～3時間未満」20.8%となっています。また、「ほとんどない」0.5%、「約1時間未満」3.3%「約1時間～2時間」10.4%となっています。



項目	度数	構成比
約1時間未満	18	3.3%
約1時間～2時間未満	57	10.4%
約2時間～3時間未満	114	20.8%
約3時間～4時間未満	96	17.5%
約4時間以上	257	46.9%
ほとんどない	3	0.5%
無回答	3	0.5%
回答者数	548	100.0%

(2) 休日1日あたり

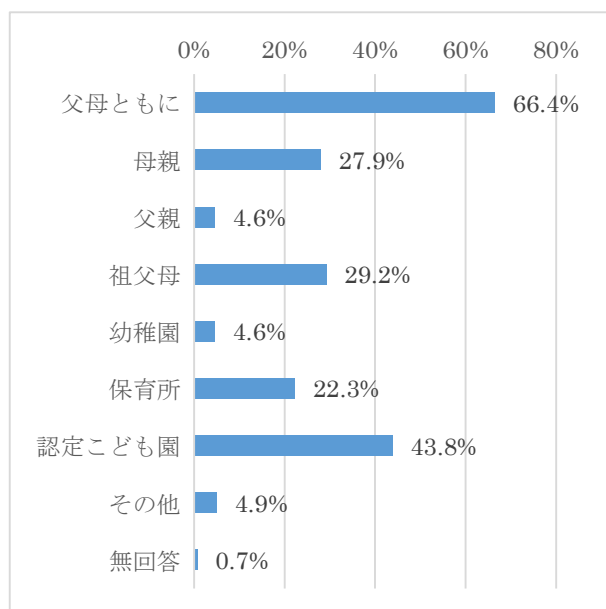
休日の子供とふれ合える時間は、「約4時間以上」の割合が93.1%と最も高く、「約3時間～4時間未満」4.0%、「約2時間～3時間未満」1.5%となっています。また、「約1時間未満」0.4%「約1時間～2時間」は0.4%となっています。



項目	度数	構成比
約1時間未満	2	0.4%
約1時間～2時間未満	2	0.4%
約2時間～3時間未満	8	1.5%
約3時間～4時間未満	22	4.0%
約4時間以上	510	93.1%
ほとんどない	0	0.0%
無回答	4	0.7%
回答者数	548	100.0%

問 12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

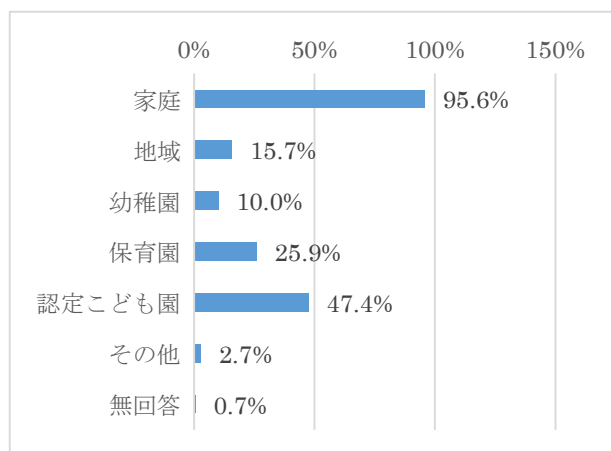
子どもの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、「父母ともに」の割合が 66.4%と最も高く、続いて「認定こども園」が 43.8%となっています。また、「祖父母」の割合も 29.2%と比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
父母ともに	364	66.4%
母親	153	27.9%
父親	25	4.6%
祖父母	160	29.2%
幼稚園	25	4.6%
保育所	122	22.3%
認定こども園	240	43.8%
その他	27	4.9%
無回答	4	0.7%
回答者数	548	—

問 13 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる番号すべてに○をつけてください。

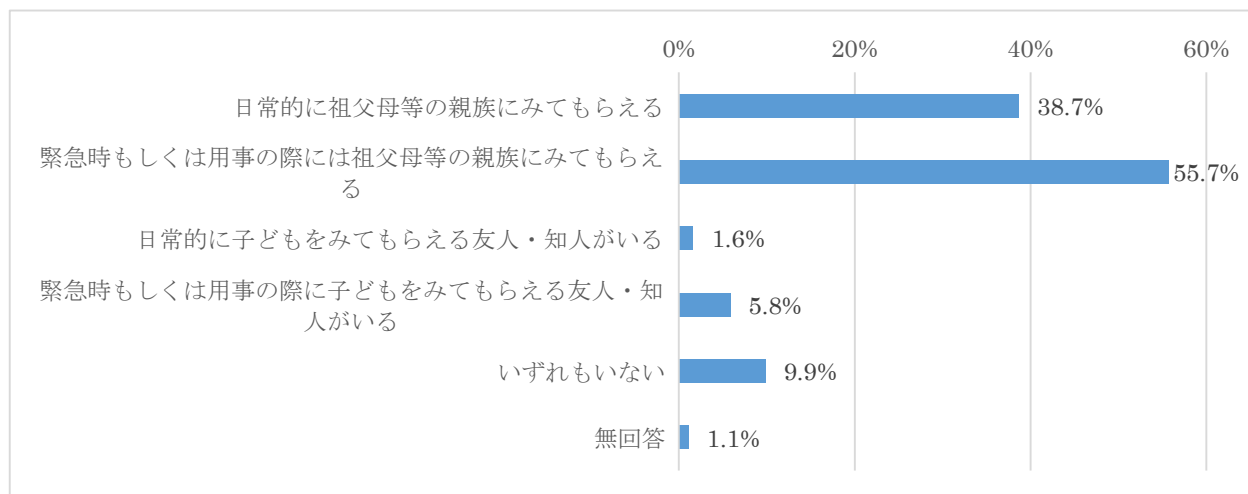
子どもの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」の割合が 95.6%と最も高く、「認定こども園」が 47.4%と 5 割近くで続いています。



項目	度数	構成比
家庭	524	95.6%
地域	86	15.7%
幼稚園	55	10.0%
保育園	142	25.9%
認定こども園	260	47.4%
その他	15	2.7%
無回答	4	0.7%
回答者数	548	—

問 14 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 55.7%と最も高く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 38.7%と続いています。

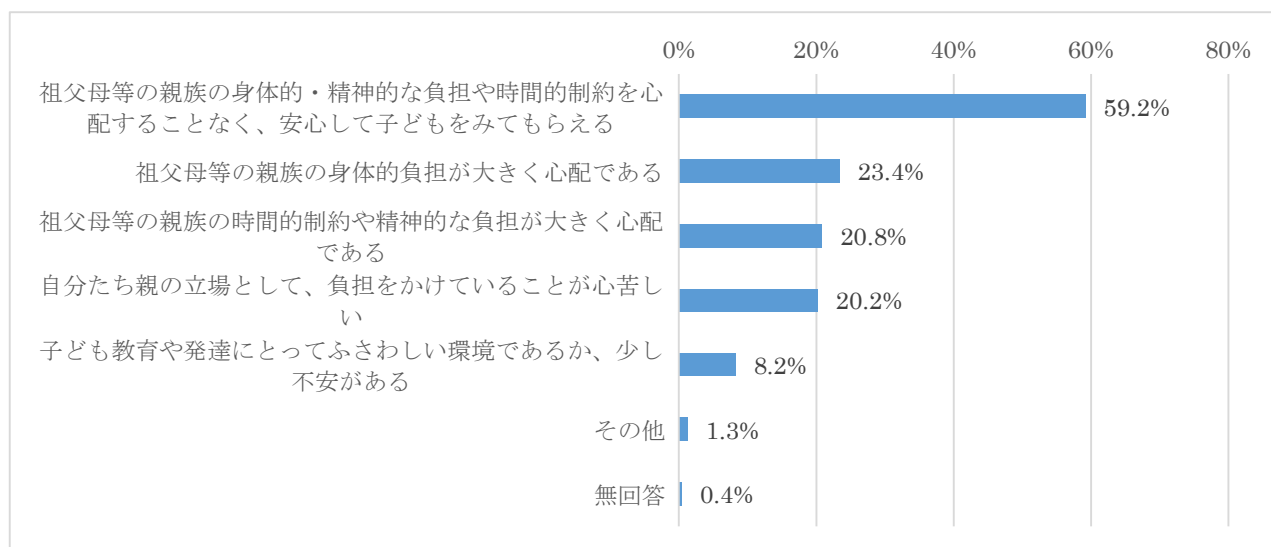


項目	度数	構成比
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	212	38.7%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	305	55.7%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	9	1.6%
緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	32	5.8%
いずれもない	54	9.9%
無回答	6	1.1%
回答者数	548	—

問 14-1 問 14 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 59.2%と 6 割近くで最も高くなっています。

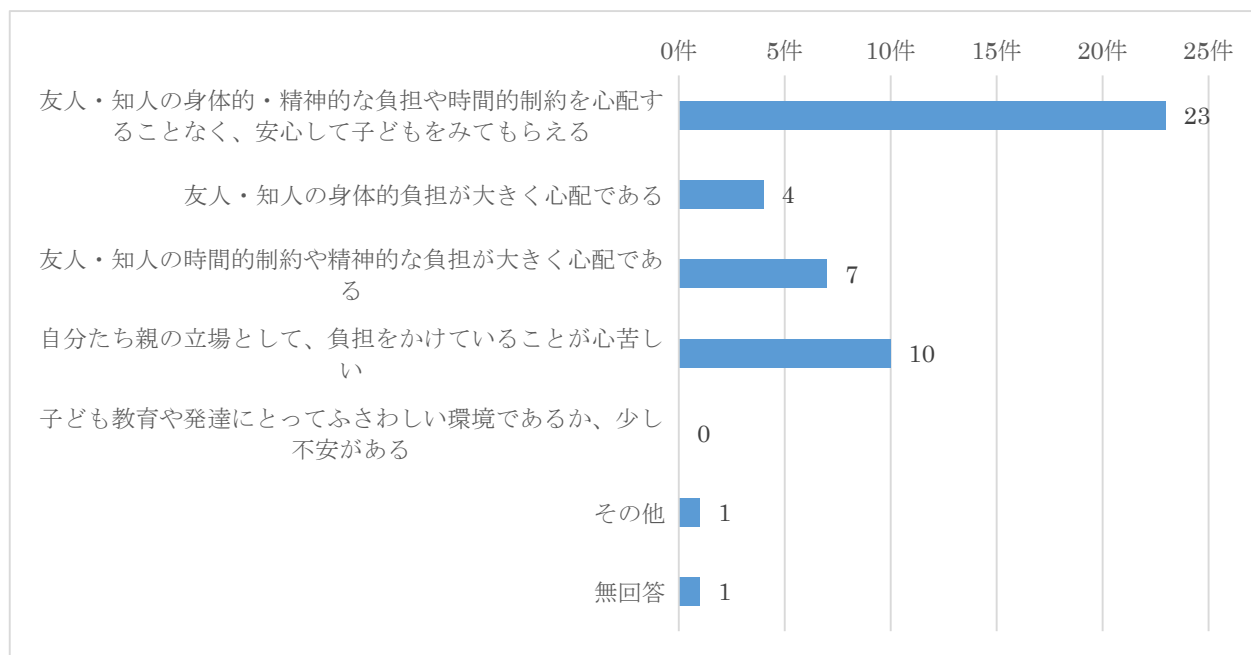
また、心配や不安を感じる項目では、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある (8.2%)」以外は、それぞれ 2 割前後となっています。



項目	度数	構成比
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	281	59.2%
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	111	23.4%
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	99	20.8%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	96	20.2%
子ども教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	39	8.2%
その他	6	1.3%
無回答	2	0.4%
回答者数	475	—
非該当	73	—

問 14-2 問 14 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

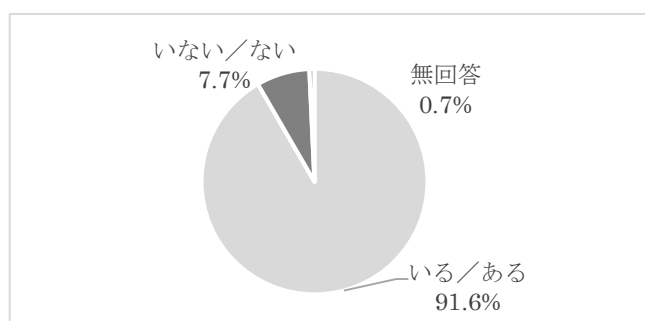
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況は、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 23 件と多くなっています。



項目	度数	構成比
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	23	60.5%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	4	10.5%
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	7	18.4%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	10	26.3%
子ども教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	0	0.0%
その他	1	2.6%
無回答	1	2.6%
回答者数	38	—
非該当	510	—

問 15 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

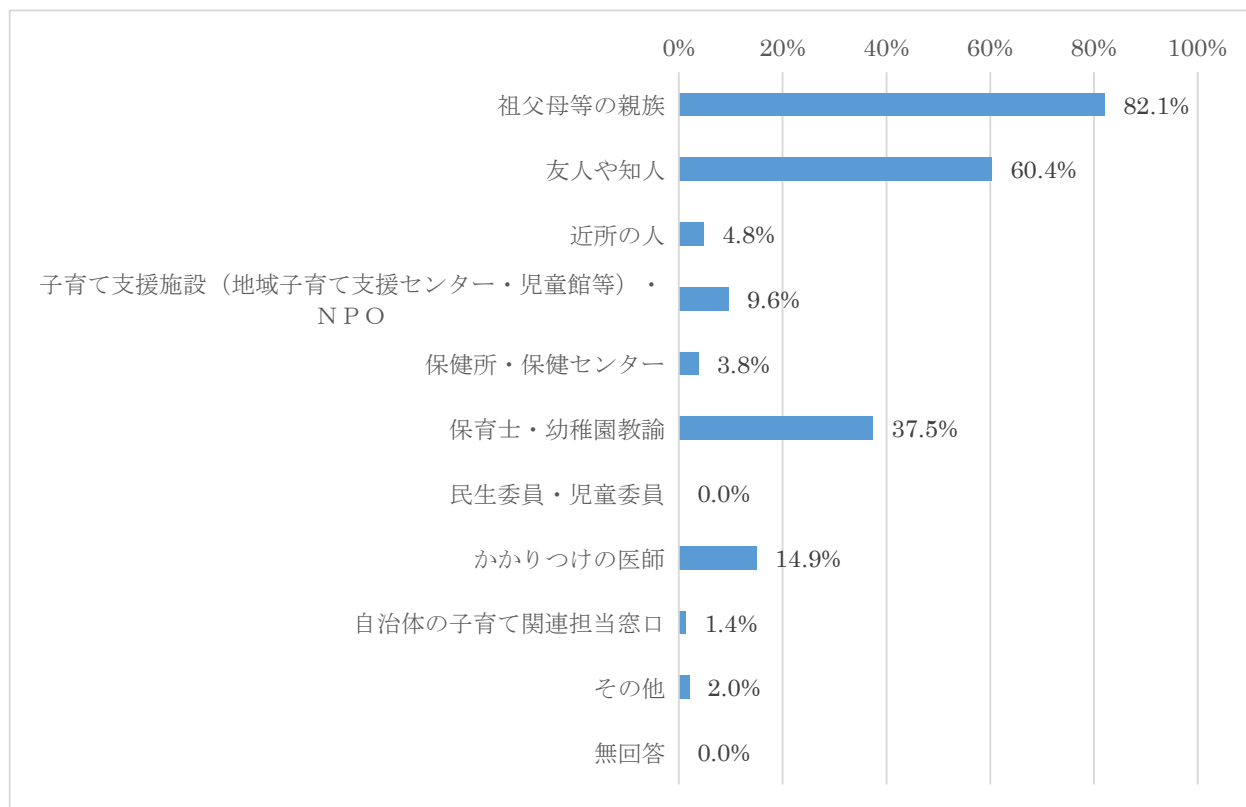
子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び場所の有無は、「いる／ある」が 91.6%に対し、「いない／ない」が 7.7%と、「いる／ある」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
いる／ある	502	91.6%
いない／ない	42	7.7%
無回答	4	0.7%
回答者数	548	100.0%

問 15-1 問 15 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族（82.1%）」「友人や知人（60.4%）」の割合がいずれも 6 割を超え高くなっています。



項目	度数	構成比
祖父母等の親族	412	82.1%
友人や知人	303	60.4%
近所の人	24	4.8%
子育て支援施設（地域子育て支援センター・児童館等）・NPO	48	9.6%
保健所・保健センター	19	3.8%
保育士・幼稚園教諭	188	37.5%
民生委員・児童委員	0	0.0%
かかりつけの医師	75	14.9%
自治体の子育て関連担当窓口	7	1.4%
その他	10	2.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	502	—
非該当	46	—

問 16 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

周囲からのサポートに関しての意見等は、ニーズ調査回答者 548 人（全体の 36.3%）のうち 253 人（回答者の 46.2%）から寄せられました。その中からいくつかの意見を抜粋しました。

抜粋した意見

（１） 身近な人からあったらよいと思うサポート

- ・主人に家事をなるべく手伝ってもらったり、お休みの日に数時間だけでもいいので、子供と一緒に外に遊びに出てもらえると自分の時間が取れて助かる。
- ・今の時代こそ、近所との繋がりをもてる機会が欲しいです。
- ・同じ年代を持つ他のお母さんと気軽に交流を持てる場所。ずっとじゃなくていいけど、少し子供を見てくれる方がいると良い。
- ・子どもの送り迎えを気軽に頼める環境。
- ・子供と行きやすいカフェがあるとうれしい。遊べる場所がついていたりなど
- ・気軽に相談できる環境、子供をみてる自分以外の大人がいる環境づくり。
- ・最近では危ない人や事が多いため、子どもがのびのび遊べ、小学校の登下校も安全にできるように声掛けや見回りをしてほしい。

（２） 行政担当者などからあったらよいと思うサポート

- ・未就学児でも参加できる短期教室（スポーツ）があると興味があるときに体験させてあげられるのでいいなと思う。今は小学生以上のものばかりなので。
- ・行政担当者となると、相談する時間や場所が限られてしまうので、時間など関係なく、気軽に相談できるサービス（アプリなどで返信はすぐでなくても）があれば、悩みなどが話せて助かる。
- ・土日でも気軽に預けられる（2～3 時間程度で理由問わず）公的な保育所があると助かる。美容院や病院、映画などのリフレッシュなどで子供を土日に数時間だけ預けたい。
- ・チャイルドシートやオムツ、ミルクなど購入する上で値段が張るもの（長く使用するもの）の金額補助又は提供
- ・どこでどんな支援や相談場所、子供が集まれる場所などが地域であるのかが、わからないので日頃、立ち寄りそうな場所にその情報がわかるようになっていて、いいなと思ってます。
- ・初めての育児で心配な事が多く、成長に伴い悩みが都度変わり、生後半年くらいまでは出来たら、毎月市の助産師訪問があれば相談しやすくありがたいです。
- ・児童館のような場所がもっと増えてほしい。夏休み中は学童がいて藤岡の児童館は乳児には危険であったり、時間制限があったりする。
- ・産まれたところ（病院）から行政への継続的なサポートがあれば相談もしやすいです。
- ・公園の一覧。保育園の一覧。園の子育てセンターの一覧。ただ表ではなくパンフレットのようにわかりやすく、写真がついてるもの。
- ・教育や相談等の機関が開かれていること（対応があたたかい・親切・親身になってくれること）。
- ・高崎市でやっている、あずかるこちゃんのように、簡単に予約でき預けやすいサービス。また、父母共に日曜出勤のため、日曜保育にも助けられています、小学校に上がっても日曜日に預けられる施設やサポートがあると嬉しいです。

4 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

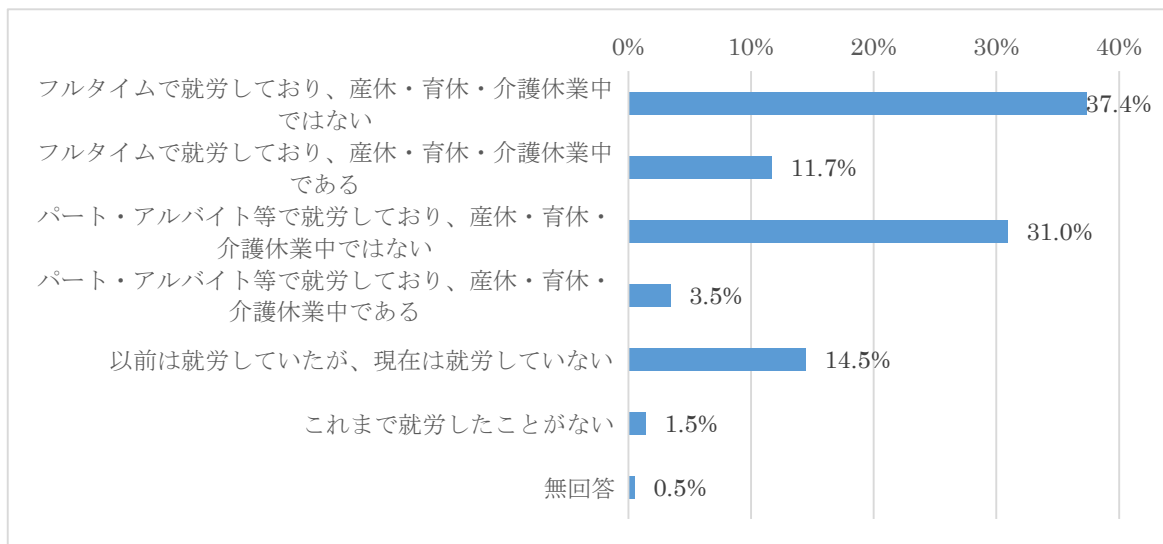
問 17 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の就労状況は、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 37.4%と最も高く、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合は 31.0%となっています。

産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパートタイムを含め 15.2%となっています。

また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は 14.5%となっています。

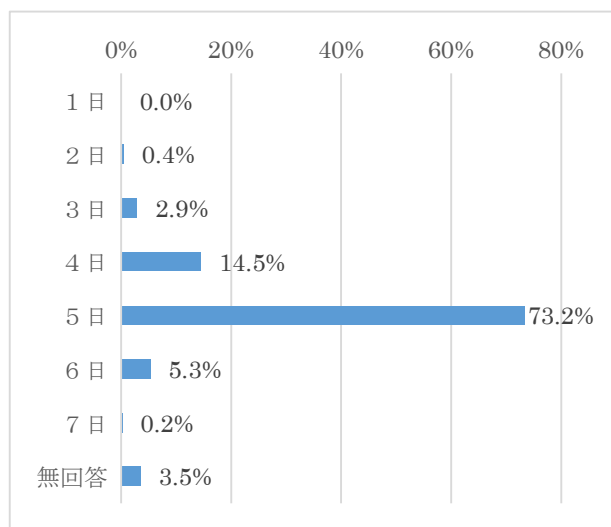


項目	度数	構成比
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	204	37.4%
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である	64	11.7%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	169	31.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である	19	3.5%
以前は就労していたが、現在は就労していない	79	14.5%
これまで就労したことがない	8	1.5%
無回答	3	0.5%
回答者数	546	100.0%
非該当	2	—

(1) -1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

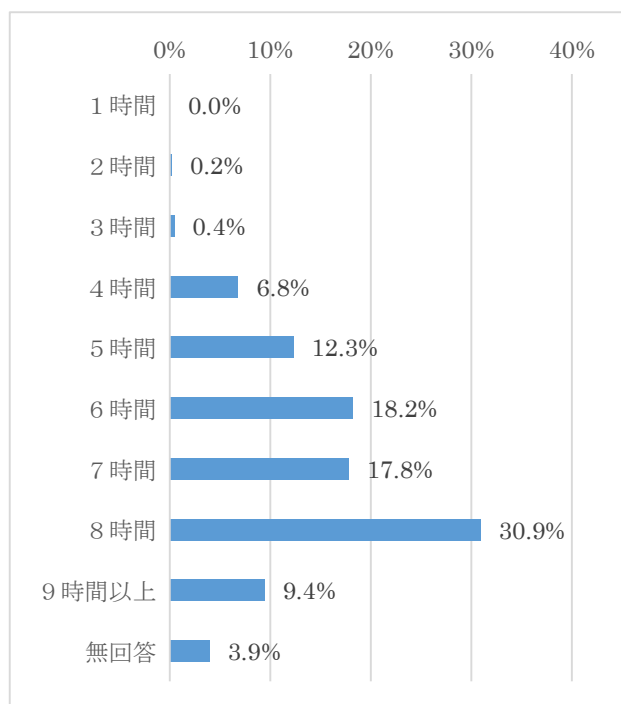
現在就労している「母親」の1週あたり就労日数は、「5日」の割合が73.2%、1日あたり就労時間(残業を含む)は「8時間」の割合が30.9%とそれぞれ最も高くなっています。

■ 1週あたり就労日数



項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	2	0.4%
3日	13	2.9%
4日	66	14.5%
5日	334	73.2%
6日	24	5.3%
7日	1	0.2%
無回答	16	3.5%
回答者数	456	100.0%
非該当	92	—

■ 1日あたり就労時間(残業を含む)



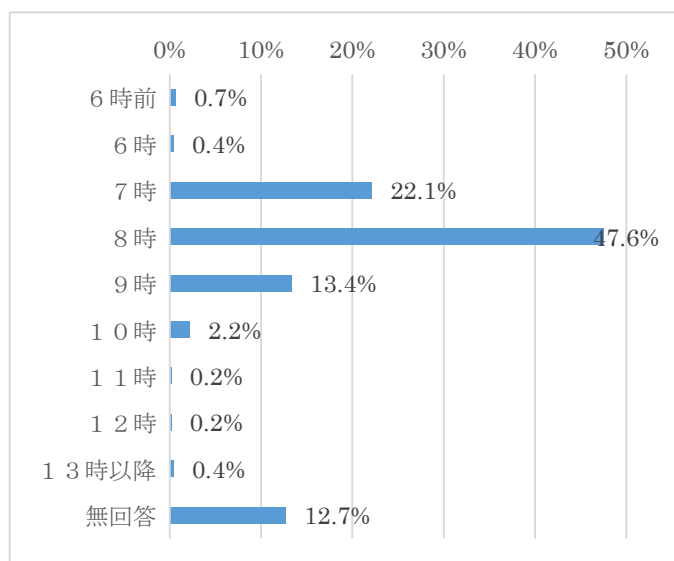
項目	度数	構成比
1時間	0	0.0%
2時間	1	0.2%
3時間	2	0.4%
4時間	31	6.8%
5時間	56	12.3%
6時間	83	18.2%
7時間	81	17.8%
8時間	141	30.9%
9時間以上	43	9.4%
無回答	18	3.9%
回答者数	456	100.0%
非該当	92	—

(1)-2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

現在就労している「母親」の家を出る時刻は、「8時」の割合が47.6%、帰宅時刻は、「18時」の割合が31.8%とそれぞれ最も高くなっています。

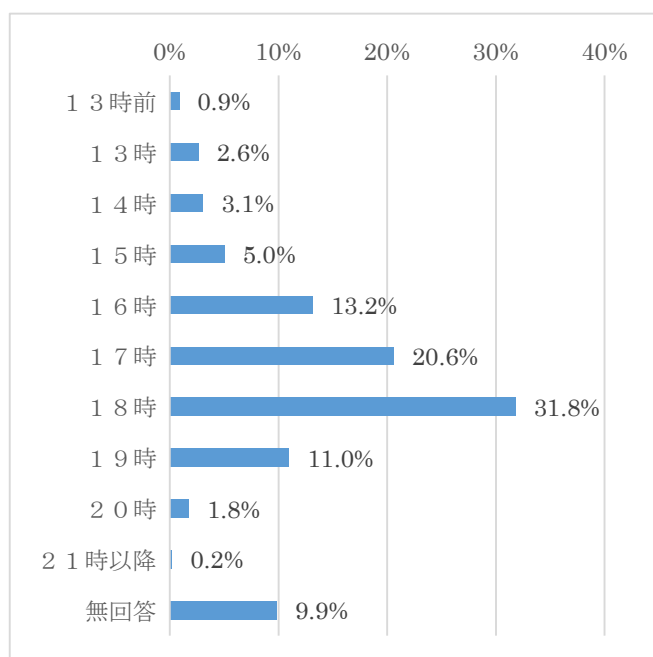
また、家を出てから帰宅するまでの時間は、「11時間以上」の割合が22.1%と最も高くなっています。

■家を出る時刻



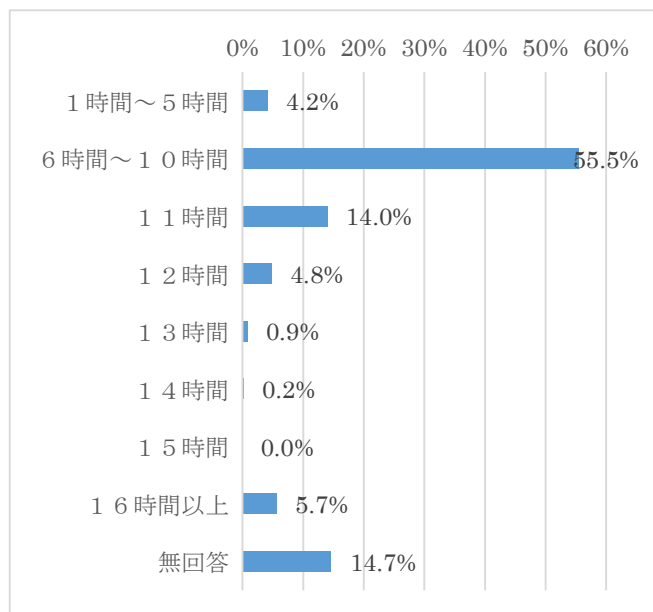
項目	度数	構成比
6 時前	3	0.7%
6 時	2	0.4%
7 時	101	22.1%
8 時	217	47.6%
9 時	61	13.4%
10 時	10	2.2%
11 時	1	0.2%
12 時	1	0.2%
13 時以降	2	0.4%
無回答	58	12.7%
回答者数	456	100.0%
非該当	92	—

■帰宅時刻



項目	度数	構成比
13 時前	4	0.9%
13 時	12	2.6%
14 時	14	3.1%
15 時	23	5.0%
16 時	60	13.2%
17 時	94	20.6%
18 時	145	31.8%
19 時	50	11.0%
20 時	8	1.8%
21 時以降	1	0.2%
無回答	45	9.9%
回答者数	456	100.0%
非該当	92	—

■家を出てから帰宅するまでの時間

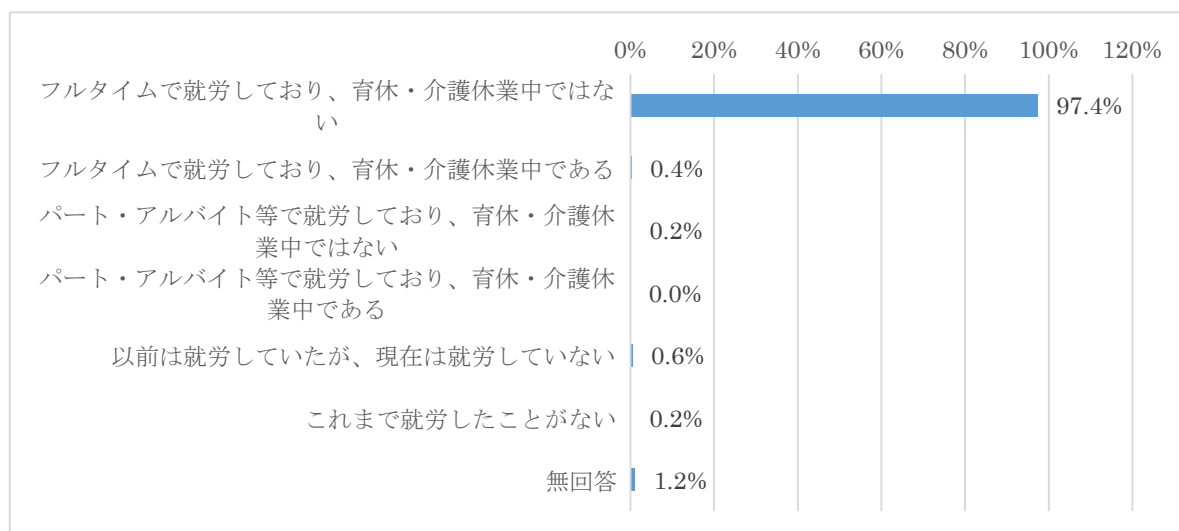


項目	度数	構成比
1時間～5時間	19	4.2%
6時間～10時間	253	55.5%
11時間	64	14.0%
12時間	22	4.8%
13時間	4	0.9%
14時間	1	0.2%
15時間	0	0.0%
16時間以上	26	5.7%
無回答	67	14.7%
回答者数	456	100.0%
非該当	92	—

（２）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親」の就労状況は、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が97.4%と最も高くなっています。

育休・介護休業中の割合は、フルタイムは0.4%で、パートタイムはありません。

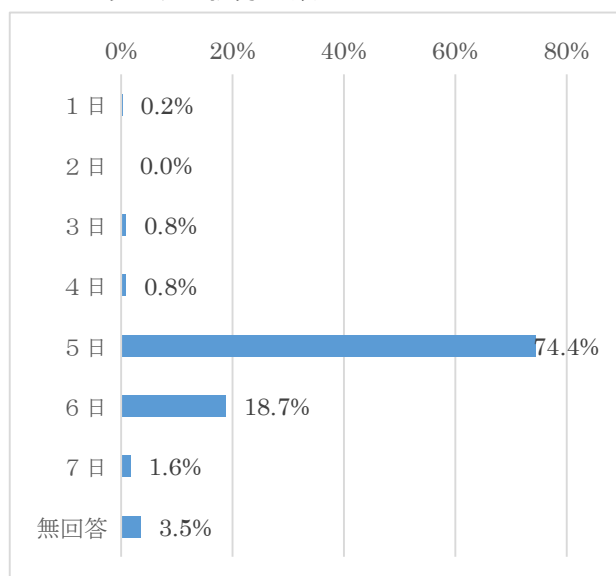


項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	489	97.4%
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中である	2	0.4%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	1	0.2%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	3	0.6%
これまで就労したことがない	1	0.2%
無回答	6	1.2%
回答者数	502	100.0%
非該当	46	—

（２）-１ **（２）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。** 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

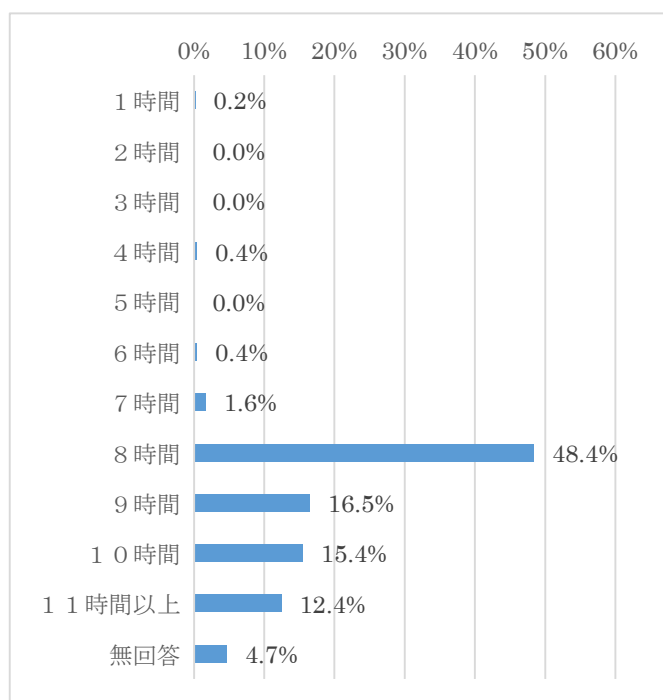
現在就労している「父親」の1週あたり就労日数は、「5日」の割合が74.4%、1日あたり就労時間（残業を含む）は「8時間」の割合が48.4%とそれぞれ最も高くなっています。

■ 1日あたりの就労日数



項目	度数	構成比
1日	1	0.2%
2日	0	0.0%
3日	4	0.8%
4日	4	0.8%
5日	366	74.4%
6日	92	18.7%
7日	8	1.6%
無回答	17	3.5%
回答者数	492	100.0%
非該当	56	—

■ 1日あたりの就労時間（残業を含む）



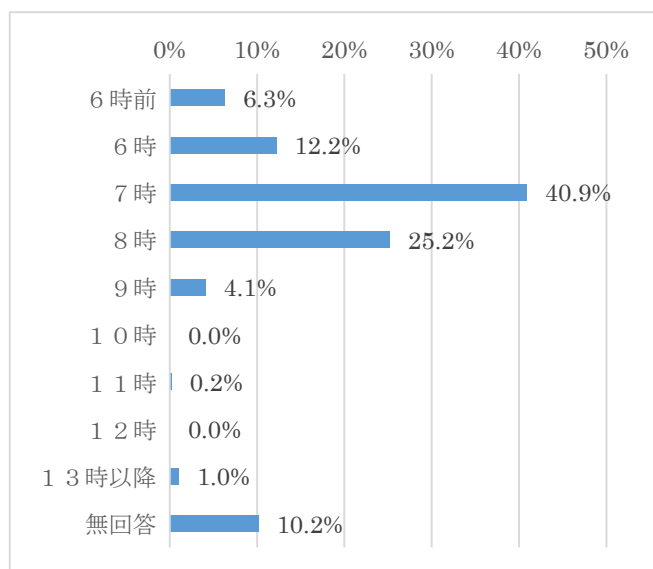
項目	度数	構成比
1時間	1	0.2%
2時間	0	0.0%
3時間	0	0.0%
4時間	2	0.4%
5時間	0	0.0%
6時間	2	0.4%
7時間	8	1.6%
8時間	238	48.4%
9時間	81	16.5%
10時間	76	15.4%
11時間以上	61	12.4%
無回答	23	4.7%
回答者数	492	100.0%
非該当	56	—

（２）-２ （２）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）０８時～１８時のように、２４時間制でお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

現在就労している「父親」の家を出る時刻は、「７時」の割合が40.9%、帰宅時刻は、「18時」の割合が26.0%とそれぞれ最も高くなっています。

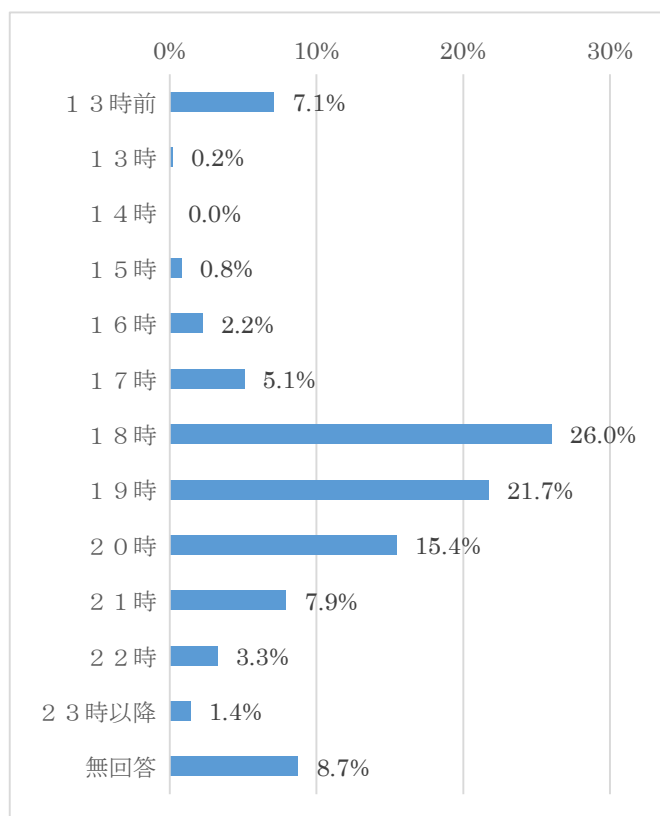
また、家を出てから帰宅するまでの時間は、「11時間」の割合が25.0%と最も高くなっています。

■ 家を出る時刻



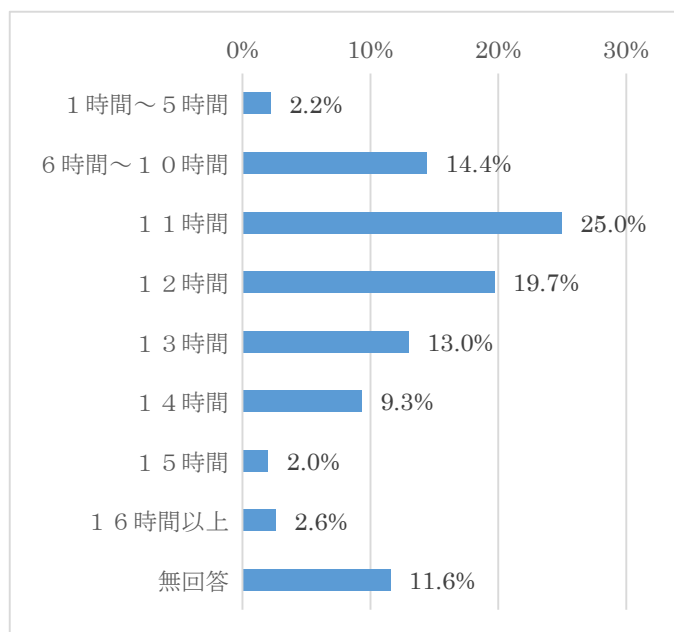
項目	度数	構成比
6時前	31	6.3%
6時	60	12.2%
7時	201	40.9%
8時	124	25.2%
9時	20	4.1%
10時	0	0.0%
11時	1	0.2%
12時	0	0.0%
13時以降	5	1.0%
無回答	50	10.2%
回答者数	492	100.0%
非該当	56	—

■帰宅時刻



項目	度数	構成比
1 3 時前	35	7.1%
1 3 時	1	0.2%
1 4 時	0	0.0%
1 5 時	4	0.8%
1 6 時	11	2.2%
1 7 時	25	5.1%
1 8 時	128	26.0%
1 9 時	107	21.7%
2 0 時	76	15.4%
2 1 時	39	7.9%
2 2 時	16	3.3%
2 3 時以降	7	1.4%
無回答	43	8.7%
回答者数	492	100.0%
非該当	56	—

■家を出てから帰宅するまでの時間



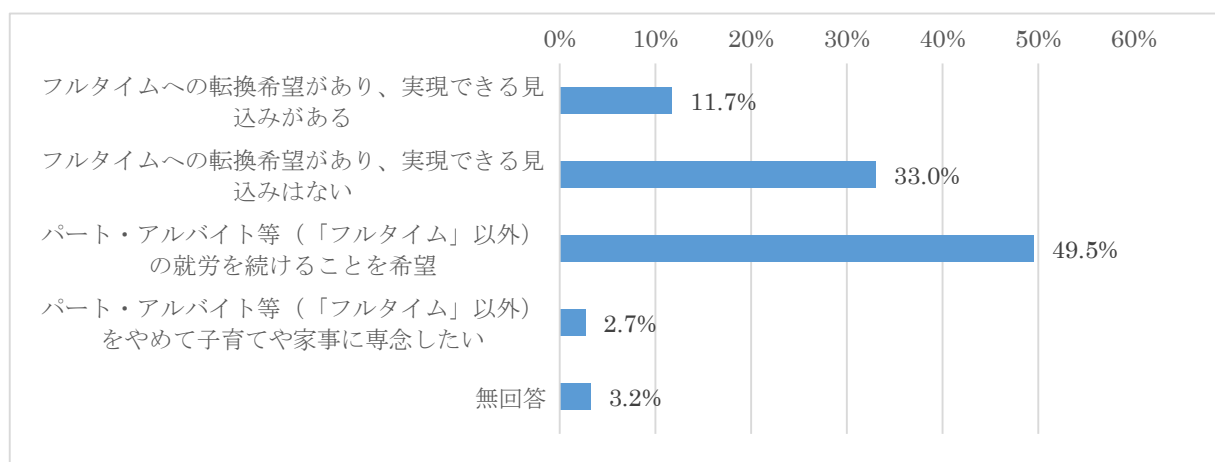
項目	度数	構成比
1 時間～5 時間	11	2.2%
6 時間～1 0 時間	71	14.4%
1 1 時間	123	25.0%
1 2 時間	97	19.7%
1 3 時間	64	13.0%
1 4 時間	46	9.3%
1 5 時間	10	2.0%
1 6 時間以上	13	2.6%
無回答	57	11.6%
回答者数	492	100.0%
非該当	56	—

問18 問17の（１）または（２）で「3.4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（１）母親

パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等（フルタイム）以外」の就労を続けることを希望」の割合が49.5%と最も高く、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合は11.7%、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合は33.0%となっています。



項目	度数	構成比
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	22	11.7%
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みはない	62	33.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	93	49.5%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	5	2.7%
無回答	6	3.2%
回答者数	188	100.0%
非該当	360	—

（２）父親

パート・アルバイト等で就労している「父親」１件のフルタイムへの転換希望は、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」となっています。

問 19 問 17 の（１）または（２）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

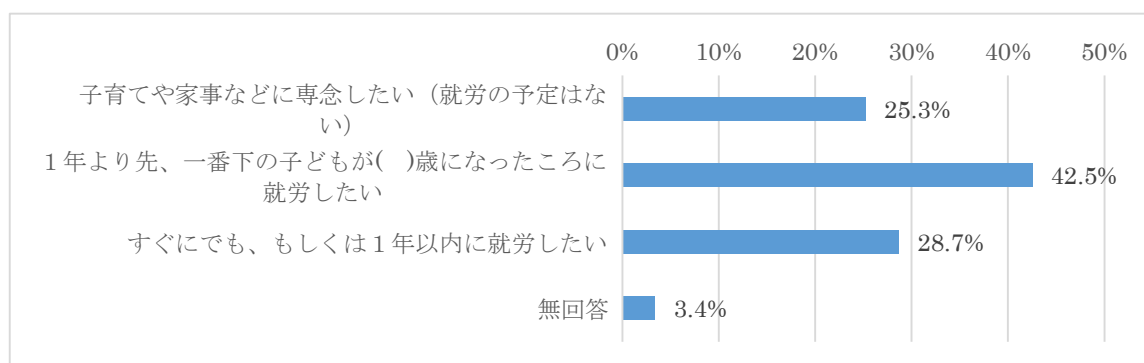
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

（１）母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した「母親」の就労希望は、「１年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 28.7%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 25.3%となっています。

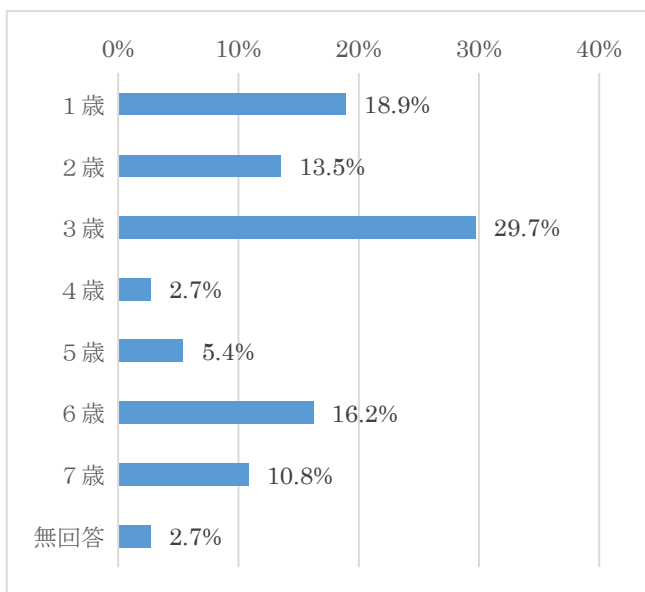
また、就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、「３歳」の割合が 29.7%と最も高くなっています。

さらに、現在就労していない「母親」の今後希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）以外）」の割合が 27.4%と高くなっています。希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の、１週あたりの勤務日数及び１日あたりの勤務時間は、「３日（41.2%）」、「３～５時間（82.4%）」の割合がいずれも高くなっています。



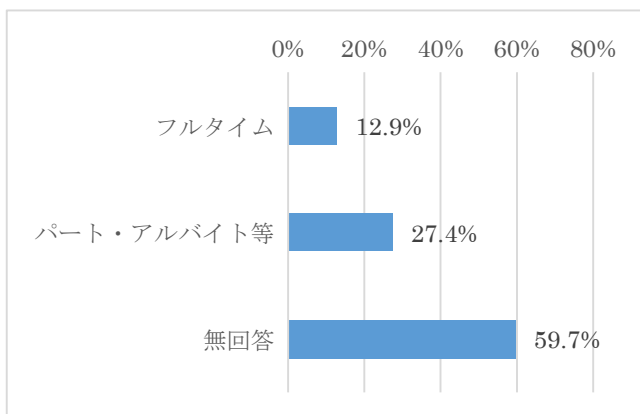
項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	22	25.3%
１年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい	37	42.5%
すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい	25	28.7%
無回答	3	3.4%
回答者数	87	100.0%
非該当	461	—

■就労を希望する時期（子どもの年齢）



項目	度数	構成比
1 歳	7	18.9%
2 歳	5	13.5%
3 歳	11	29.7%
4 歳	1	2.7%
5 歳	2	5.4%
6 歳	6	16.2%
7 歳	4	10.8%
無回答	1	2.7%
回答者数	37	100.0%
非該当	511	—

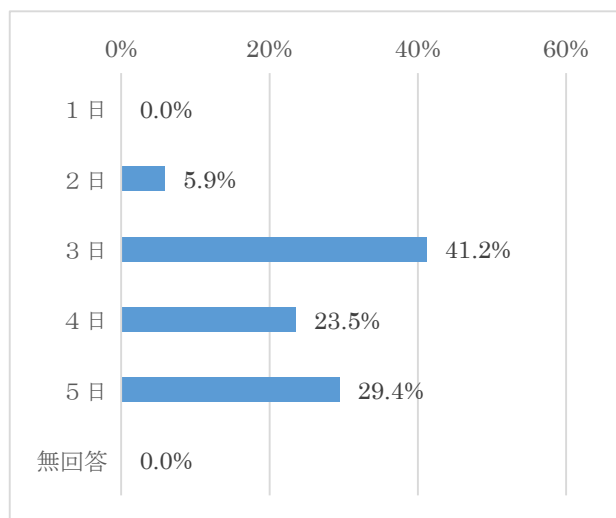
■希望する就労形態



項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	8	12.9%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）	17	27.4%
無回答	37	59.7%
回答者数	62	100.0%
非該当	486	—

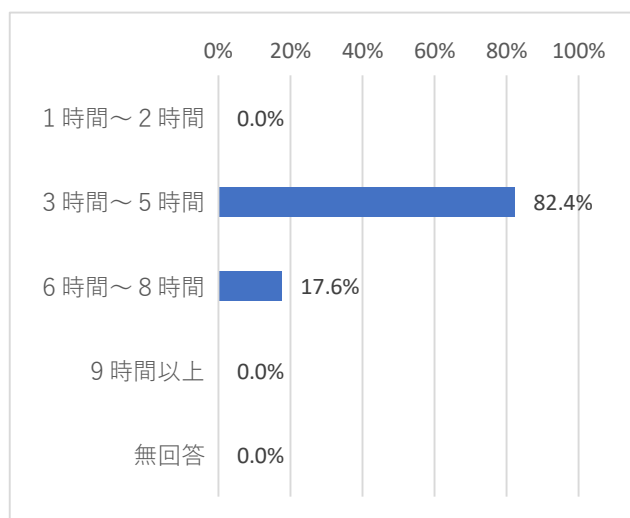
■希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の希望する勤務日数・時間

(1週あたり勤務日数)



項目	度数	構成比
1 日	0	0.0%
2 日	1	5.9%
3 日	7	41.2%
4 日	4	23.5%
5 日	5	29.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	17	100.0%
非該当	531	—

(1日あたりの時間)



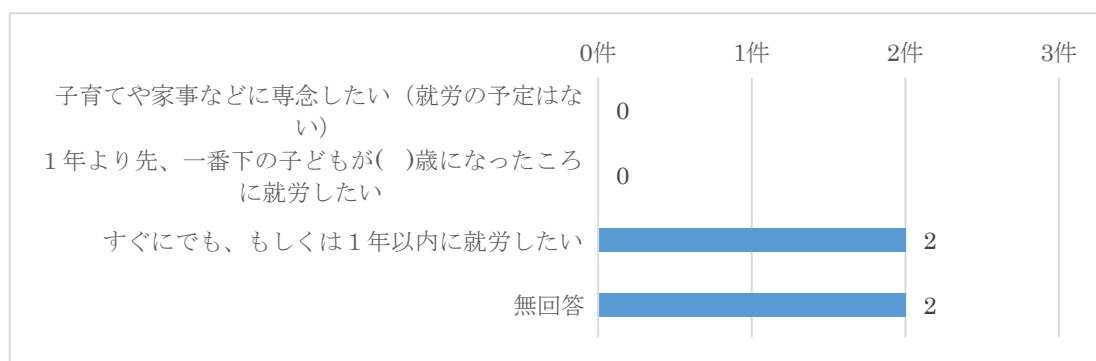
項目	度数	構成比
1 時間～2 時間	0	0.0%
3 時間～5 時間	14	82.4%
6 時間～8 時間	3	17.6%
9 時間以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	17	100.0%
非該当	531	—

(2) 父親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した「父親」の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。

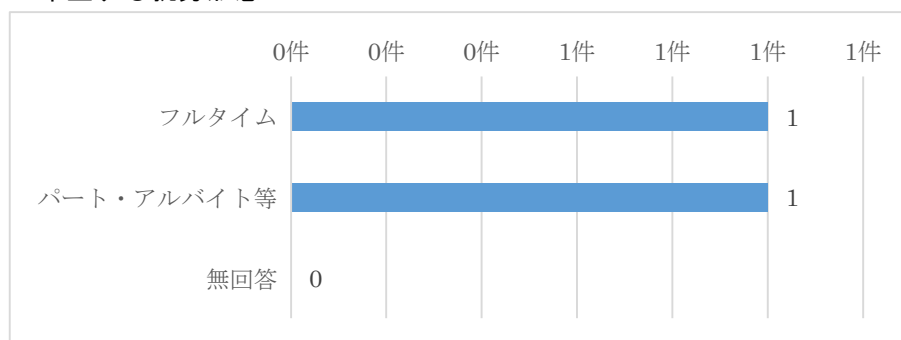
また、現在就労していない「父親」の今後希望する就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）以外）」がいずれも1件となっています。

希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の、1週あたりの勤務日数、1日あたりの勤務時間は、「5日」、「3～5時間」でした。



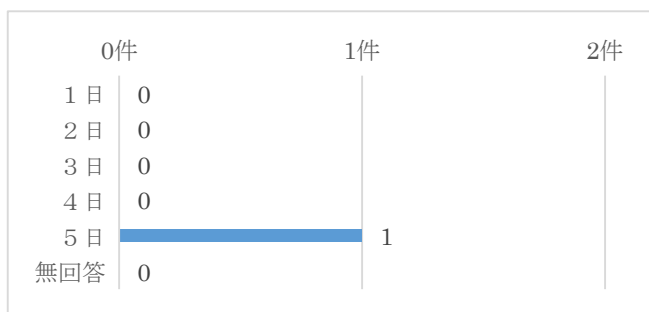
項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	0	0.0%
1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい	0	0.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	2	50.0%
無回答	2	50.0%
回答者数	4	100.0%
非該当	544	—

■希望する就労形態



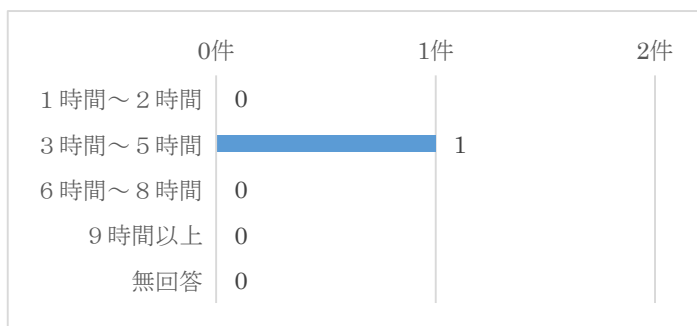
項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	1	50.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）	1	50.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	546	—

■パート・アルバイトの場合の希望勤務日数・時間



(1週あたりの勤務日数)

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	1	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	547	—

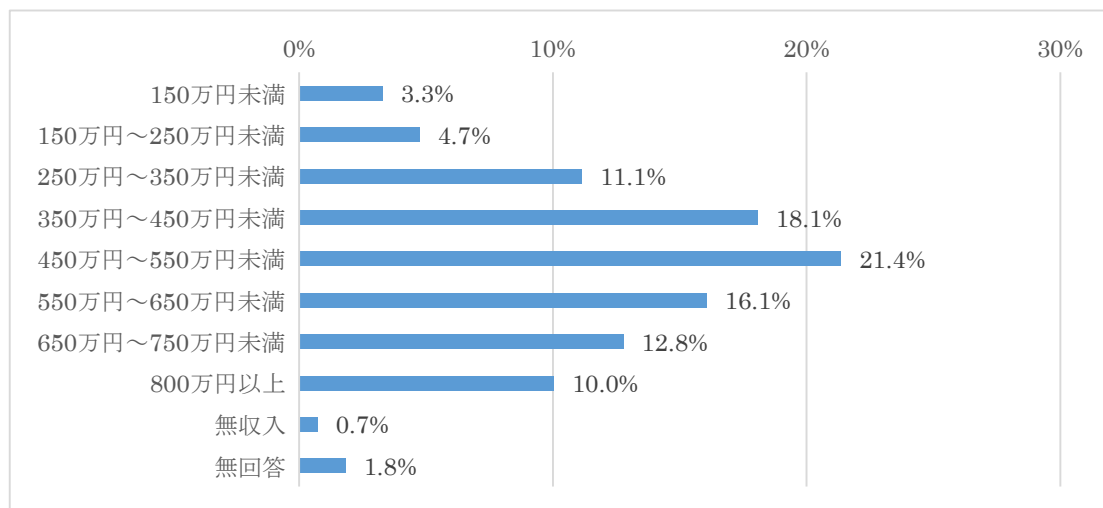


(1日あたりの時間)

項目	度数	構成比
1時間～2時間	0	0.0%
3時間～5時間	1	100.0%
6時間～8時間	0	0.0%
9時間以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	547	—

問 20 現在、ご家族の年収合計額（手取り額）はどれくらいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

ご家族の手取り年収額は、450 万円～550 万円未満が 21.4%と最も高く、続いて 350 万円～450 万円未満が 18.1%となっています。



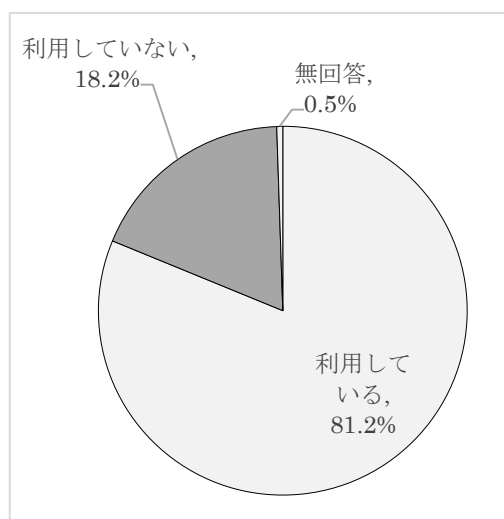
項目	度数	構成比
150 万円未満	18	3.3%
150 万円～250 万円未満	26	4.7%
250 万円～350 万円未満	61	11.1%
350 万円～450 万円未満	99	18.1%
450 万円～550 万円未満	117	21.4%
550 万円～650 万円未満	88	16.1%
650 万円～750 万円未満	70	12.8%
800 万円以上	55	10.0%
無収入	4	0.7%
無回答	10	1.8%
回答者数	548	100.0%

5 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 21-1 に示した事業が含まれます。

問 21 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」の割合が 81.2%に対し、「利用していない」が 18.2%と、「利用している」割合が上回っています。

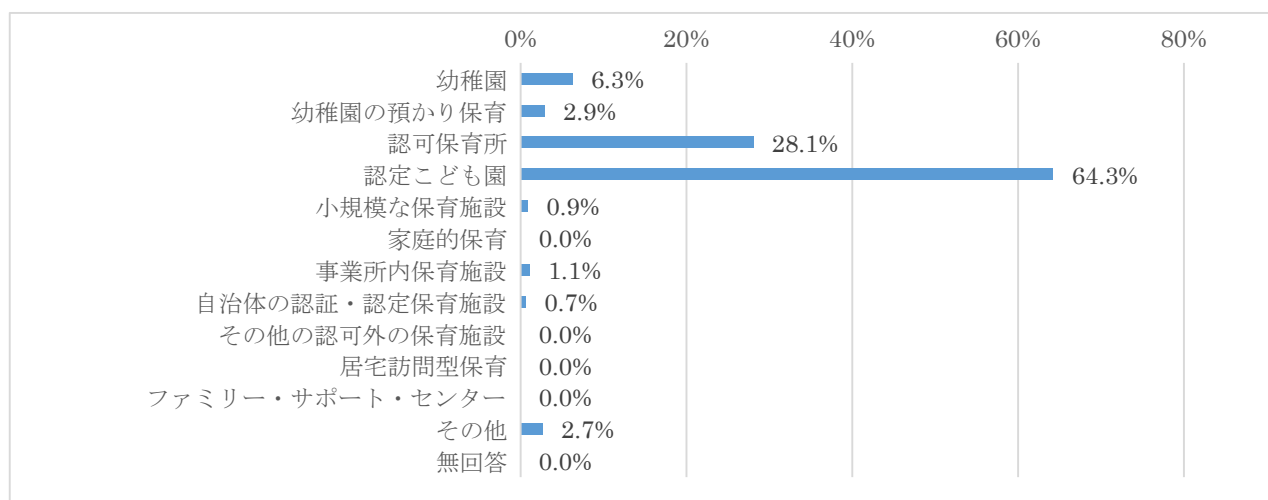


項目	度数	構成比
利用している	445	81.2%
利用していない	100	18.2%
無回答	3	0.5%
回答者数	548	100.0%

問 21-1 問 21-1～問 21-4 は、問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日の教育・保育の事業の利用種別は、認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」が 28.1%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 6.3%となっています。



項目	度数	構成比
幼稚園（通常の就園時間の利用）	28	6.3%
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	13	2.9%
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	125	28.1%
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	286	64.3%
小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6～9 人のもの）	4	0.9%
家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）	0	0.0%
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	5	1.1%
自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	3	0.7%
その他の認可外の保育施設	0	0.0%
居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	0	0.0%
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	0	0.0%
その他	12	2.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	445	—
非該当	103	—

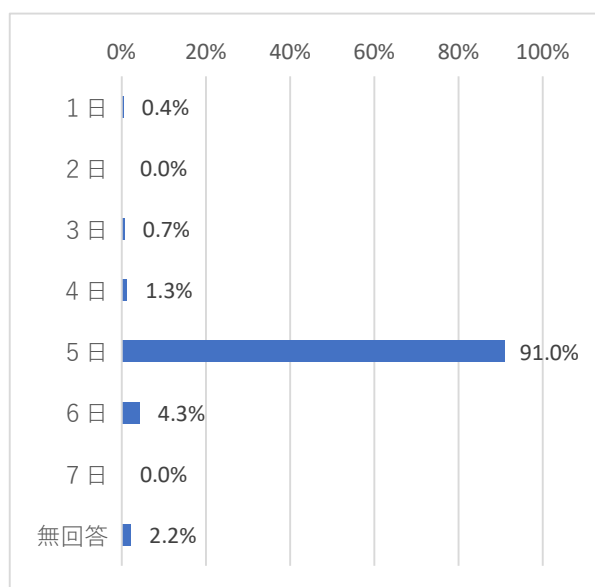
問 21-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）0 9 時～1 8 時のように 2 4 時間制でご記入ください。

（1）現在

平日の教育・保育の事業の日数などの利用状況は、1 週あたりの日数については、「5 日」の割合が 91.0%、1 日あたりの時間については、「7 時間～10 時間」の割合が 79.6%と、それぞれ最も高くなっています。

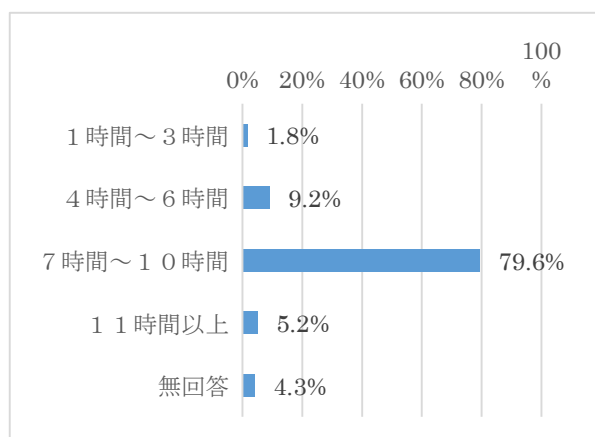
また、利用時間帯は、登園時刻については、「8 時（26.5%）」「9 時（30.6%）」、帰宅時刻については、「16 時（27.2%）」「17 時（14.4%）」「18 時（11.7%）」の割合が比較的高くなっています。

■ 1 週あたり日数



項目	度数	構成比
1 日	2	0.4%
2 日	0	0.0%
3 日	3	0.7%
4 日	6	1.3%
5 日	405	91.0%
6 日	19	4.3%
7 日	0	0.0%
無回答	10	2.2%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

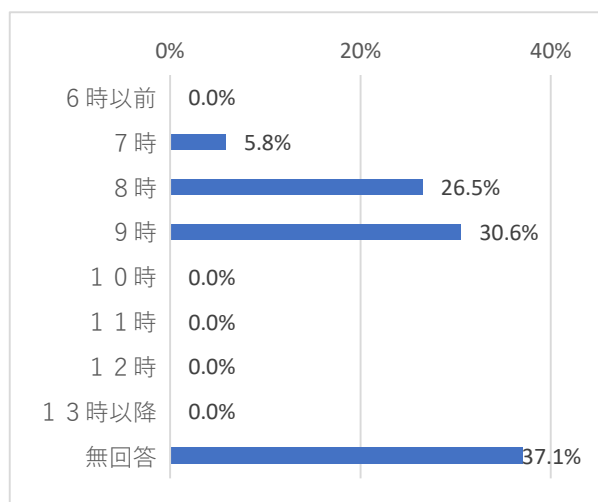
■ 1 日あたり時間



項目	度数	構成比
1 時間～3 時間	8	1.8%
4 時間～6 時間	41	9.2%
7 時間～10 時間	354	79.6%
11 時間以上	23	5.2%
無回答	19	4.3%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

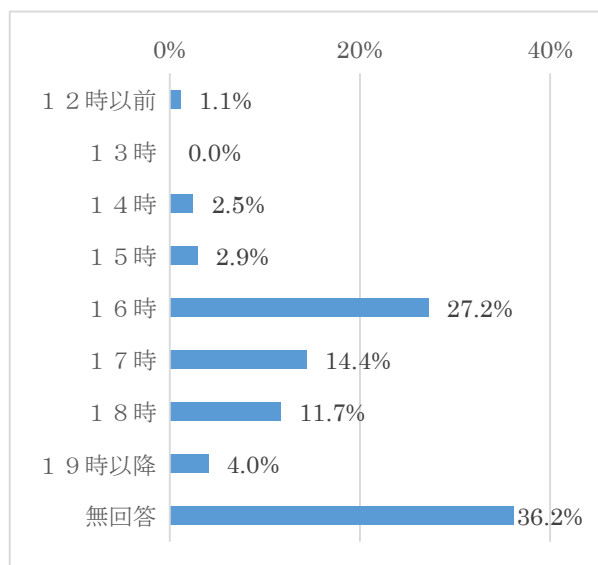
■利用時間帯

(登園時刻)



項目	度数	構成比
6 時以前	0	0.0%
7 時	26	5.8%
8 時	118	26.5%
9 時	136	30.6%
10 時	0	0.0%
11 時	0	0.0%
12 時	0	0.0%
13 時以降	0	0.0%
無回答	165	37.1%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

(帰宅時刻)



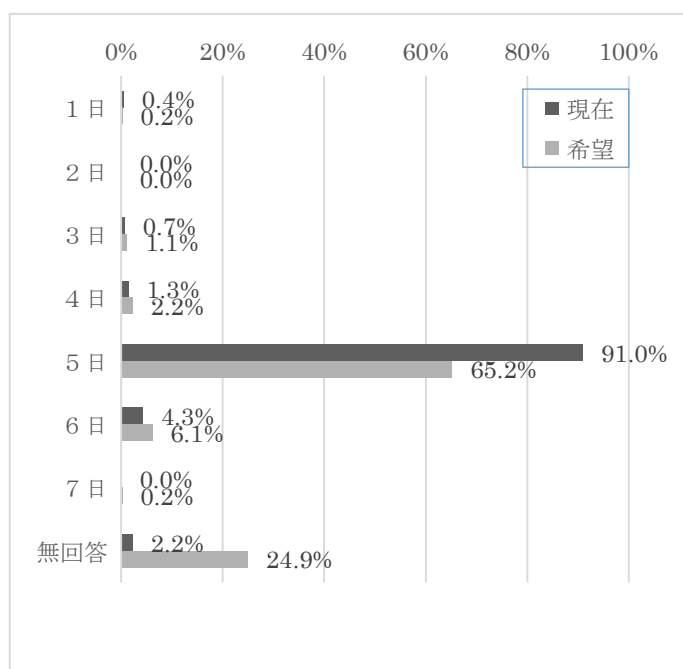
項目	度数	構成比
12 時以前	5	1.1%
13 時	0	0.0%
14 時	11	2.5%
15 時	13	2.9%
16 時	121	27.2%
17 時	64	14.4%
18 時	52	11.7%
19 時以降	18	4.0%
無回答	161	36.2%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

(2) 希望

平日の教育・保育の事業の日数などの利用希望は、1週あたりの日数については、「5日」の割合が65.2%、1日あたりの時間については、「7時間～10時間」の割合が58.4%と、それぞれ最も高くなっています。

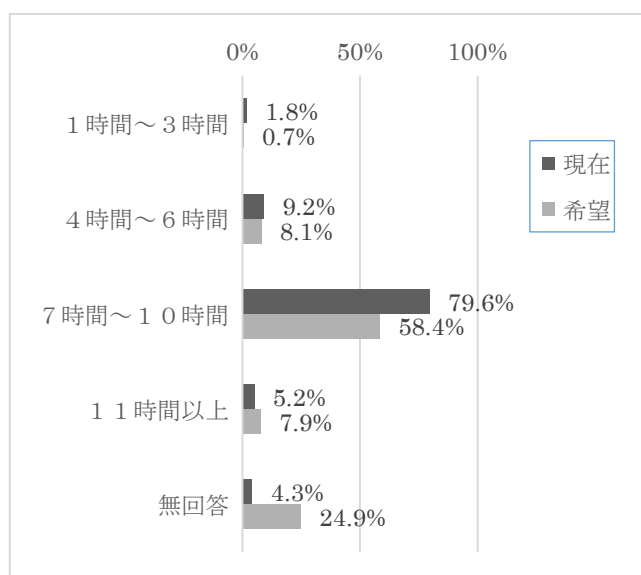
また、利用希望時間帯は、登園時刻については、「8時（30.3%）」「9時（31.2%）」、帰宅時刻については、「16時（22.0%）」「17時（18.9%）」「18時（16.4%）」の割合が比較的高くなっています。

■ 1週あたり日数



項目	度数	構成比
1日	1	0.2%
2日	0	0.0%
3日	5	1.1%
4日	10	2.2%
5日	290	65.2%
6日	27	6.1%
7日	1	0.2%
無回答	111	24.9%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

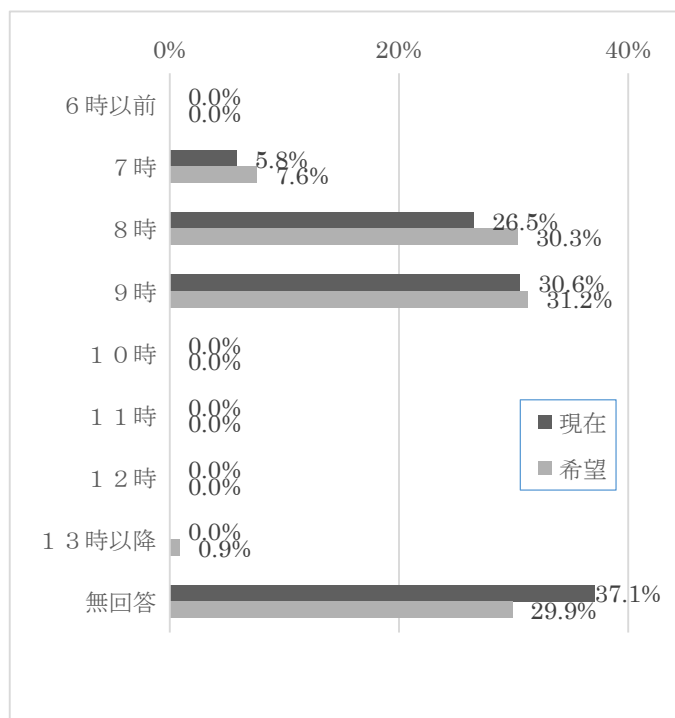
■ 1日あたり時間



項目	度数	構成比
1時間～3時間	3	0.7%
4時間～6時間	36	8.1%
7時間～10時間	260	58.4%
11時間以上	35	7.9%
無回答	111	24.9%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

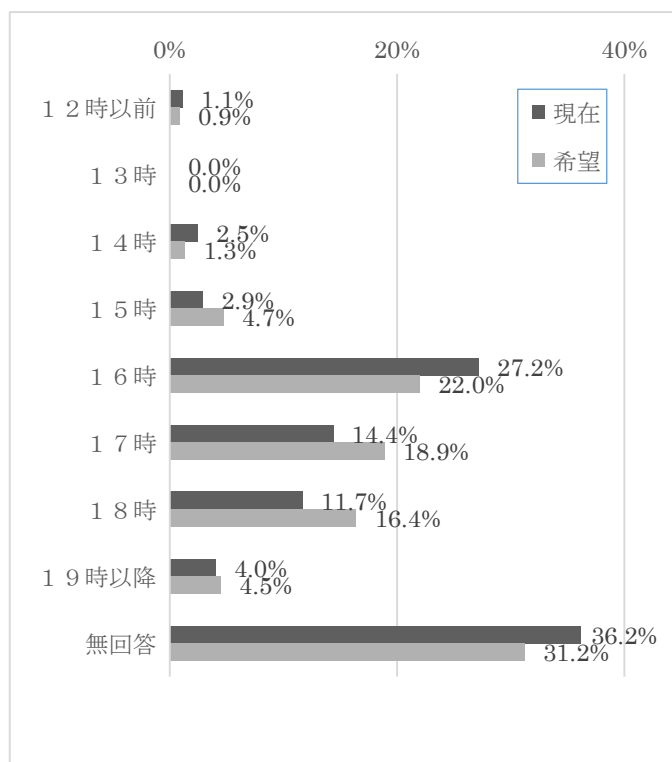
■利用時間帯

(登園時刻)



項目	度数	構成比
6 時以前	0	0.0%
7 時	34	7.6%
8 時	135	30.3%
9 時	139	31.2%
10 時	0	0.0%
11 時	0	0.0%
12 時	0	0.0%
13 時以降	4	0.9%
無回答	133	29.9%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

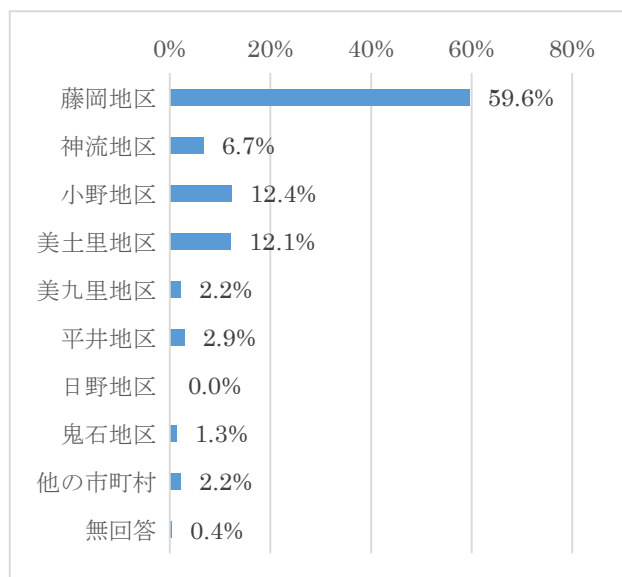
(帰宅時刻)



項目	度数	構成比
12 時以前	4	0.9%
13 時	0	0.0%
14 時	6	1.3%
15 時	21	4.7%
16 時	98	22.0%
17 時	84	18.9%
18 時	73	16.4%
19 時以降	20	4.5%
無回答	139	31.2%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

問 21-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

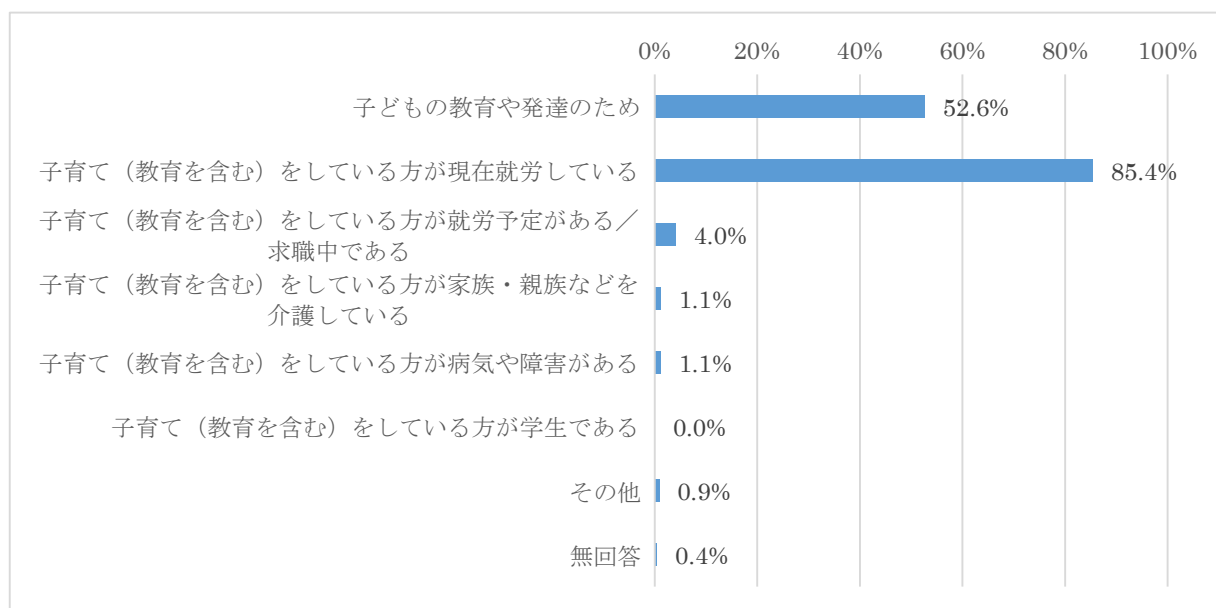
現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「藤岡地区」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「小野地区」が 12.4%、「美土里地区」12.1%となっています。



項目	度数	構成比
藤岡地区	265	59.6%
神流地区	30	6.7%
小野地区	55	12.4%
美土里地区	54	12.1%
美九里地区	10	2.2%
平井地区	13	2.9%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	6	1.3%
他の市町村	10	2.2%
無回答	2	0.4%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

問 21-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している（85.4%）」、「子どもの教育や発達のため（52.6%）」が高くなっています。

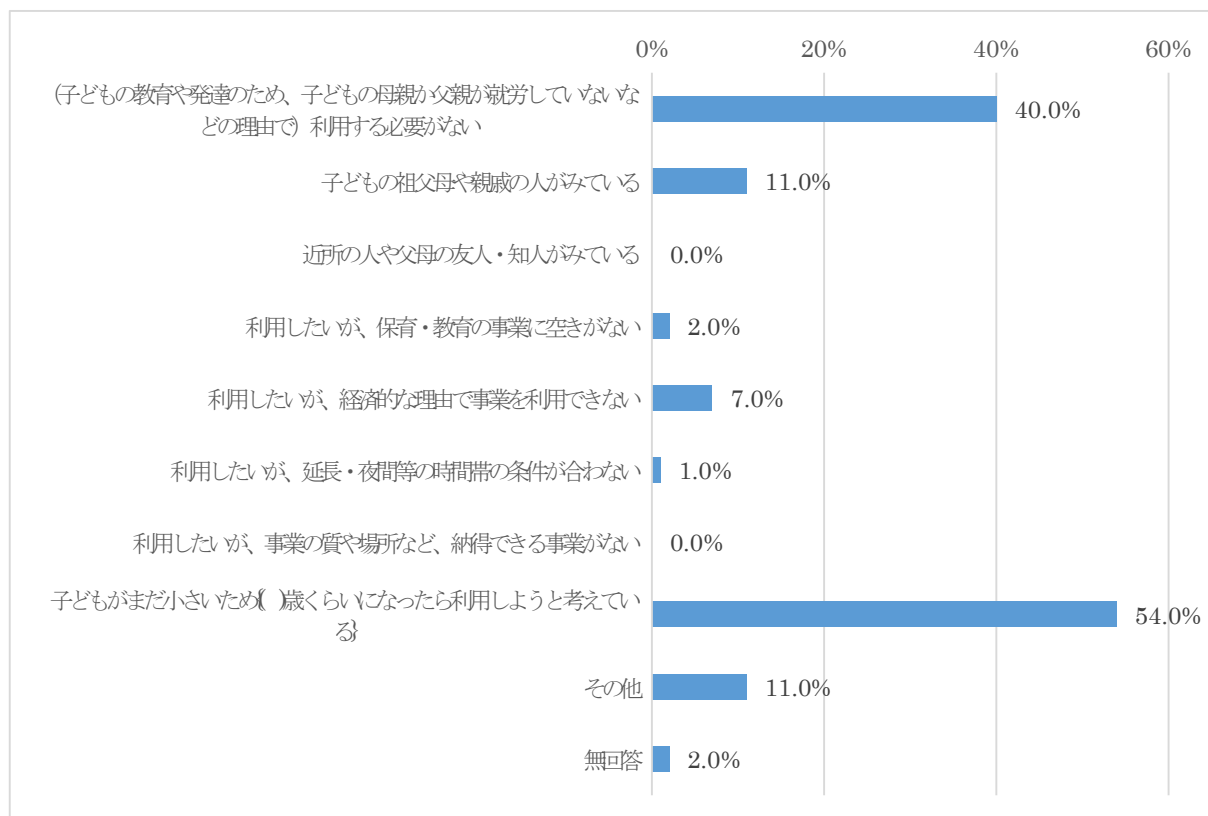


項目	度数	構成比
子どもの教育や発達のため	234	52.6%
子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	380	85.4%
子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である	18	4.0%
子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	5	1.1%
子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある	5	1.1%
子育て（教育を含む）をしている方が学生である	0	0.0%
その他	4	0.9%
無回答	2	0.4%
回答者数	445	—
非該当	103	—

問 21-5 問 21 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

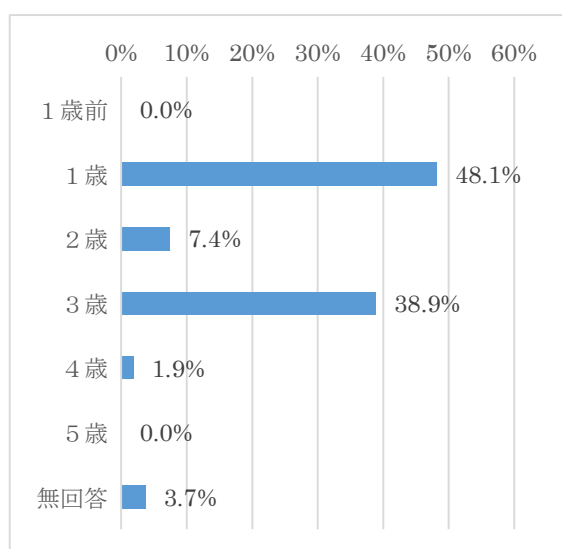
定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため{（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている}」の割合が 54.0%と最も高くなっています。また、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がある」の割合も 40.0%と比較的高くなっています。

また、教育・保育事業の利用開始年齢は、「1 歳」48.1%、「2 歳」7.4%、「3 歳」38.9%、「4 歳」1.9%で、1 歳と 3 歳の割合が高くなっています。



項目	度数	構成比
(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	40	40.0%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	11	11.0%
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	2	2.0%
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	7	7.0%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1	1.0%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	0	0.0%
子どもがまだ小さいため{()歳くらいになったら利用しようと考えている}	54	54.0%
その他	11	11.0%
無回答	2	2.0%
回答者数	100	—
非該当	448	—

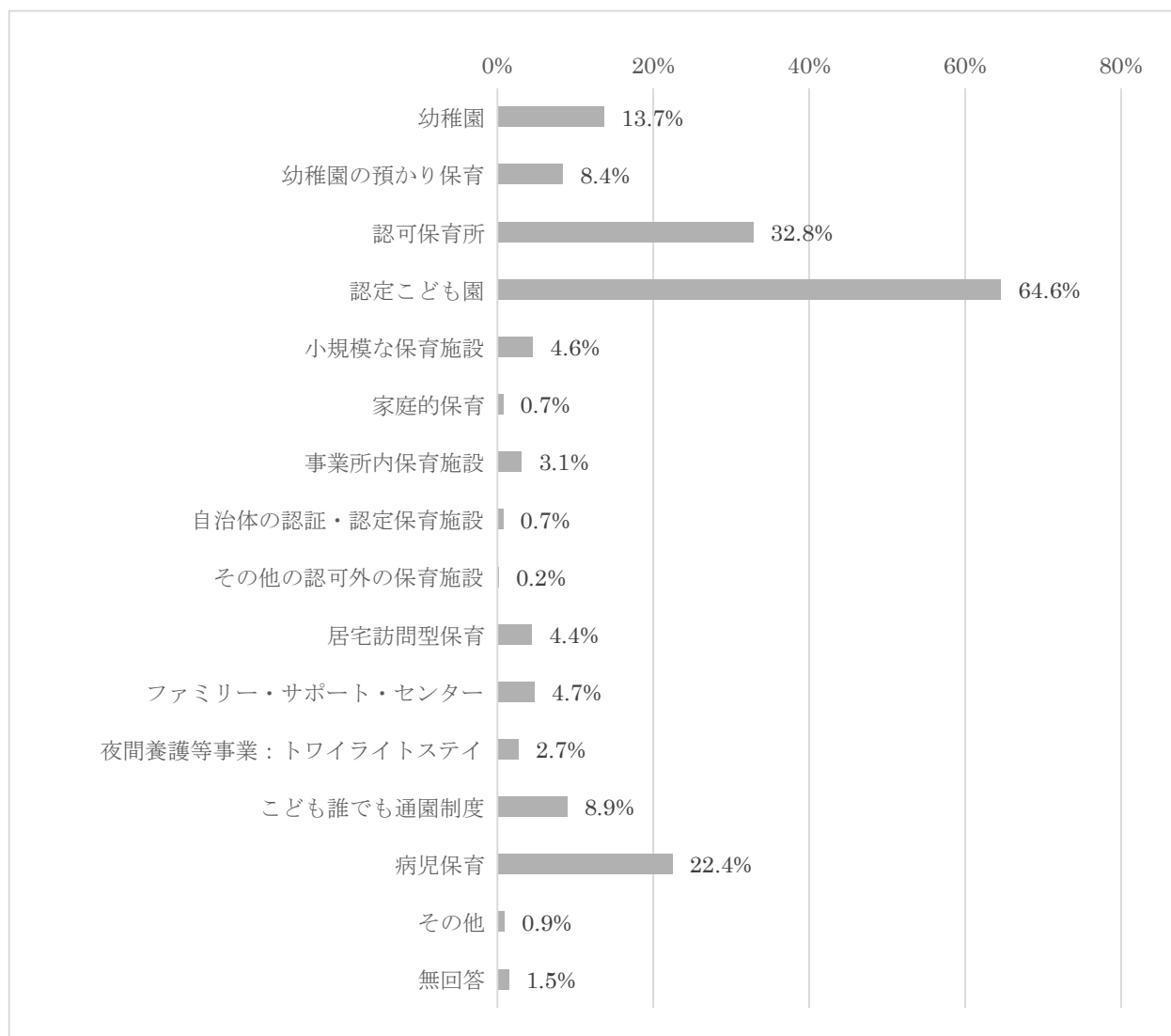
■教育・保育事業の利用開始年齢



項目	度数	構成比
1歳前	0	0.0%
1歳	26	48.1%
2歳	4	7.4%
3歳	21	38.9%
4歳	1	1.9%
5歳	0	0.0%
無回答	2	3.7%
回答者数	54	100.0%
非該当	494	—

問 22 現在、利用している、利用していないにかかわらず、すべての方にかがいます。宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

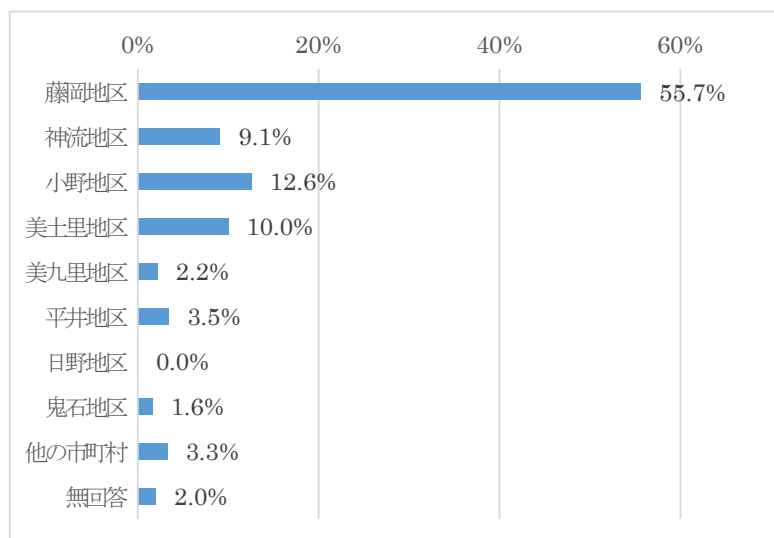
平日の教育・保育の事業の利用意向は、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 32.8%、「病児保育」が 22.4%、となっています。



項目	度数	構成比
幼稚園（通常の就園時間の利用）	75	13.7%
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	46	8.4%
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	180	32.8%
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	354	64.6%
小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～9人のもの）	25	4.6%
家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）	4	0.7%
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	17	3.1%
自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	4	0.7%
その他の認可外の保育施設	1	0.2%
居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの過程で保育する事業）	24	4.4%
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	26	4.7%
夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	15	2.7%
こども誰でも通園制度	49	8.9%
病児保育	123	22.4%
その他	5	0.9%
無回答	8	1.5%
回答者数	548	—

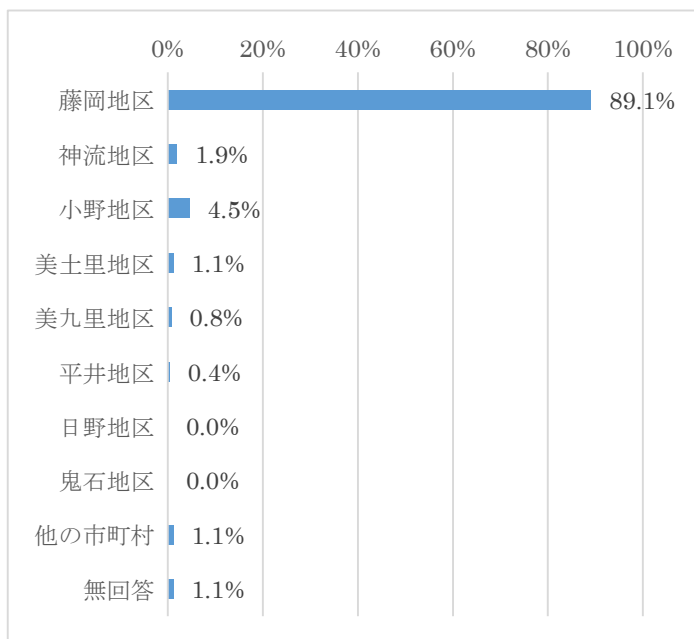
22-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用したい教育・保育事業の場所については、「藤岡地区」の割合が55.7%と最も高く、次いで「小野地区」が12.6%、「美土里地区」10.0%となっています。



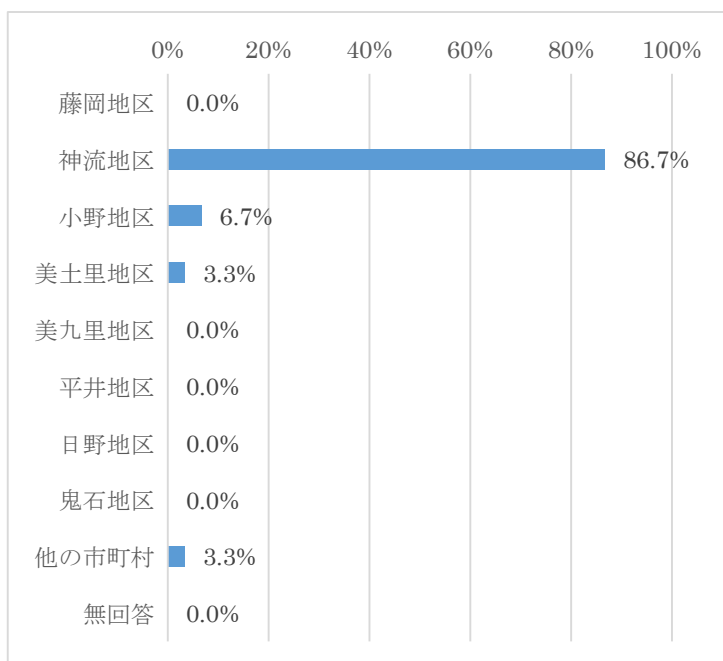
項目	度数	構成比
藤岡地区	305	55.7%
神流地区	50	9.1%
小野地区	69	12.6%
美土里地区	55	10.0%
美九里地区	12	2.2%
平井地区	19	3.5%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	9	1.6%
他の市町村	18	3.3%
無回答	11	2.0%
回答者数	548	100.0%

■現在利用している地区と、利用したい場所の比較
(現在利用地区：藤岡地区)



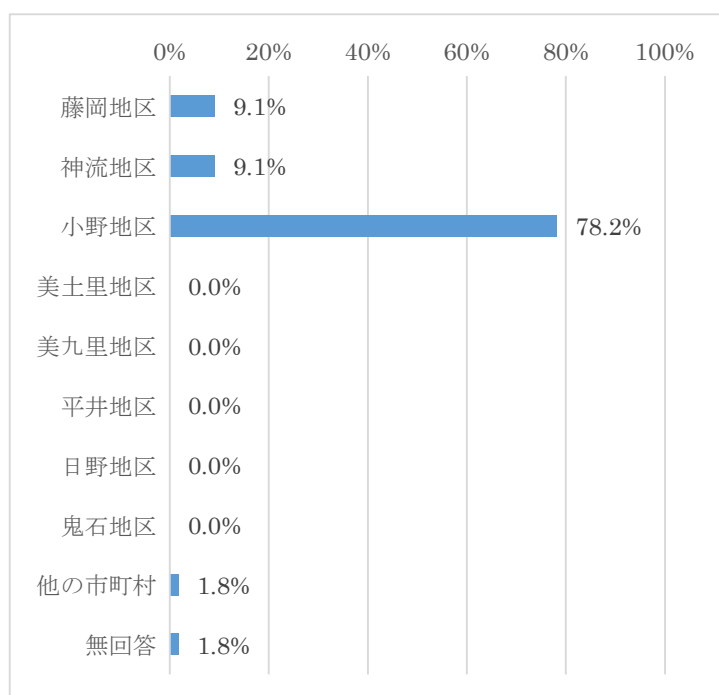
項目	度数	構成比
藤岡地区	236	89.1%
神流地区	5	1.9%
小野地区	12	4.5%
美土里地区	3	1.1%
美九里地区	2	0.8%
平井地区	1	0.4%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	3	1.1%
無回答	3	1.1%
回答者数	265	100.0%

(現在利用地区：神流地区)



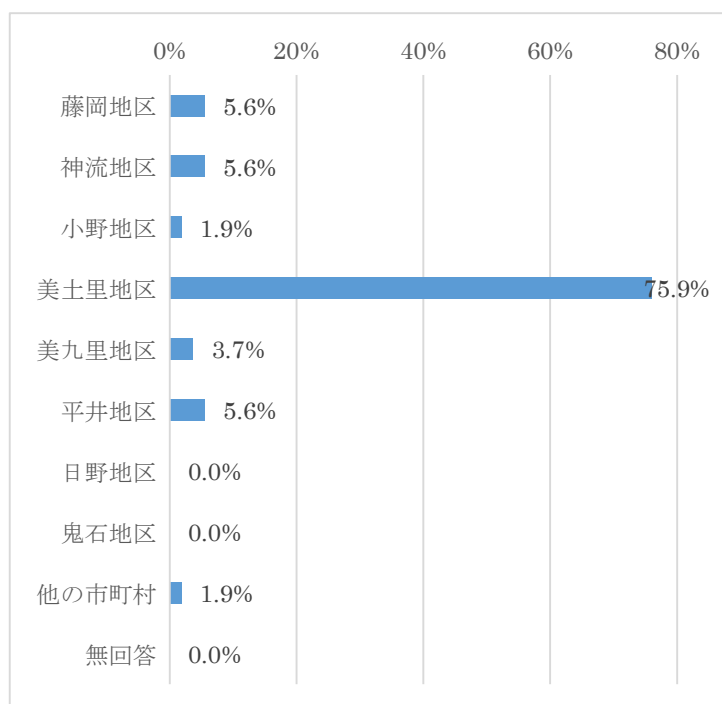
項目	度数	構成比
藤岡地区	0	0.0%
神流地区	26	86.7%
小野地区	2	6.7%
美土里地区	1	3.3%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	1	3.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	30	100.0%

(現在利用地区：小野地区)



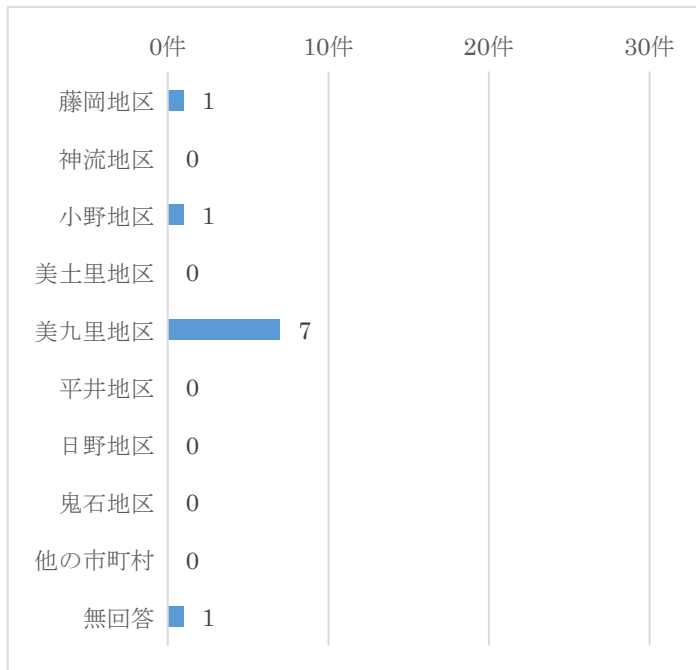
項目	度数	構成比
藤岡地区	5	9.1%
神流地区	5	9.1%
小野地区	43	78.2%
美土里地区	0	0.0%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	1	1.8%
無回答	1	1.8%
回答者数	55	100.0%

(現在利用地区：美土里地区)



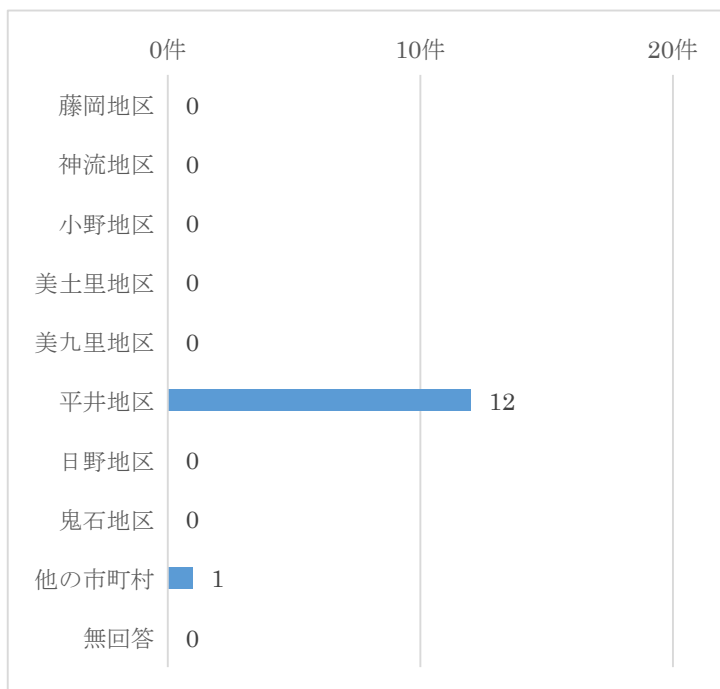
項目	度数	構成比
藤岡地区	3	5.6%
神流地区	3	5.6%
小野地区	1	1.9%
美土里地区	41	75.9%
美九里地区	2	3.7%
平井地区	3	5.6%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	1	1.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	54	100.0%

(現在利用地区：美九里地区)



項目	度数	構成比
藤岡地区	1	10.0%
神流地区	0	0.0%
小野地区	1	10.0%
美土里地区	0	0.0%
美九里地区	7	70.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	0	0.0%
無回答	1	10.0%
回答者数	10	100.0%

(現在利用地区：平井地区)



項目	度数	構成比
藤岡地区	0	0.0%
神流地区	0	0.0%
小野地区	0	0.0%
美土里地区	0	0.0%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	12	92.3%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	1	7.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	13	100.0%

(現在利用地区：日野地区)

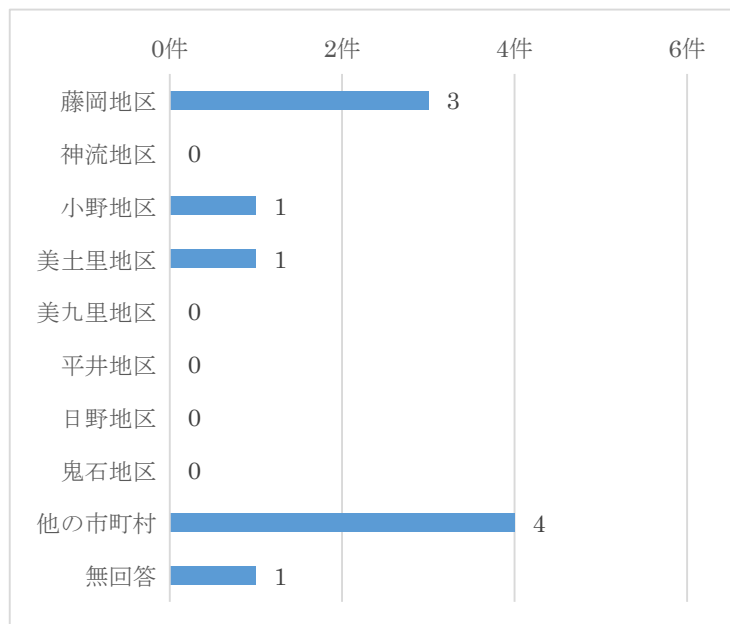
日野地区は該当なし。

(現在利用地区：鬼石地区)



項目	度数	構成比
藤岡地区	0	0.0%
神流地区	0	0.0%
小野地区	0	0.0%
美土里地区	0	0.0%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	5	83.3%
他の市町村	1	16.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	6	100.0%

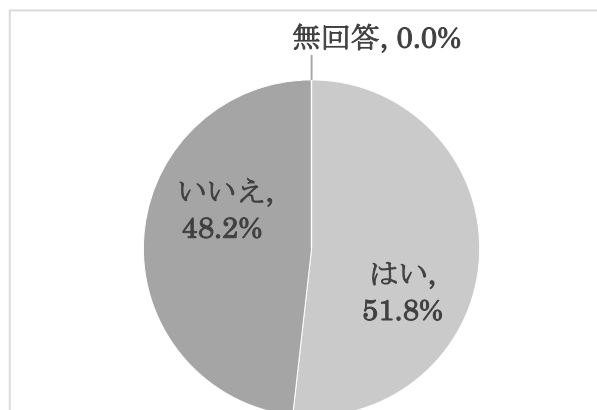
(現在利用地区：他の市町村)



項目	度数	構成比
藤岡地区	3	30.0%
神流地区	0	0.0%
小野地区	1	10.0%
美土里地区	1	10.0%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	4	40.0%
無回答	1	10.0%
回答者数	10	100.0%

22-2 問 22 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3～12 にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「幼稚園」の利用を強く希望の「はい」は 51.8%、「いいえ」48.2%となっています。



項目	度数	構成比
はい	29	51.8%
いいえ	27	48.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	56	100.0%
非該当	492	—

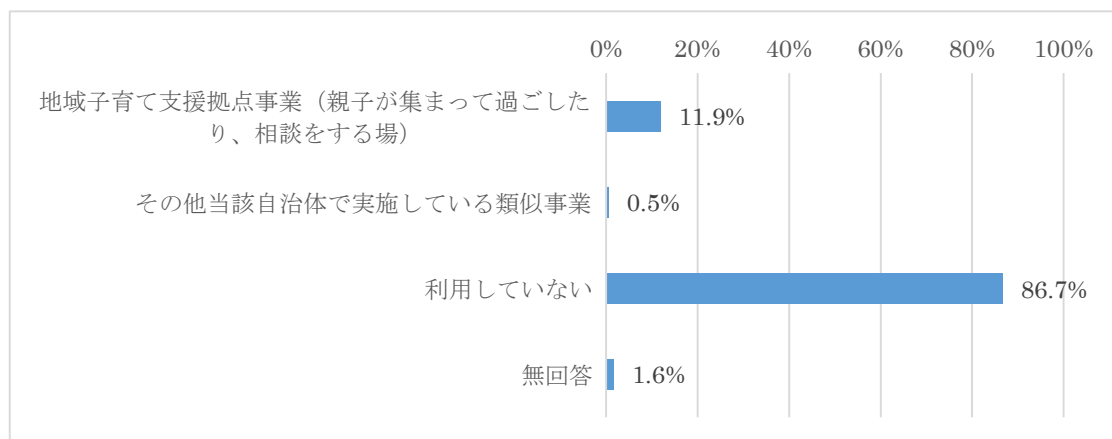
6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 23 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」を利用している割合が 11.9%に対し、「利用していない」が 86.7%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、1 週あたりでは「1 回～3 回」の割合が比較的高く、1 ヶ月あたりにおいても同様の傾向となっています。

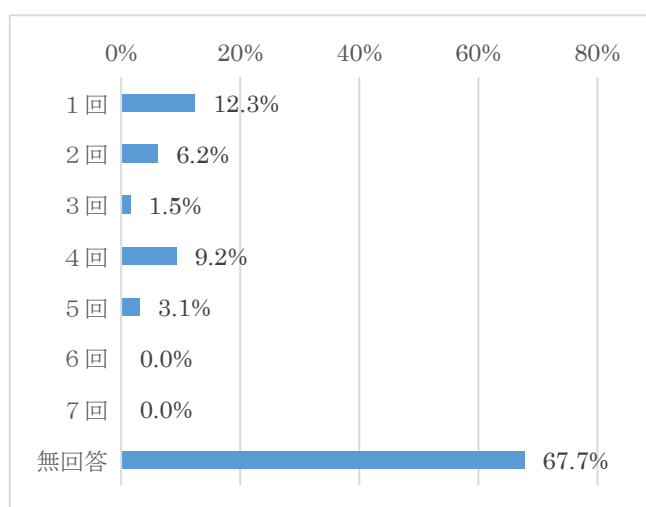
また、その他当該自治体で実施している類似の事業の利用は少なくなっています。



項目	度数	構成比
地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)	65	11.9%
その他当該自治体で実施している類似事業	3	0.5%
利用していない	475	86.7%
無回答	9	1.6%
回答者数	548	—

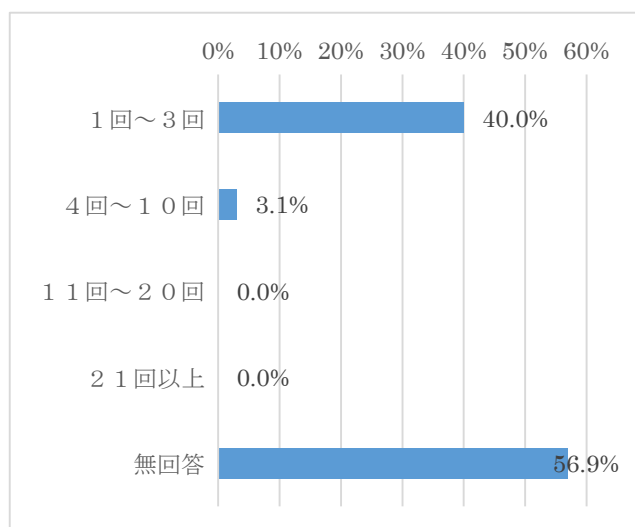
■地域子育て支援拠点事業の利用（１週あたり回数または１ヶ月あたり回数）

（１週あたり回数）



項目	度数	構成比
1回	8	12.3%
2回	4	6.2%
3回	1	1.5%
4回	6	9.2%
5回	2	3.1%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	44	67.7%
回答者数	65	100.0%
非該当	483	—

（１ヶ月あたり回数）



項目	度数	構成比
1回～3回	26	40.0%
4回～10回	2	3.1%
11回～20回	0	0.0%
21回以上	0	0.0%
無回答	37	56.9%
回答者数	65	100.0%
非該当	483	—

■その他当該自治体で実施している類似の事業の利用（１週あたり回数または１ヶ月あたり回数）

(1週あたり回数)

項目	度数	構成比
1回	0	0.0%
2回	0	0.0%
3回	0	0.0%
4回	0	0.0%
5回	0	0.0%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	3	100.0%
回答者数	3	100.0%
非該当	545	—

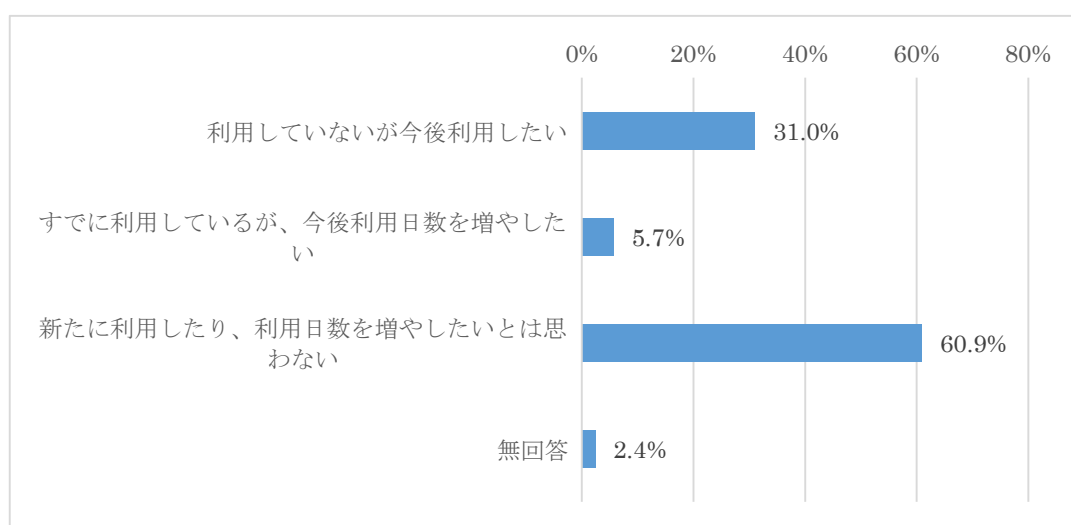
(1ヶ月あたり回数)

項目	度数	構成比
1回～3回	1	33.3%
4回～10回	0	0.0%
11回～20回	0	0.0%
21回以上	0	0.0%
無回答	2	66.7%
回答者数	3	100.0%
非該当	545	—

問24 問23のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業の新規の利用及び利用拡大の意向は、「利用していないが、今後利用したい（31.0%）」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい（5.7%）」の合計割合が36.7%に対し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が60.9%となっています。

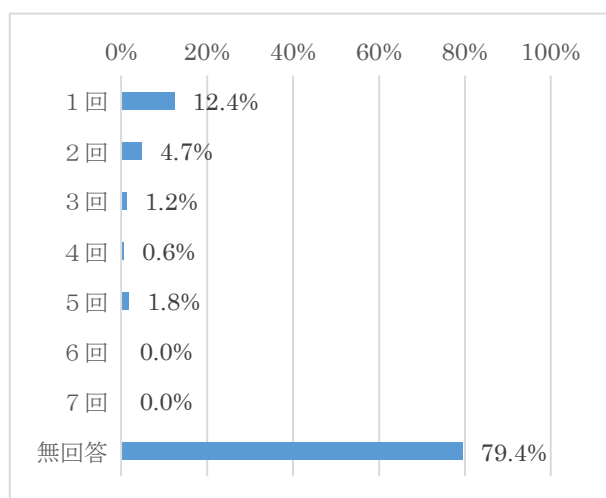
地域子育て支援拠点事業の利用回数は、新規の利用及び利用拡大ともに、1週あたりでは「1回～2回」の割合が、1ヶ月あたりでは「1回～10回」の割合が比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
利用していないが今後利用したい	170	31.0%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	31	5.7%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	334	60.9%
無回答	13	2.4%
回答者数	548	100.0%

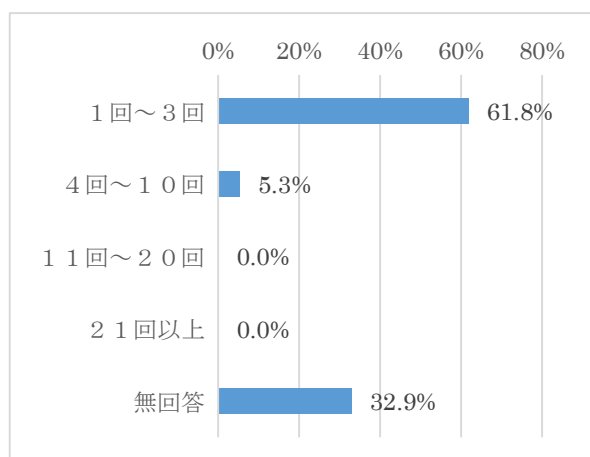
■利用していないが今後利用したい（1週あたり回数または1ヶ月あたり回数）

（1週あたり回数）



項目	度数	構成比
1回	21	12.4%
2回	8	4.7%
3回	2	1.2%
4回	1	0.6%
5回	3	1.8%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	135	79.4%
回答者数	170	100.0%
非該当	378	—

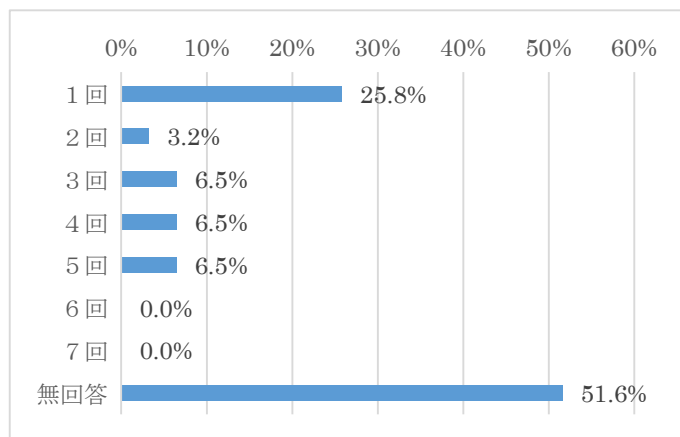
（1ヶ月あたり回数）



項目	度数	構成比
1回～3回	105	61.8%
4回～10回	9	5.3%
11回～20回	0	0.0%
21回以上	0	0.0%
無回答	56	32.9%
回答者数	170	100.0%
非該当	378	—

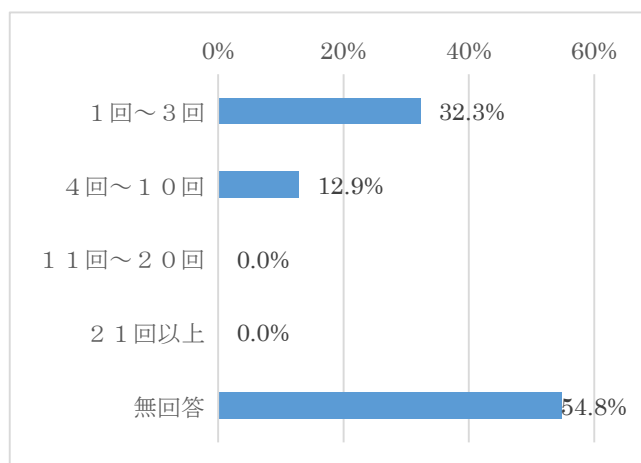
■利用回数を更に増やしたい（１週あたり回数または１ヶ月あたり回数）

（１週あたり回数）



項目	度数	構成比
1回	8	25.8%
2回	1	3.2%
3回	2	6.5%
4回	2	6.5%
5回	2	6.5%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	16	51.6%
回答者数	31	100.0%
非該当	517	—

（１ヶ月あたり回数）

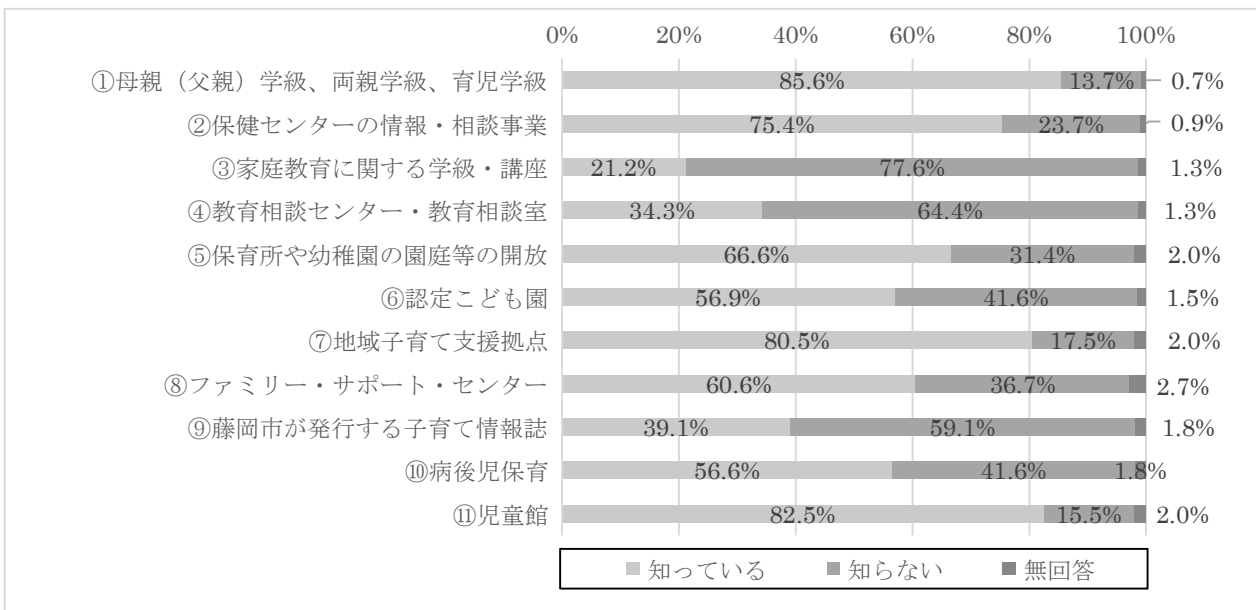


項目	度数	構成比
1回～3回	10	32.3%
4回～10回	4	12.9%
11回～20回	0	0.0%
21回以上	0	0.0%
無回答	17	54.8%
回答者数	31	100.0%
非該当	517	—

問 25 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

認知度は、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級 (85.6%)」「保健センターの情報・相談事業 (75.4%)」「地域子育て支援拠点 (80.5%)」「児童館 (82.5%)」の割合がいずれも7割を超え高くなっています。

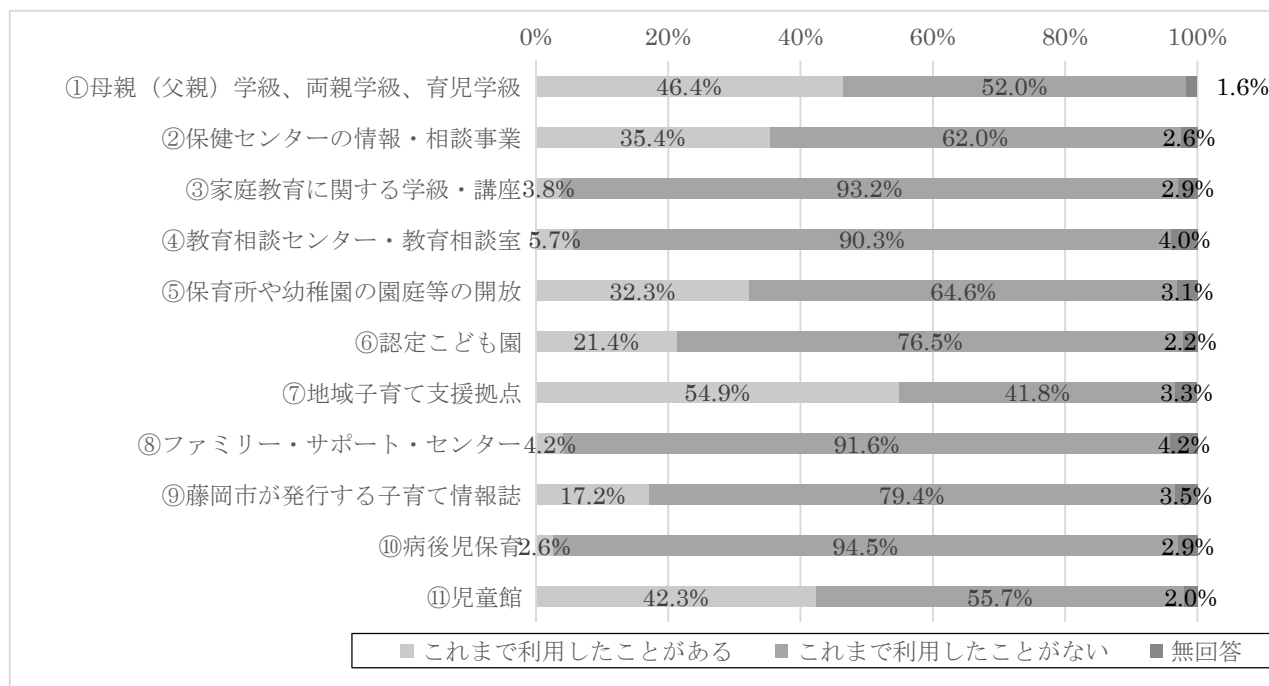
■認知度



項目	知っている	知らない	無回答	回答者数
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	469	75	4	548
	85.6%	13.7%	0.7%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	413	130	5	548
	75.4%	23.7%	0.9%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	116	425	7	548
	21.2%	77.6%	1.3%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	188	353	7	548
	34.3%	64.4%	1.3%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	365	172	11	548
	66.6%	31.4%	2.0%	100.0%
⑥認定こども園	312	228	8	548
	56.9%	41.6%	1.5%	100.0%
⑦地域子育て支援拠点	441	96	11	548
	80.5%	17.5%	2.0%	100.0%
⑧ファミリー・サポート・センター	332	201	15	548
	60.6%	36.7%	2.7%	100.0%
⑨藤岡市が発行する子育て情報誌	214	324	10	548
	39.1%	59.1%	1.8%	100.0%
⑩病後児保育	310	228	10	548
	56.6%	41.6%	1.8%	100.0%
⑪児童館	452	85	11	548
	82.5%	15.5%	2.0%	100.0%

利用度は、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級 (46.4%)」「地域子育て支援拠点 (54.9%)」「児童館 (42.3%)」の割合がいずれも4割を超えています。

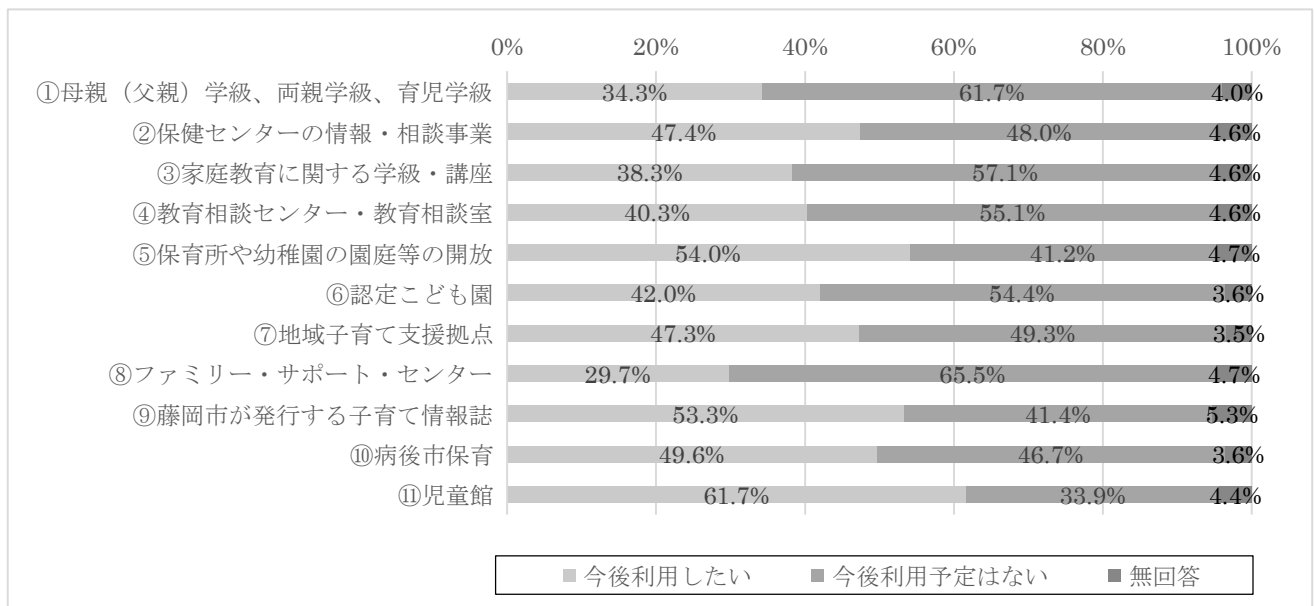
■利用度



項目	これまで利用したことがある	これまで利用したことがない	無回答	回答者数
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	254	285	9	548
	46.4%	52.0%	1.6%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	194	340	14	548
	35.4%	62.0%	2.6%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	21	511	16	548
	3.8%	93.2%	2.9%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	31	495	22	548
	5.7%	90.3%	4.0%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	177	354	17	548
	32.3%	64.6%	3.1%	100.0%
⑥認定こども園	117	419	12	548
	21.4%	76.5%	2.2%	100.0%
⑦地域子育て支援拠点	301	229	18	548
	54.9%	41.8%	3.3%	100.0%
⑧ファミリー・サポート・センター	23	502	23	548
	4.2%	91.6%	4.2%	100.0%
⑨藤岡市が発行する子育て情報誌	94	435	19	548
	17.2%	79.4%	3.5%	100.0%
⑩病後児保育	14	518	16	548
	2.6%	94.5%	2.9%	100.0%
⑪児童館	232	305	11	548
	42.3%	55.7%	2.0%	100.0%

利用意向は、「保健センターの情報・相談事業（47.4%）」「保育所や幼稚園の園庭等の開放（54.0%）」「地域子育て支援拠点（47.3%）」「藤岡市が発行する子育て情報誌（53.3%）」「病後児保育」の割合がいずれも5割前後と比較的高くなっています。また、「児童館」は利用意向の割合が61.7%と最も高くなっています。

■利用意向



項目	今後利用したい	今後利用予定はない	無回答	回答者数
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	188	338	22	548
	34.3%	61.7%	4.0%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	260	263	25	548
	47.4%	48.0%	4.6%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	210	313	25	548
	38.3%	57.1%	4.6%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	221	302	25	548
	40.3%	55.1%	4.6%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	296	226	26	548
	54.0%	41.2%	4.7%	100.0%
⑥認定こども園	230	298	20	548
	42.0%	54.4%	3.6%	100.0%
⑦地域子育て支援拠点	259	270	19	548
	47.3%	49.3%	3.5%	100.0%
⑧ファミリー・サポート・センター	163	359	26	548
	29.7%	65.5%	4.7%	100.0%
⑨藤岡市が発行する子育て情報誌	292	227	29	548
	53.3%	41.4%	5.3%	100.0%
⑩病後児保育	272	256	20	548
	49.6%	46.7%	3.6%	100.0%
⑪児童館	338	186	24	548
	61.7%	33.9%	4.4%	100.0%

7 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 26 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

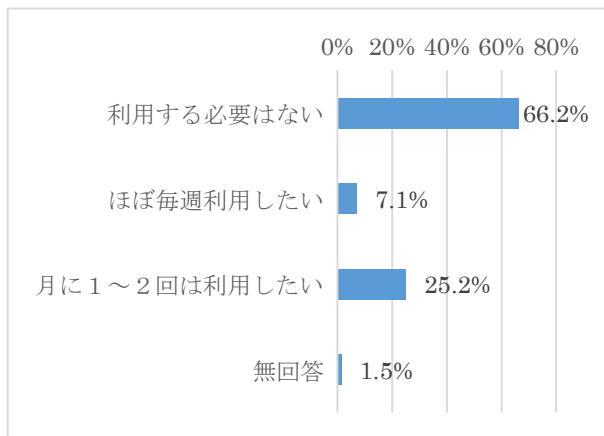
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません

（1）土曜日

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が66.2%に対し、「ほぼ毎週利用したい（7.1%）」と「月に1～2回は利用したい（25.2%）」の合計割合は32.3%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時（42.4%）」「9時（32.2%）」、帰宅時刻については、「16時（20.3%）」「17時（23.2%）」「18時（20.9%）」の割合が比較的高くなっています。

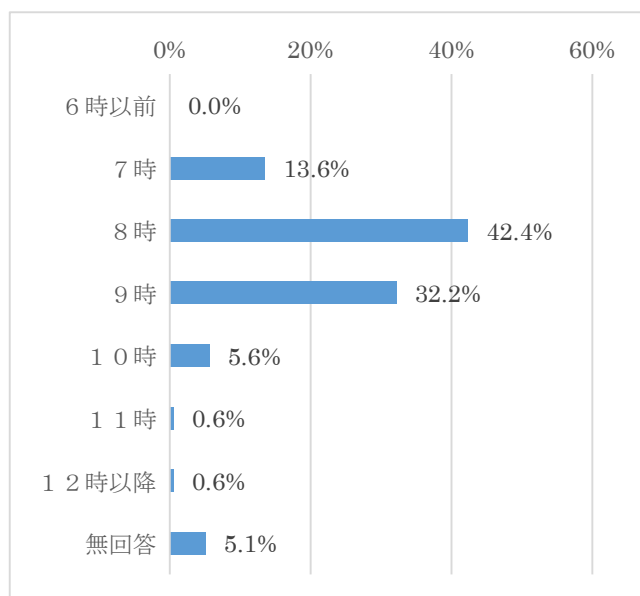
さらに、1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が58.8%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
利用する必要はない	363	66.2%
ほぼ毎週利用したい	39	7.1%
月に1～2回は利用したい	138	25.2%
無回答	8	1.5%
回答者数	548	100.0%

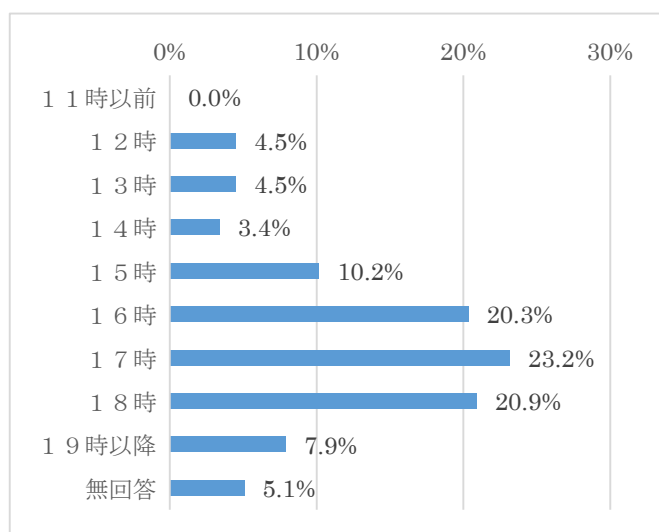
■利用時間帯

(登園時刻)



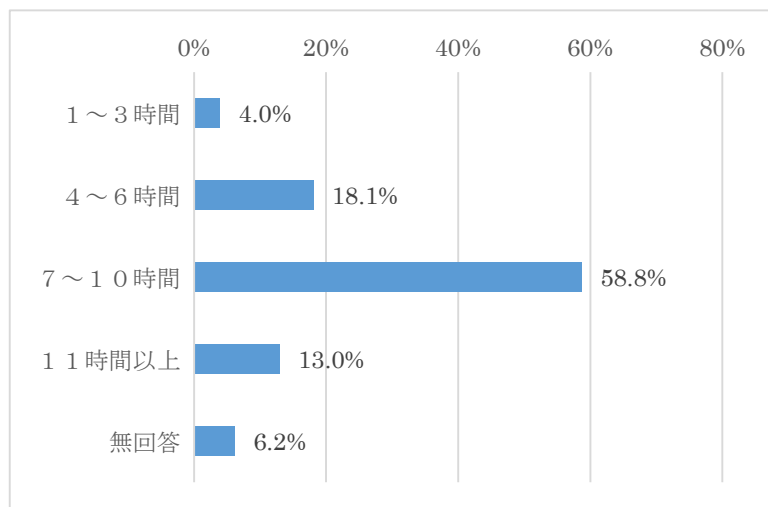
項目	度数	構成比
6 時以前	0	0.0%
7 時	24	13.6%
8 時	75	42.4%
9 時	57	32.2%
10 時	10	5.6%
11 時	1	0.6%
12 時以降	1	0.6%
無回答	9	5.1%
回答者数	177	100.0%
非該当	371	—

(帰宅時刻)



項目	度数	構成比
11 時以前	0	0.0%
12 時	8	4.5%
13 時	8	4.5%
14 時	6	3.4%
15 時	18	10.2%
16 時	36	20.3%
17 時	41	23.2%
18 時	37	20.9%
19 時以降	14	7.9%
無回答	9	5.1%
回答者数	177	100.0%
非該当	371	—

（１日あたりの時間）



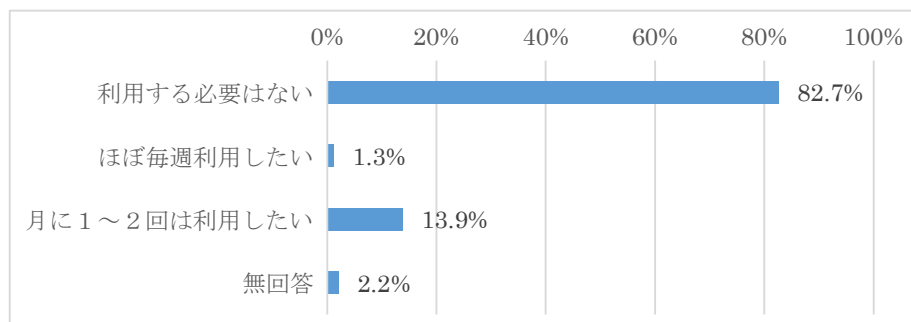
項目	度数	構成比
1～3時間	7	4.0%
4～6時間	32	18.1%
7～10時間	104	58.8%
11時間以上	23	13.0%
無回答	11	6.2%
回答者数	177	100.0%
非該当	371	—

（２）日曜・祝日

日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が **82.7%** に対し、「ほぼ毎週利用したい」と「月に１～２回は利用したい」の合計割合は **15.2%** となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「８時（32.5%）」「９時（36.1%）」、帰宅時刻については、「16時～18時」の割合が比較的高くなっています。

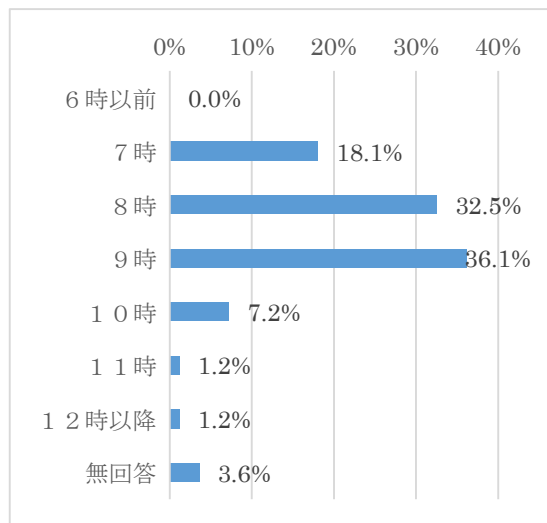
１日あたりの利用希望時間は、「７時間～10時間」の割合が **66.2%** と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
利用する必要はない	453	82.7%
ほぼ毎週利用したい	7	1.3%
月に１～２回は利用したい	76	13.9%
無回答	12	2.2%
回答者数	548	100.0%

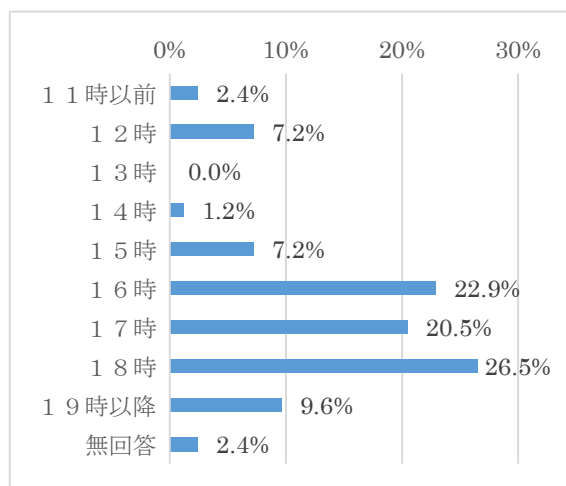
■利用時間帯

(登園時刻)



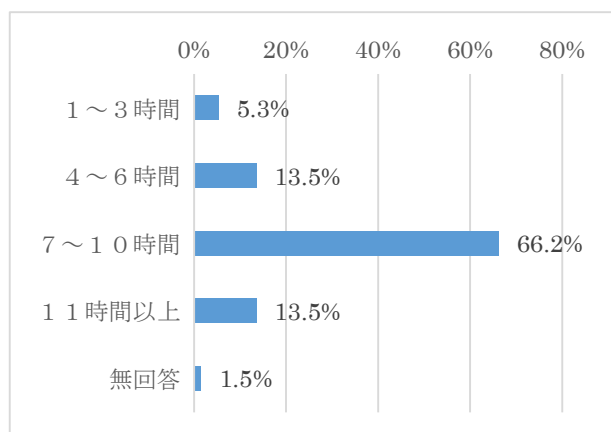
項目	度数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	15	18.1%
8時	27	32.5%
9時	30	36.1%
10時	6	7.2%
11時	1	1.2%
12時以降	1	1.2%
無回答	3	3.6%
回答者数	83	100.0%
非該当	465	—

(帰宅時刻)



項目	度数	構成比
11時以前	2	2.4%
12時	6	7.2%
13時	0	0.0%
14時	1	1.2%
15時	6	7.2%
16時	19	22.9%
17時	17	20.5%
18時	22	26.5%
19時以降	8	9.6%
無回答	2	2.4%
回答者数	83	100.0%
非該当	465	—

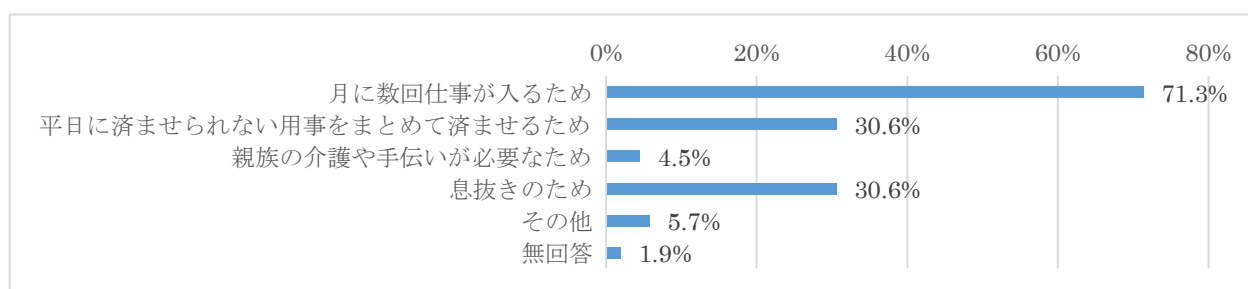
■ 1日あたり利用時間



項目	度数	構成比
1～3時間	7	5.3%
4～6時間	18	13.5%
7～10時間	88	66.2%
11時間以上	18	13.5%
無回答	2	1.5%
回答者数	133	100.0%
非該当	227	—

問 26-1 問 26 の（１）もしくは（２）で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

土曜日や日曜・祝日の教育・保育の事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」の割合が 71.3%と最も高く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」がいずれも 30.6%と続いています。



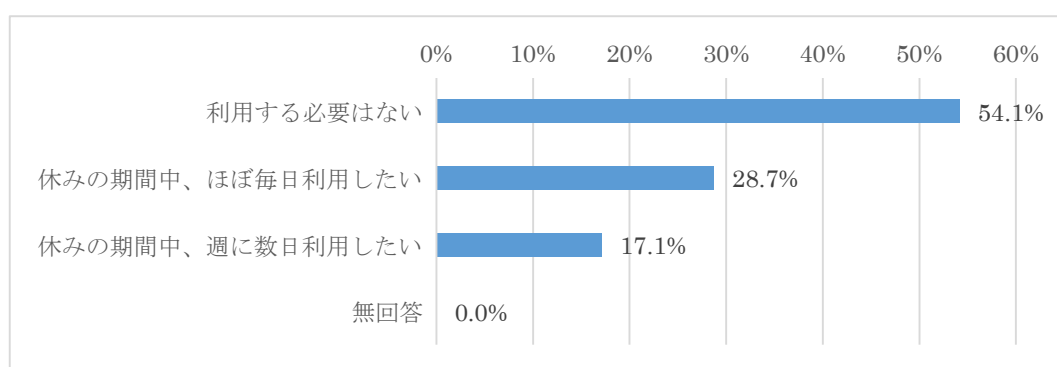
項目	度数	構成比
月に数回仕事が入るため	112	71.3%
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	48	30.6%
親族の介護や手伝いが必要なため	7	4.5%
息抜きのため	48	30.6%
その他	9	5.7%
無回答	3	1.9%
回答者数	157	—
非該当	391	—

問 27 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時(例) のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が54.1%に対し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(28.7%)」と「休みの期間中、週に数日利用したい(17.1%)」の合計割合は45.8%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時(33.7%)」「9時(48.2%)」、帰宅時刻については、「15時～17時」で6割を超えています。

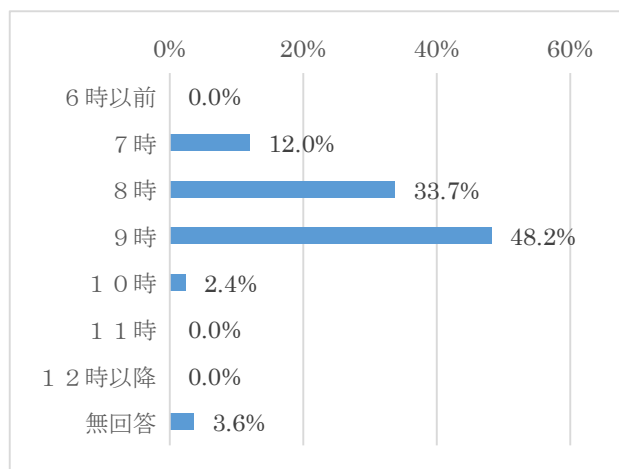
1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が61.4%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
利用する必要はない	98	54.1%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	52	28.7%
休みの期間中、週に数日利用したい	31	17.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	181	100.0%
非該当	367	—

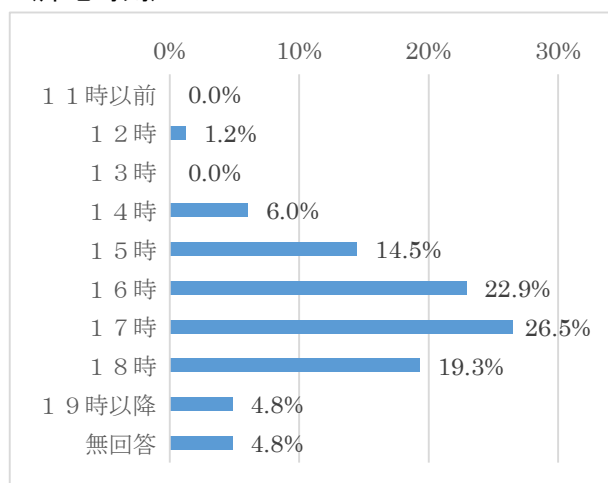
■利用時間帯

(登園時刻)



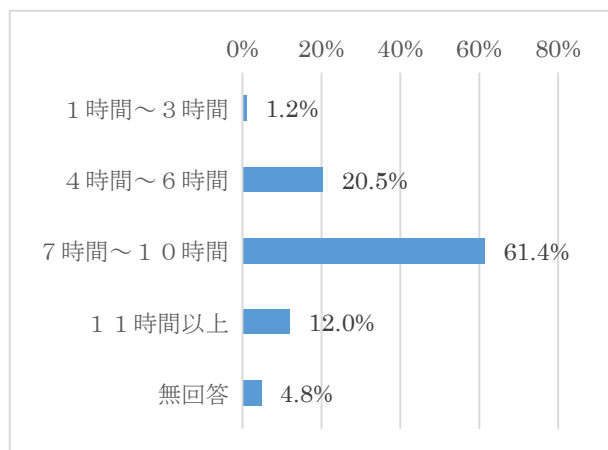
項目	度数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	10	12.0%
8時	28	33.7%
9時	40	48.2%
10時	2	2.4%
11時	0	0.0%
12時以降	0	0.0%
無回答	3	3.6%
回答者数	83	100.0%
非該当	465	—

(帰宅時刻)



項目	度数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	1	1.2%
13時	0	0.0%
14時	5	6.0%
15時	12	14.5%
16時	19	22.9%
17時	22	26.5%
18時	16	19.3%
19時以降	4	4.8%
無回答	4	4.8%
回答者数	83	100.0%
非該当	465	—

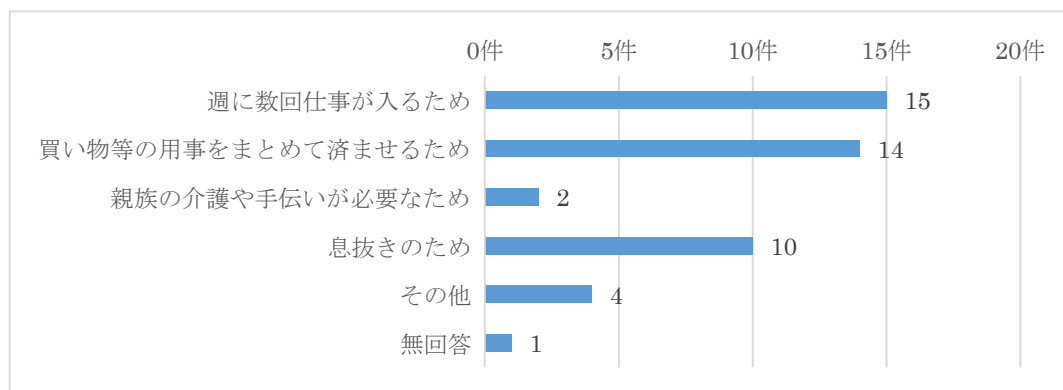
(1日あたり利用時間)



項目	度数	構成比
1時間～3時間	1	1.2%
4時間～6時間	17	20.5%
7時間～10時間	51	61.4%
11時間以上	10	12.0%
無回答	4	4.8%
回答者数	83	100.0%
非該当	465	—

問 27-1 問 27 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が 15 件、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 14 件となっています。

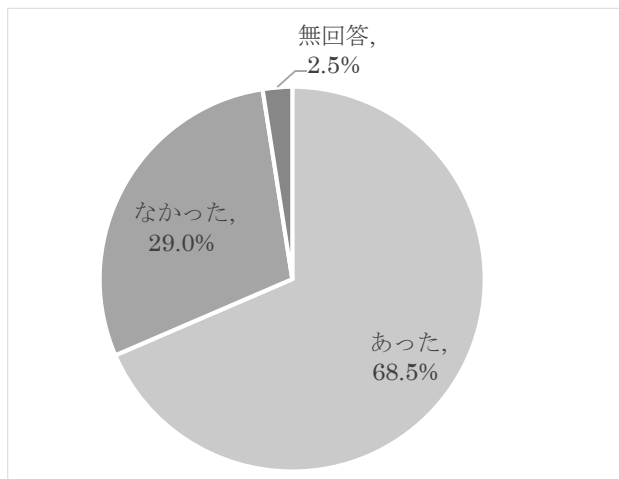


項目	度数	構成比
週に数回仕事が入るため	15	48.4%
買い物等の用事をまとめて済ませるため	14	45.2%
親族の介護や手伝いが必要なため	2	6.5%
息抜きのため	10	32.3%
その他	4	12.9%
無回答	1	3.2%
回答者数	31	—
非該当	517	—

8 宛名のお子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 28 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 21 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 29 にお進みください。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

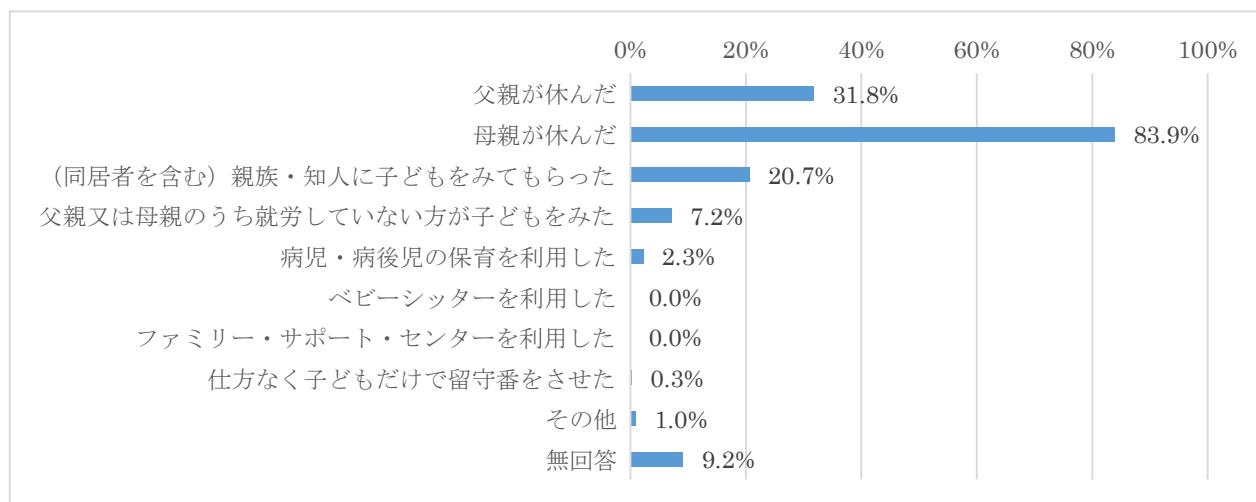
平日の定期的な教育・保育の事業の利用者のうち、子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験は、「あった」の割合が 68.5%に対し、「なかった」が 29.0%と、「あった」の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
あった	305	68.5%
なかった	129	29.0%
無回答	11	2.5%
回答者数	445	100.0%
非該当	103	—

問 28-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、この１年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」の割合が 83.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が 31.8%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が 20.7%となっています。



項目	度数	構成比
父親が休んだ	97	31.8%
母親が休んだ	256	83.9%
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	63	20.7%
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	22	7.2%
病児・病後児の保育を利用した	7	2.3%
ベビーシッターを利用した	0	0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	0.3%
その他	3	1.0%
無回答	28	9.2%
回答者数	305	—
非該当	243	—

■年間対処日数

(父親)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	44	45.4%
4 日～7 日	35	36.1%
8 日～1 0 日	13	13.4%
1 1 日～2 0 日	4	4.1%
2 1 日～3 0 日	0	0.0%
3 1 日以上	1	1.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	97	100.0%
非該当	451	—

(母親)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	42	16.4%
4 日～7 日	69	27.0%
8 日～1 0 日	62	24.2%
1 1 日～2 0 日	52	20.3%
2 1 日～3 0 日	17	6.6%
3 1 日以上	14	5.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	256	100.0%
非該当	292	—

(親族・知人)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	23	36.5%
4 日～7 日	18	28.6%
8 日～1 0 日	14	22.2%
1 1 日～2 0 日	8	12.7%
2 1 日～3 0 日	0	0.0%
3 1 日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	63	100.0%
非該当	485	—

(就労していない保護者)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	4	18.2%
4 日～7 日	4	18.2%
8 日～1 0 日	5	22.7%
1 1 日～2 0 日	5	22.7%
2 1 日～3 0 日	2	9.1%
3 1 日以上	2	9.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	22	100.0%
非該当	526	—

(病児・病後児保育)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	4	57.1%
4 日～7 日	1	14.3%
8 日～1 0 日	2	28.6%
1 1 日～2 0 日	0	0.0%
2 1 日～3 0 日	0	0.0%
3 1 日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	7	100.0%
非該当	541	—

(子どもだけで留守番)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	0	0.0%
4 日～7 日	0	0.0%
8 日～1 0 日	0	0.0%
1 1 日～2 0 日	1	100.0%
2 1 日～3 0 日	0	0.0%
3 1 日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	547	—

(その他)

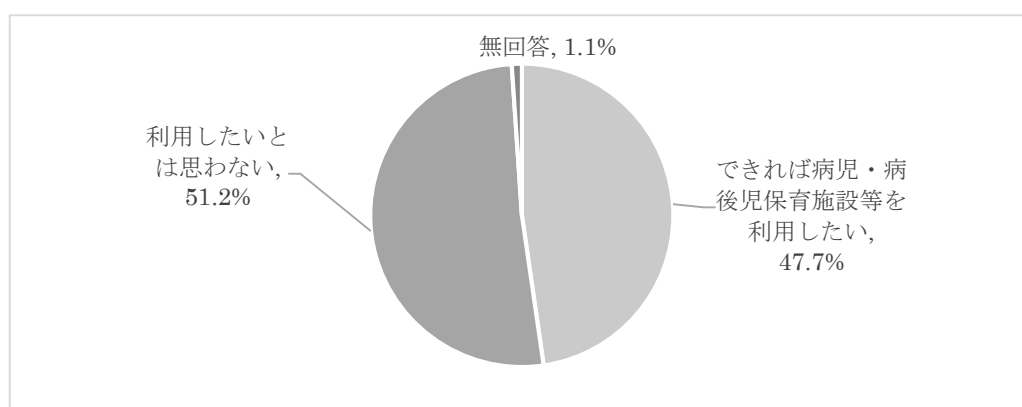
項目	度数	構成比
1 日～3 日	1	33.3%
4 日～7 日	0	0.0%
8 日～10 日	2	66.7%
11 日～20 日	0	0.0%
21 日～30 日	0	0.0%
31 日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	100.0%
非該当	545	—

※ベビーシッター、ファミリー・サポート・センターの回答はなし

問 28-2 問 28-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

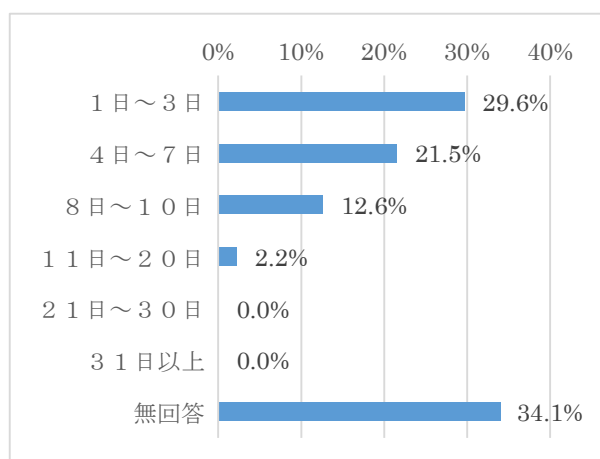
子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児・病後児保育施設の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 47.7%に対し、「利用したいとは思わない」が 51.2%となっています。

また、利用希望日数は、「1 日～3 日」の割合が 29.6%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	135	47.7%
利用したいとは思わない	145	51.2%
無回答	3	1.1%
回答者数	283	100.0%
非該当	265	—

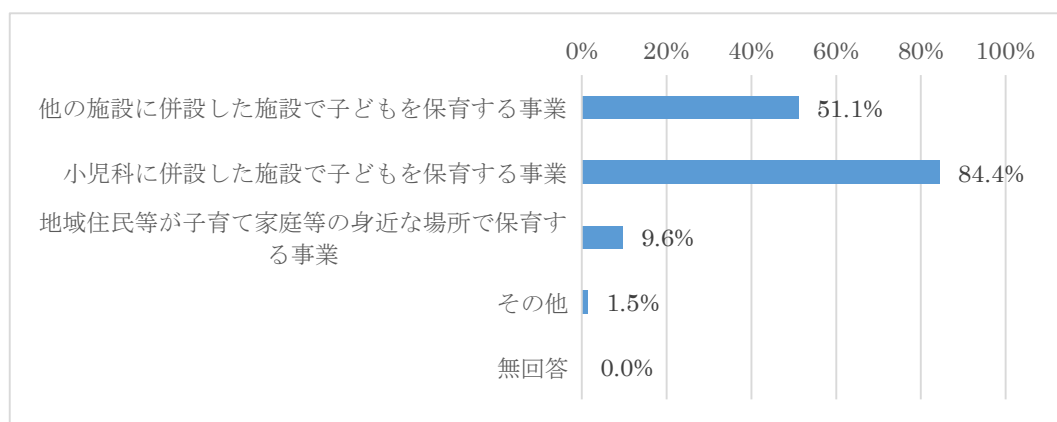
■利用希望日数



項目	度数	構成比
1日～3日	40	29.6%
4日～7日	29	21.5%
8日～10日	17	12.6%
11日～20日	3	2.2%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	46	34.1%
回答者数	135	100.0%
非該当	413	—

問 28-3 問 28-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

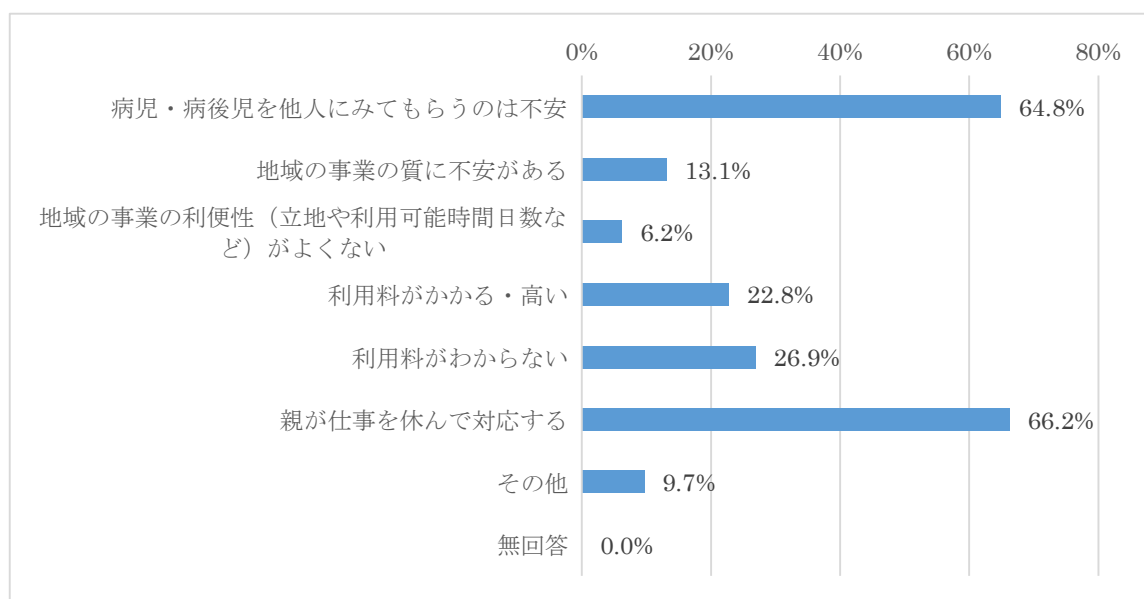
病児・病後児保育施設の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 84.4%と最も高く、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 51.1%と続いています。



項目	度数	構成比
他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業	69	51.1%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	114	84.4%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	13	9.6%
その他	2	1.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	135	—
非該当	413	—

問 28-4 問 28-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 64.8%と最も高く、「親が仕事を休んで対応する」の割合も 66.2%と同程度に高くなっています。

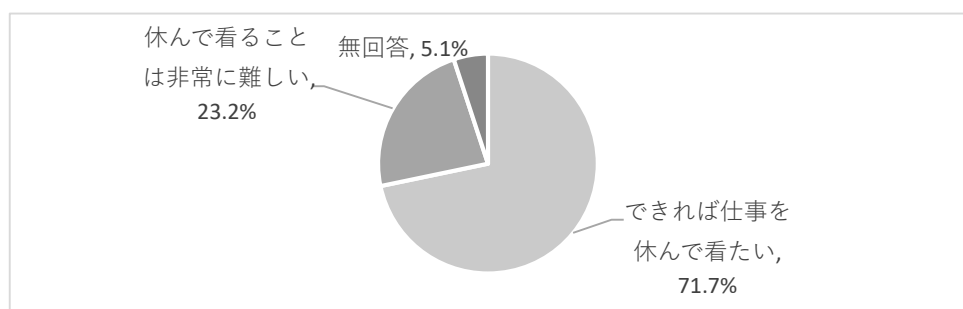


項目	度数	構成比
病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	94	64.8%
地域の事業の質に不安がある	19	13.1%
地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない	9	6.2%
利用料がかかる・高い	33	22.8%
利用料がわからない	39	26.9%
親が仕事を休んで対応する	96	66.2%
その他	14	9.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	145	—
非該当	403	—

問 28-5 問 28-1 で「ウ」～「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに〇 をつけ、問 28-1 の「ウ」～「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても 数字でご記入 ください（数字は一桁に一字）。

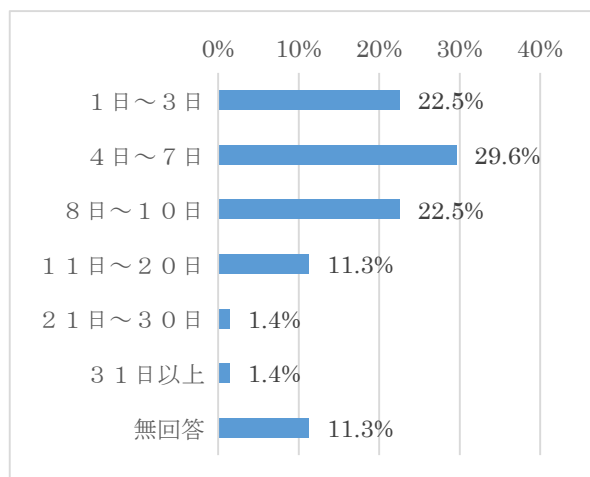
子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったときの対処方法で、父親や母親が休んだ以外を回答した保護者のうち、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 71.7% に対し、「休んで看することは非常に難しい」が 23.2% と、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が上回っています。

また、父親や母親が休んで子どもを看たい日数は、「4 日～7 日」の割合が 29.6% と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
できれば仕事を休んで看たい	71	71.7%
休んで看することは非常に難しい	23	23.2%
無回答	5	5.1%
回答者数	99	100.0%
非該当	449	—

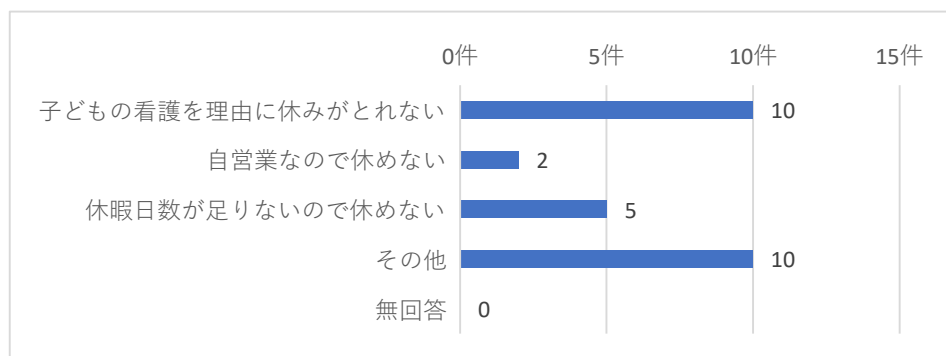
■休んで子どもを看たい日数



項目	度数	構成比
1 日～3 日	16	22.5%
4 日～7 日	21	29.6%
8 日～10 日	16	22.5%
11 日～20 日	8	11.3%
21 日～30 日	1	1.4%
31 日以上	1	1.4%
無回答	8	11.3%
回答者数	71	100.0%
非該当	477	—

問 28-6 問 28-5「2. 休んでみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったとき、父親や母親が休んで看することは難しいと回答した理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 10 件と多くなっています。

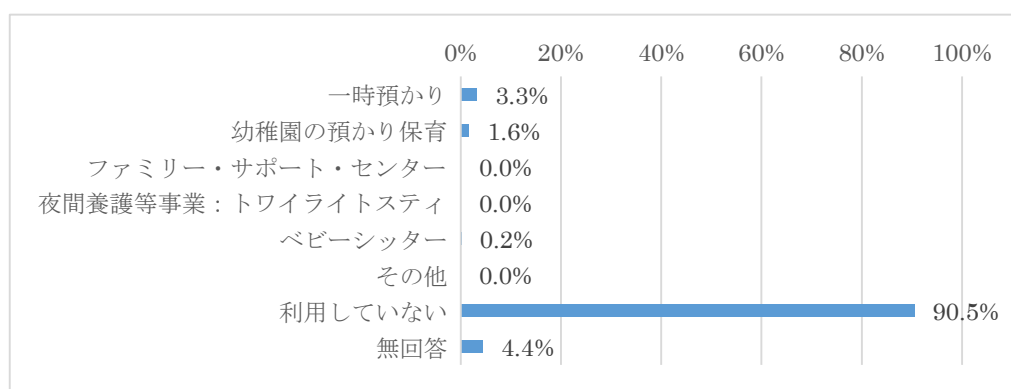


項目	度数	構成比
子どもの看護を理由に休みがとれない	10	43.5%
自営業なので休めない	2	8.7%
休暇日数が足りないので休めない	5	21.7%
その他	10	43.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	—
非該当	525	—

9 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 29 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は、「一時預かり（3.3%）」「幼稚園の預かり保育（1.6%）」の割合がそれぞれ数パーセントとなっており、「利用していない」の割合が90.5%と高くなっています。



項目	度数	構成比
一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	18	3.3%
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	9	1.6%
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	0	0.0%
夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間・子供を保護する事業）	0	0.0%
ベビーシッター	1	0.2%
その他	0	0.0%
利用していない	496	90.5%
無回答	24	4.4%
回答者数	548	—

■年間利用日数

(一時預かり)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	7	38.9%
4 日～7 日	6	33.3%
8 日～10 日	1	5.6%
11 日～20 日	3	16.7%
21 日～30 日	1	5.6%
31 日以上	0	0.0%
回答者数	18	100.0%
非該当	530	—

(幼稚園の預かり保育)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	4	44.4%
4 日～7 日	1	11.1%
8 日～10 日	2	22.2%
11 日～20 日	1	11.1%
21 日～30 日	0	0.0%
31 日以上	1	11.1%
回答者数	9	100.0%
非該当	539	—

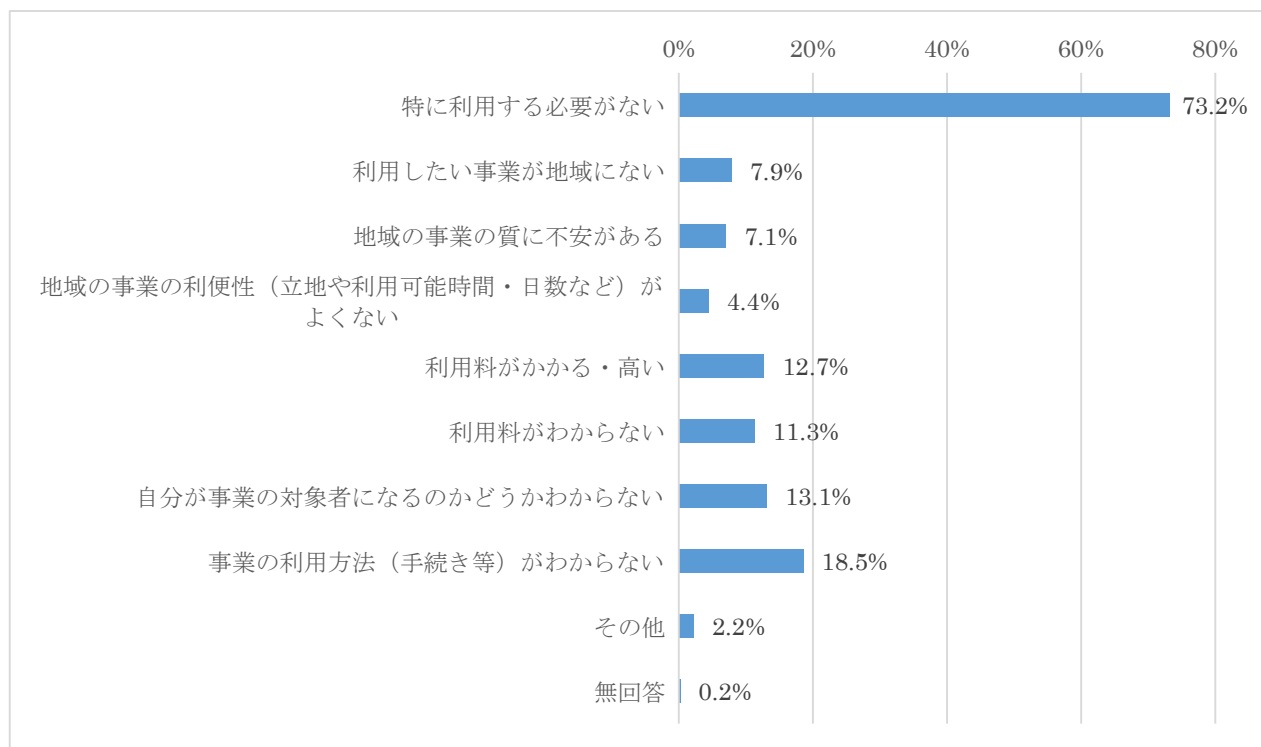
(ベビーシッター)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	1	100.0%
4 日～7 日	0	0.0%
8 日～10 日	0	0.0%
11 日～20 日	0	0.0%
21 日～30 日	0	0.0%
31 日以上	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	547	—

※ファミリー・サポート・センター、夜間養護等事業、ベビーシッターの回答はなし

問 29-1 問 29 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」の割合が 73.2%と最も高くなっています。また、「利用料がわからない (11.3%)」「自分が事業の対象者になるかわからない (13.1%)」「事業の利用方法 (手続き等) がわからない (18.5%)」の理由が、それぞれ 1 割を超えて高くなっています。

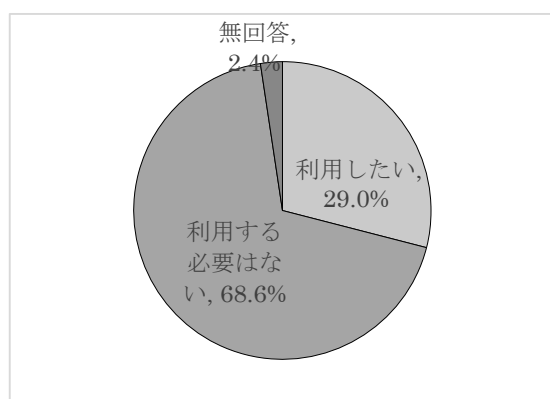


項目	度数	構成比
特に利用する必要がある	363	73.2%
利用したい事業が地域にない	39	7.9%
地域の事業の質に不安がある	35	7.1%
地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	22	4.4%
利用料がかかる・高い	63	12.7%
利用料がわからない	56	11.3%
自分が事業の対象者になるのかわからない	65	13.1%
事業の利用方法（手続き等）がわからない	92	18.5%
その他	11	2.2%
無回答	1	0.2%
回答者数	496	—
非該当	52	—

問 30 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

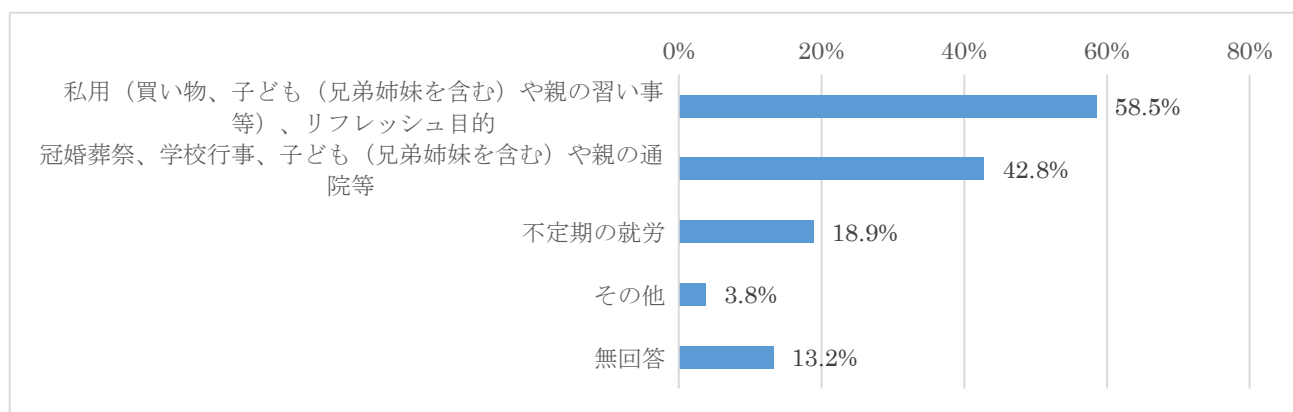
私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」の割合が 29.0%に対し、「利用する必要はない」が 68.6%となっています。

また、利用目的別では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的（58.5%）」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等（42.8%）」の割合がいずれも5割を超え高く、年間利用日数の合計では、「1日～3日（21.4%）」「4日～7日（18.2%）」「11日～20日（19.5%）」が比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
利用したい	159	29.0%
利用する必要はない	376	68.6%
無回答	13	2.4%
回答者数	548	100.0%

■利用目的



項目	度数	構成比
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	93	58.5%
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	68	42.8%
不定期の就労	30	18.9%
その他	6	3.8%
無回答	21	13.2%
回答者数	159	—
非該当	389	—

■年間利用日数

(年間合計)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	34	21.4%
4 日～7 日	29	18.2%
8 日～10 日	19	11.9%
11 日～20 日	31	19.5%
21 日～30 日	14	8.8%
31 日以上	11	6.9%
無回答	21	13.2%
回答者数	159	100.0%
非該当	389	—

(私用、リフレッシュ目的)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	29	31.2%
4 日～7 日	29	31.2%
8 日～10 日	12	12.9%
11 日～20 日	19	20.4%
21 日～30 日	3	3.2%
31 日以上	1	1.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	93	100.0%
非該当	455	—

(冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	19	27.9%
4 日～7 日	28	41.2%
8 日～10 日	7	10.3%
11 日～20 日	11	16.2%
21 日～30 日	1	1.5%
31 日以上	2	2.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	68	100.0%
非該当	480	—

(不定期の就労)

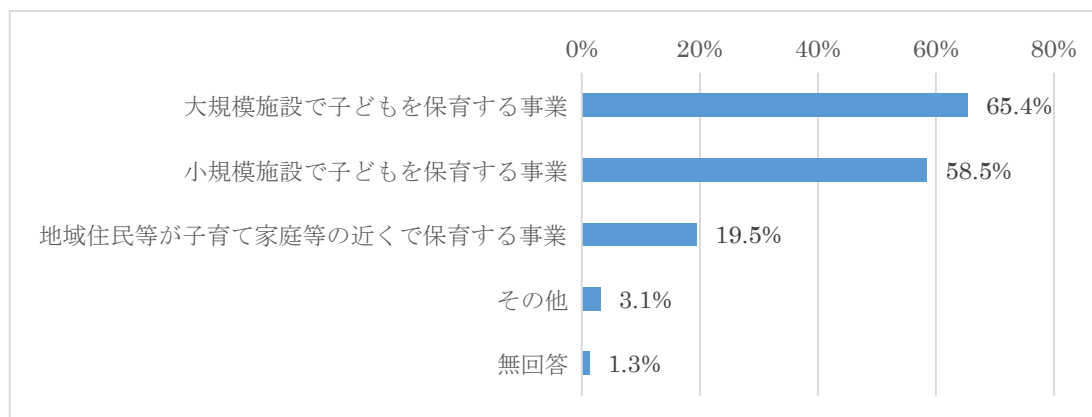
項目	度数	構成比
1 日～3 日	3	10.0%
4 日～7 日	5	16.7%
8 日～10 日	7	23.3%
11 日～20 日	9	30.0%
21 日～30 日	3	10.0%
31 日以上	3	10.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	30	100.0%
非該当	518	—

(その他)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	3	50.0%
4 日～7 日	1	16.7%
8 日～10 日	0	0.0%
11 日～20 日	1	16.7%
21 日～30 日	0	0.0%
31 日以上	1	16.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	6	100.0%
非該当	542	—

問 30-1 問 30 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 30 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で子どもを預ける場合の事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が 65.4%と最も高くなっています。

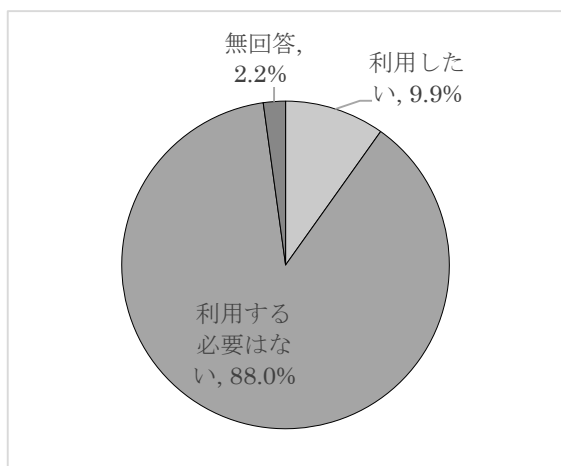


項目	度数	構成比
大規模施設で子どもを保育する事業	104	65.4%
小規模施設で子どもを保育する事業	93	58.5%
地域住民等が子育て家庭等の近くで保育する事業	31	19.5%
その他	5	3.1%
無回答	2	1.3%
回答者数	159	—
非該当	389	—

問 31 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください。）なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

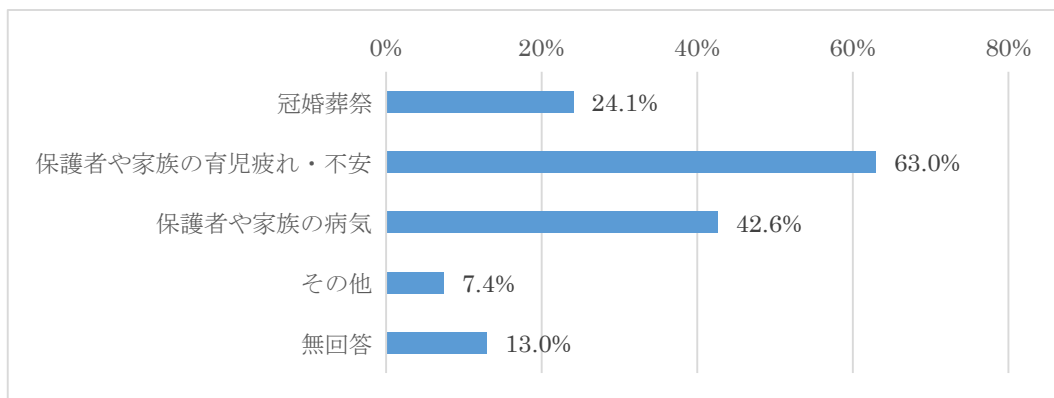
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）による短期入所生活援助事業の利用希望の有無について、「利用したい」の割合が 9.9%に対し、「利用する必要はない」が 88.0%となっています。

また利用を希望する目的については、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 63.0%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
利用したい	54	9.9%
利用する必要はない	482	88.0%
無回答	12	2.2%
回答者数	548	100.0%

■目的



項目	度数	構成比
冠婚葬祭	13	24.1%
保護者や家族の育児疲れ・不安	34	63.0%
保護者や家族の病気	23	42.6%
その他	4	7.4%
無回答	7	13.0%
回答者数	54	—
非該当	494	—

■年間対処日数

(冠婚葬祭)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	13	100.0%
4 日～7 日	0	0.0%
8 日～10 日	0	0.0%
11 日～20 日	0	0.0%
21 日～30 日	0	0.0%
31 日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	13	100.0%
非該当	535	—

(保護者や家族の育児疲れ・不安)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	27	79.4%
4 日～7 日	6	17.6%
8 日～10 日	0	0.0%
11 日～20 日	1	2.9%
21 日～30 日	0	0.0%
31 日以上	0	0.0%
無回答	0	27.3%
回答者数	34	100.0%
非該当	514	—

(保護者や家族の病気)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	14	41.2%
4 日～7 日	9	26.5%
8 日～10 日	0	0.0%
11 日～20 日	0	0.0%
21 日～30 日	0	0.0%
31 日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	67.6%
非該当	525	—

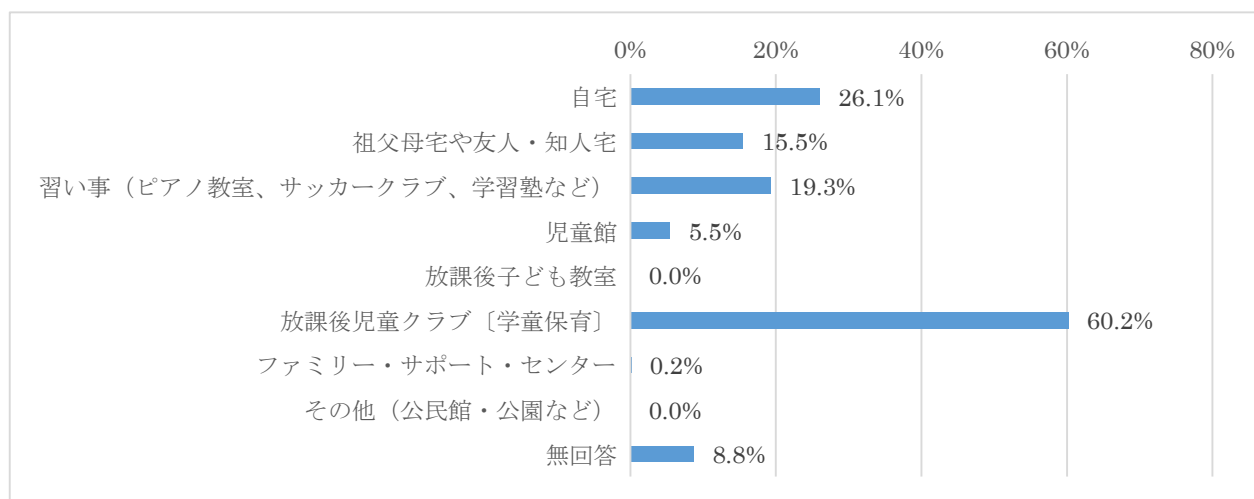
(その他)

項目	度数	構成比
1 日～3 日	3	75.0%
4 日～7 日	0	0.0%
8 日～10 日	0	0.0%
11 日～20 日	0	0.0%
21 日～30 日	1	25.0%
31 日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	4	100.0%
非該当	544	—

10 宛名のお子さんが小学校に入学してからの放課後の過ごし方について

問 32 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時 のように２４時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）。

小学校低学年（１～３年生）のうちの希望する子どもの放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「自宅」も 26.1%と高くなっています。また、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合も 19.3%と比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
自宅	143	26.1%
祖父母宅や友人・知人宅	85	15.5%
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	106	19.3%
児童館	30	5.5%
放課後子ども教室	0	0.0%
放課後児童クラブ〔学童保育〕	330	60.2%
ファミリー・サポート・センター	1	0.2%
その他（公民館・公園など）	0	0.0%
無回答	48	8.8%
回答者数	548	—

■ 1 週あたり利用希望日数等

(自宅)

項目	度数	構成比
1 日	8	5.6%
2 日	14	9.8%
3 日	27	18.9%
4 日	10	7.0%
5 日	80	55.9%
6 日	1	0.7%
7 日	3	2.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	143	100.0%
非該当	405	—

(祖父母宅や友人・知人宅)

項目	度数	構成比
1 日	10	11.8%
2 日	25	29.4%
3 日	12	14.1%
4 日	6	7.1%
5 日	30	35.3%
6 日	2	2.4%
7 日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	85	100.0%
非該当	463	—

(習い事)

項目	度数	構成比
1 日	40	37.7%
2 日	49	46.2%
3 日	16	15.1%
4 日	1	0.9%
5 日	0	0.0%
6 日	0	0.0%
7 日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	106	100.0%
非該当	442	—

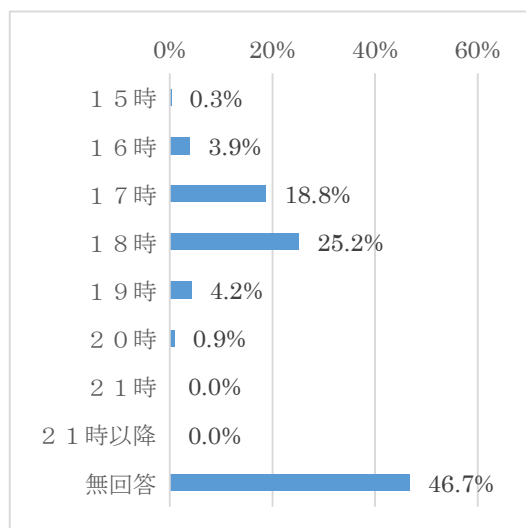
(児童館)

項目	度数	構成比
1 日	2	6.7%
2 日	5	16.7%
3 日	3	10.0%
4 日	3	10.0%
5 日	17	56.7%
6 日	0	0.0%
7 日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	30	100.0%
非該当	518	—

(放課後児童クラブ〔学童保育〕)

項目	度数	構成比
1 日	5	2.3%
2 日	12	5.5%
3 日	27	12.4%
4 日	27	12.4%
5 日	246	112.8%
6 日	12	5.5%
7 日	1	0.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	330	151.4%
非該当	218	—

(放課後児童クラブの利用希望時間 退所時刻)



項目	度数	構成比
15時	1	0.3%
16時	13	3.9%
17時	62	18.8%
18時	83	25.2%
19時	14	4.2%
20時	3	0.9%
21時	0	0.0%
21時以降	0	0.0%
無回答	154	46.7%
回答者数	330	100.0%
非該当	218	—

(ファミリー・サポート・センター)

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	1	100.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	547	—

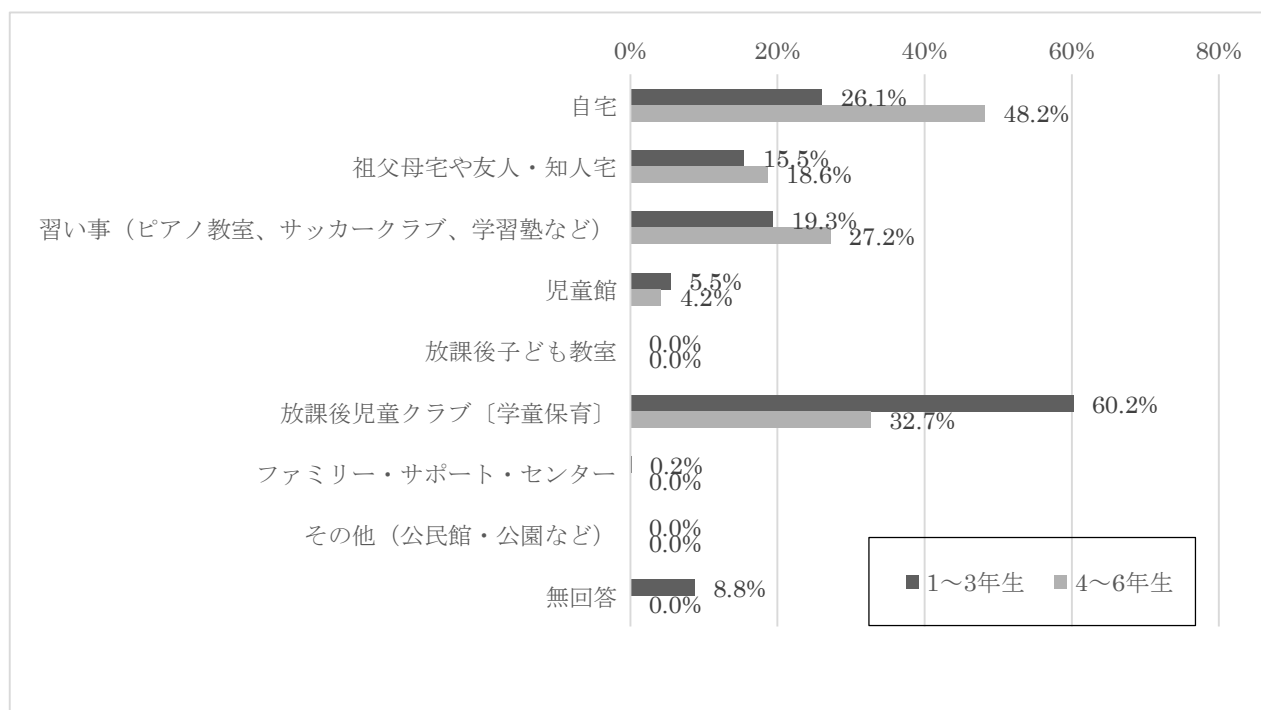
(その他 (公民館・公園など))

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	0	0.0%
非該当	548	—

※「放課後子ども教室」の回答はなし

問 33 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）。

小学校高学年（４～６年生）になったら希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が 48.2% と最も高く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合も 27.2% と高くなっています。また、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合は、１～３年生のときと比べ減少し、32.7% となっています。



項目	度数	構成比
自宅	264	48.2%
祖父母宅や友人・知人宅	102	18.6%
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	149	27.2%
児童館	23	4.2%
放課後子ども教室	0	0.0%
放課後児童クラブ〔学童保育〕	179	32.7%
ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
その他（地域づくりセンター、公園など）	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	548	—

■ 1 週あたり利用希望日数等

(自宅)

項目	度数	構成比
1 日	7	2.7%
2 日	27	10.2%
3 日	43	16.3%
4 日	15	5.7%
5 日	159	60.2%
6 日	7	2.7%
7 日	6	2.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	264	100.0%
非該当	284	—

(祖父母宅や友人・知人宅)

項目	度数	構成比
1 日	12	11.8%
2 日	32	31.4%
3 日	13	12.7%
4 日	8	7.8%
5 日	34	33.3%
6 日	2	2.0%
7 日	1	1.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	102	100.0%
非該当	446	—

(習い事)

項目	度数	構成比
1 日	32	21.5%
2 日	68	45.6%
3 日	43	28.9%
4 日	3	2.0%
5 日	3	2.0%
6 日	0	0.0%
7 日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	149	100.0%
非該当	399	—

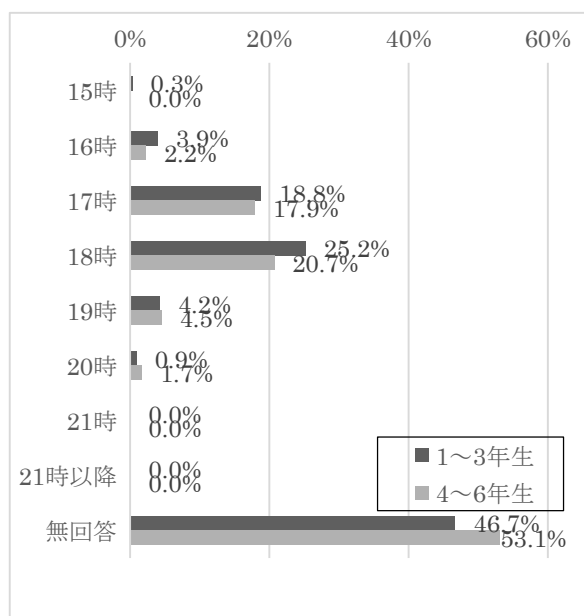
(児童館)

項目	度数	構成比
1 日	3	13.0%
2 日	6	26.1%
3 日	4	17.4%
4 日	2	8.7%
5 日	7	30.4%
6 日	1	4.3%
7 日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	100.0%
非該当	525	—

(放課後児童クラブ[学童保育])

項目	度数	構成比
1 日	5	2.8%
2 日	12	6.7%
3 日	19	10.6%
4 日	9	5.0%
5 日	126	70.4%
6 日	7	3.9%
7 日	1	0.6%
無回答	0	0.0%
回答者数	179	100.0%
非該当	369	—

(放課後児童クラブの利用希望時間 退所時刻)



項目	度数	構成比
15 時	0	0.0%
16 時	4	2.2%
17 時	32	17.9%
18 時	37	20.7%
19 時	8	4.5%
20 時	3	1.7%
21 時	0	0.0%
21 時以降	0	0.0%
無回答	95	53.1%
回答者数	179	100.0%
非該当	369	—

※「放課後子ども教室」「ファミリー・サポート・センター」「その他（地域づくりセンター、公園など）」の回答はなし。

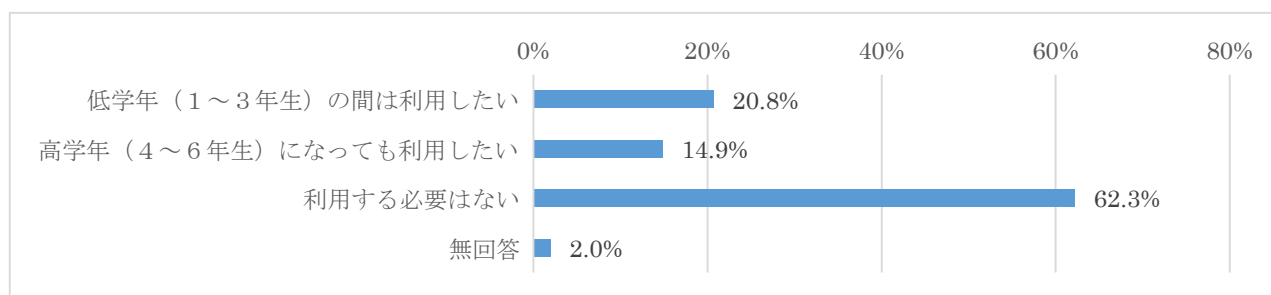
問 34 問 32 または問 33 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）（２）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）。

（１）土曜日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、土曜日の利用希望は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 20.8%に対し、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 14.9%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は 62.3%となっています。

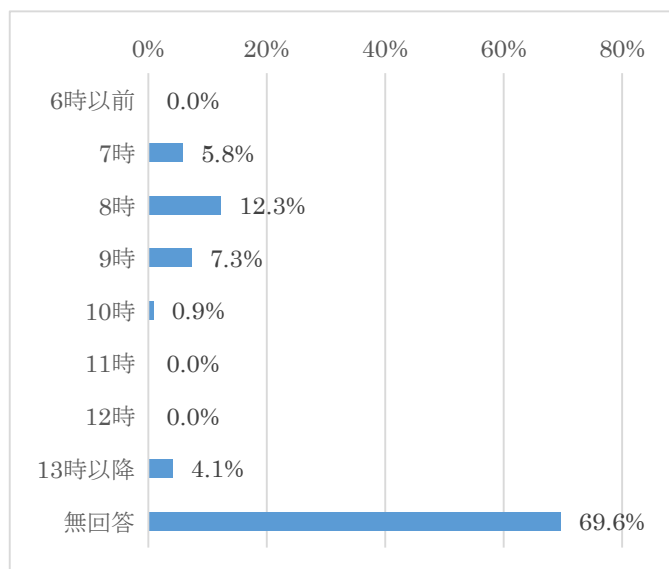
さらに、希望する登所時刻については、「８時（12.3%）」「９時（7.3%）」、退所時刻については、「17時（6.7%）」「18時（6.7%）」が最も高く、続いて「19時以降（3.8%）」「16時（2.0%）」となっています。１日あたりの利用希望時間は、「７時間～10 時間」の割合が 12.6%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
低学年（１～３年生）の間は利用したい	71	20.8%
高学年（４～６年生）になっても利用したい	51	14.9%
利用する必要はない	213	62.3%
無回答	7	2.0%
回答者数	342	100.0%
非該当	206	—

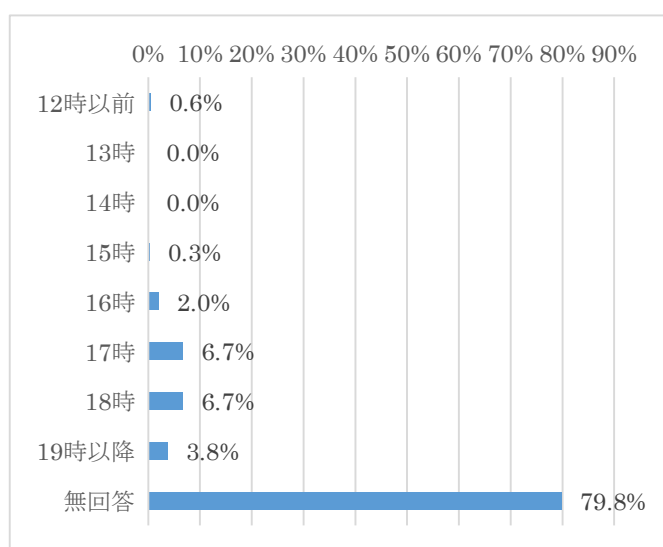
■利用時間帯

(登所時刻)



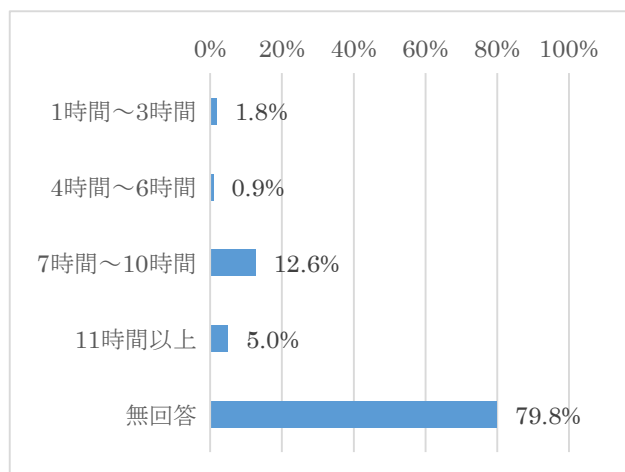
項目	度数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	20	5.8%
8時	42	12.3%
9時	25	7.3%
10時	3	0.9%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	14	4.1%
無回答	238	69.6%
回答者数	342	100.0%
非該当	206	—

(退所時刻)



項目	度数	構成比
12時以前	2	0.6%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	1	0.3%
16時	7	2.0%
17時	23	6.7%
18時	23	6.7%
19時以降	13	3.8%
無回答	273	79.8%
回答者数	342	100.0%
非該当	206	—

(1日あたり利用時間)



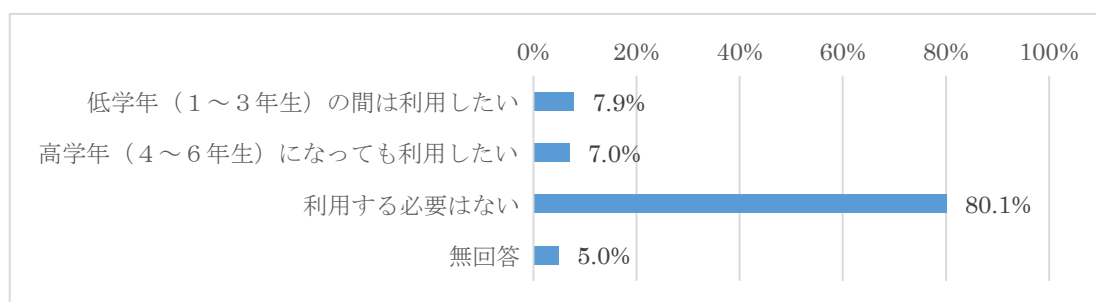
項目	度数	構成比
1時間～3時間	6	1.8%
4時間～6時間	3	0.9%
7時間～10時間	43	12.6%
11時間以上	17	5.0%
無回答	273	79.8%
回答者数	342	100.0%
非該当	206	—

(2) 日曜・祝日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、日曜・祝日の利用希望は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 7.9%に対し、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 7.0%とともに低くなっています。

また、「利用する必要はない」の割合は 80.1%となっています。

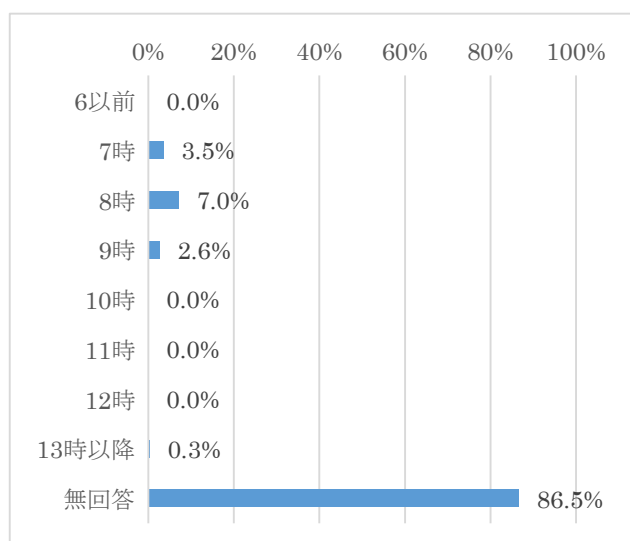
さらに、希望する登所時刻については、「８時（7.0%）」「７時（3.5%）」、退所時刻については、「17 時（3.5%）」「18 時（3.5%）」が最も高くなっています。１日あたりの利用希望時間は、「７時間～10 時間」の割合が 6.4%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
低学年（１～３年生）の間は利用したい	27	7.9%
高学年（４～６年生）になっても利用したい	24	7.0%
利用する必要はない	274	80.1%
無回答	17	5.0%
回答者数	342	100.0%
非該当	206	—

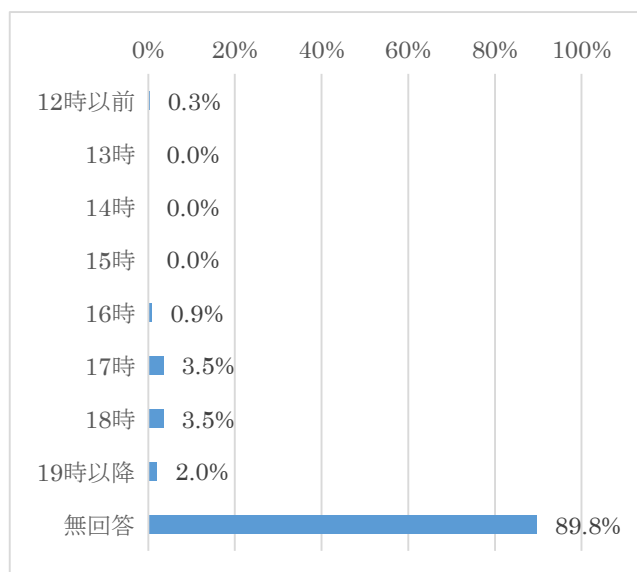
■利用時間帯

（登所時刻）



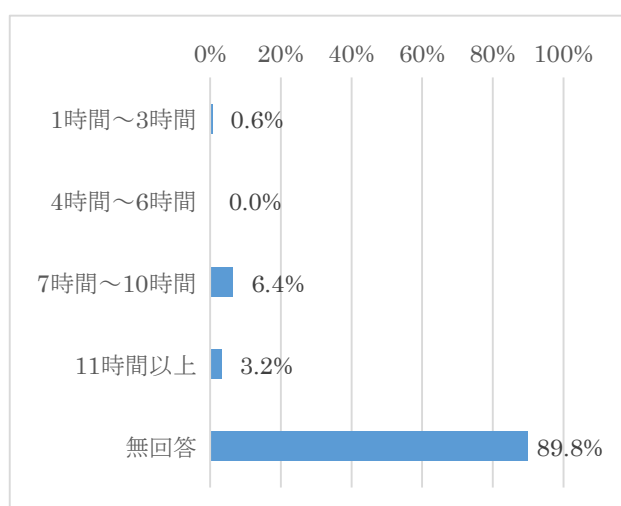
項目	度数	構成比
6 以前	0	0.0%
7 時	12	3.5%
8 時	24	7.0%
9 時	9	2.6%
10 時	0	0.0%
11 時	0	0.0%
12 時	0	0.0%
13 時以降	1	0.3%
無回答	296	86.5%
回答者数	342	100.0%
非該当	206	—

(退所時刻)



項目	度数	構成比
12 時以前	1	0.3%
13 時	0	0.0%
14 時	0	0.0%
15 時	0	0.0%
16 時	3	0.9%
17 時	12	3.5%
18 時	12	3.5%
19 時以降	7	2.0%
無回答	307	89.8%
回答者数	342	100.0%
非該当	206	—

■ 1 日あたり利用時間



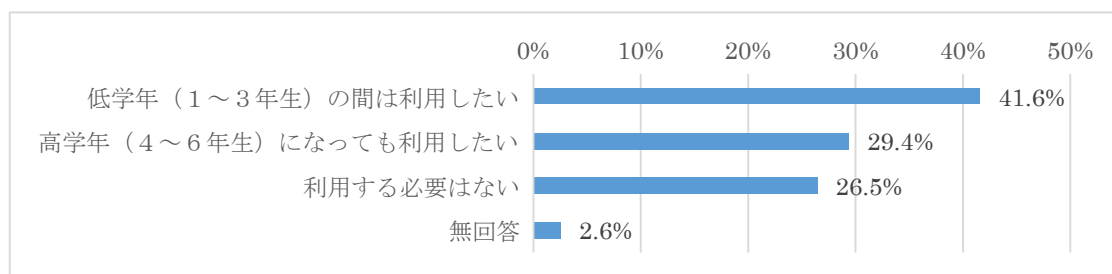
項目	度数	構成比
1 時間～3 時間	2	0.6%
4 時間～6 時間	0	0.0%
7 時間～10 時間	22	6.4%
11 時間以上	11	3.2%
無回答	307	89.8%
回答者数	342	100.0%
非該当	206	—

問 35 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）0 9 時～1 8 時のように 2 4 時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望は、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」の割合が 41.6%に対し、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 29.4%となっています。

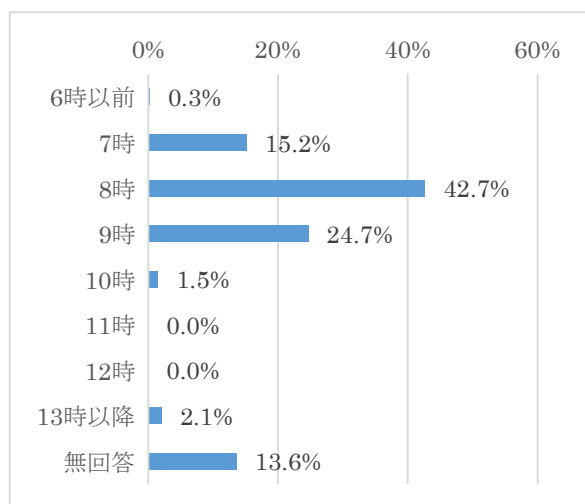
また、「利用する必要はない」の割合は 26.5%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8 時（42.7%）」「9 時（24.7%）」、退所時刻については、「18 時（21.6%）」が最も高く、続いて「17 時（17.2%）」「16 時（6.4%）」となっています。1 日あたりの利用希望時間は、「7 時間～10 時間」の割合が 39.3%と最も高くなっています。



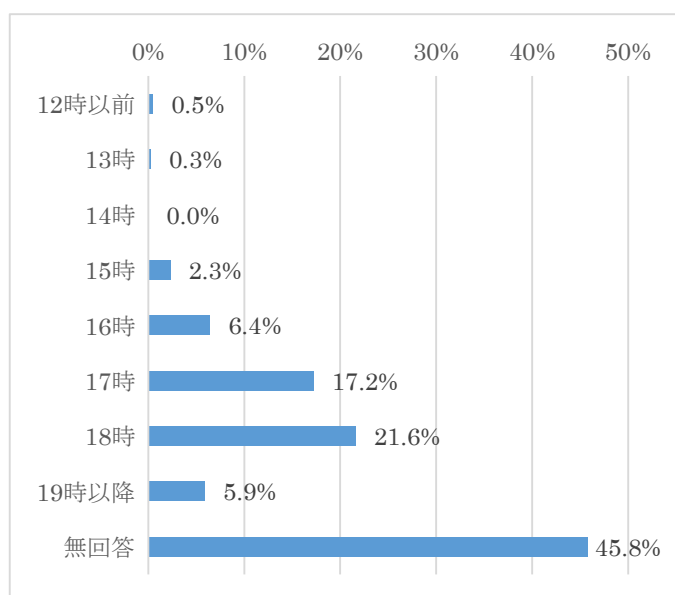
項目	度数	構成比
低学年（1～3 年生）の間は利用したい	228	41.6%
高学年（4～6 年生）になっても利用したい	161	29.4%
利用する必要はない	145	26.5%
無回答	14	2.6%
回答者数	548	100.0%

■利用時間帯 （登所時刻）



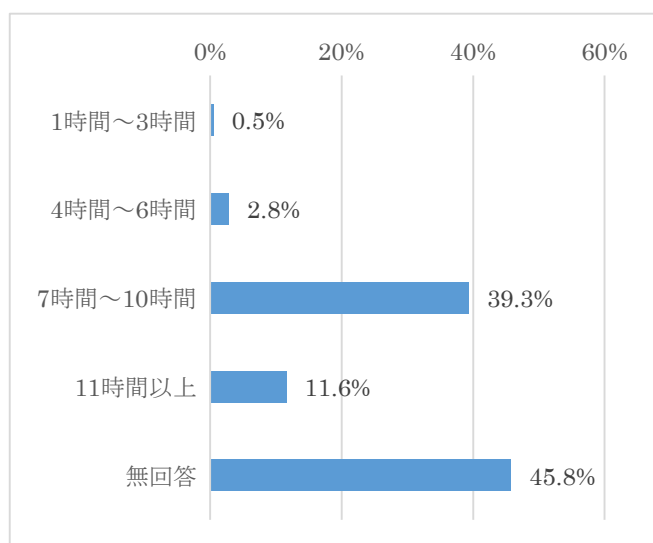
項目	度数	構成比
6 時以前	1	0.3%
7 時	59	15.2%
8 時	166	42.7%
9 時	96	24.7%
10 時	6	1.5%
11 時	0	0.0%
12 時	0	0.0%
13 時以降	8	2.1%
無回答	53	13.6%
回答者数	389	100.0%
非該当	159	—

(退所時刻)



項目	度数	構成比
12 時以前	2	0.5%
13 時	1	0.3%
14 時	0	0.0%
15 時	9	2.3%
16 時	25	6.4%
17 時	67	17.2%
18 時	84	21.6%
19 時以降	23	5.9%
無回答	178	45.8%
回答者数	389	100.0%
非該当	159	—

■ 1 日あたり利用時間



項目	度数	構成比
1 時間～3 時間	2	0.5%
4 時間～6 時間	11	2.8%
7 時間～10 時間	153	39.3%
11 時間以上	45	11.6%
無回答	178	45.8%
回答者数	389	100.0%
非該当	159	—

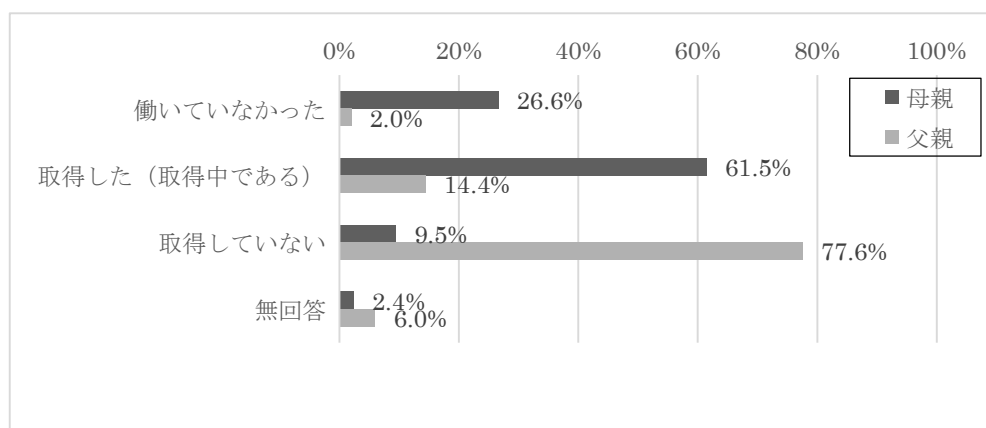
11 すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について

問 36 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の番号をすべてご記入ください。

子どもが生まれたときの育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」の割合は、「母親」が 61.5%に対し、「父親」は 14.4%と、父親の取得割合が低くなっています。

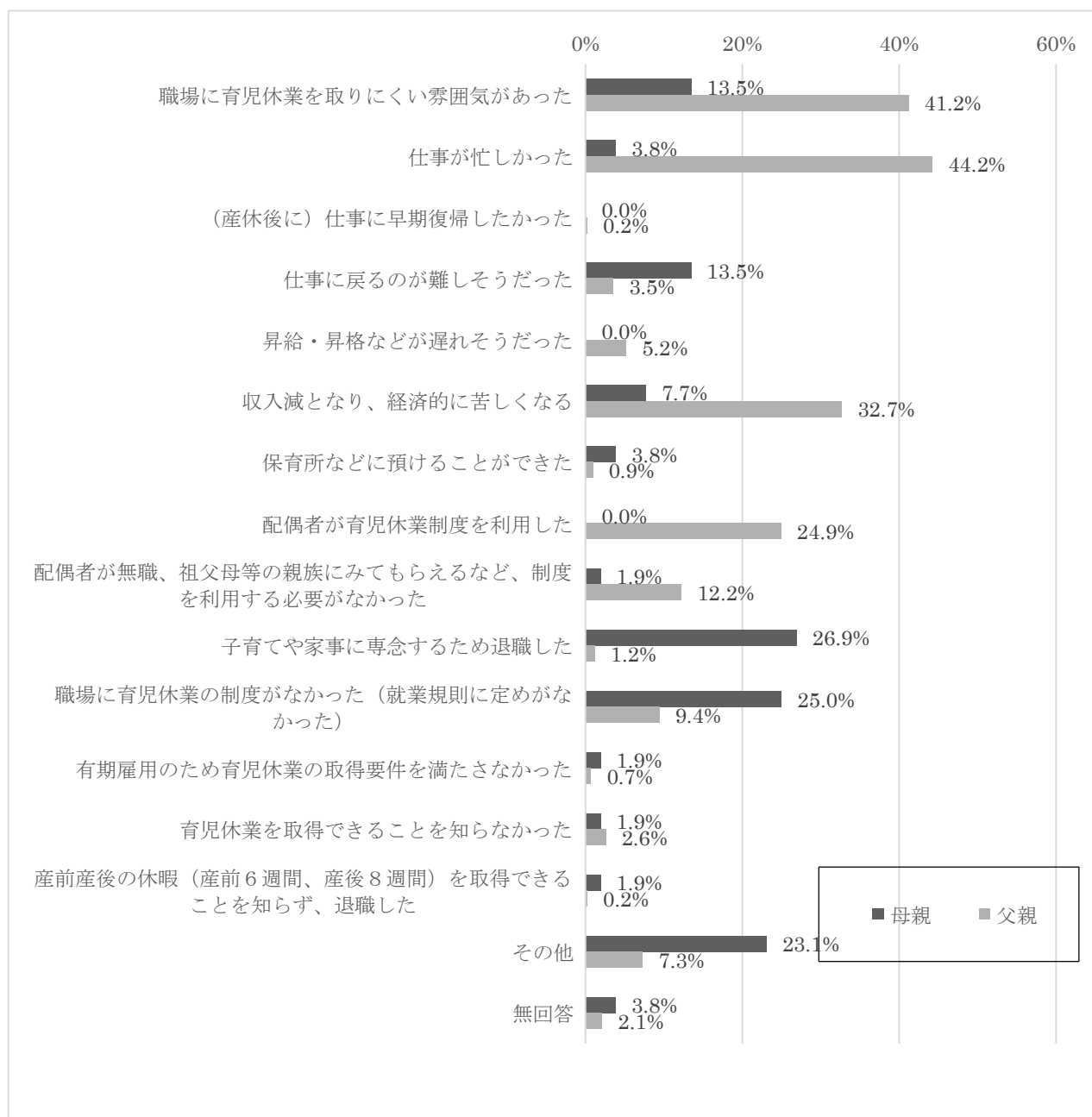
また、「働いていなかった」の割合は、「母親」が 26.6%に対し、「父親」が 2.0%となっています。

さらに、育児休業を取得していない理由は、「母親」では、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 26.9%と高く、「父親」では、「仕事が忙しかった（44.2%）」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった（41.2%）」「収入減となり、経済的に苦しくなる（32.7%）」の割合がそれぞれ3割前後と比較的高くなっています。



項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
働いていなかった	146	26.6%	11	2.0%
取得した（取得中である）	337	61.5%	79	14.4%
取得していない	52	9.5%	425	77.6%
無回答	13	2.4%	33	6.0%
回答者数	548	100.0%	548	100.0%

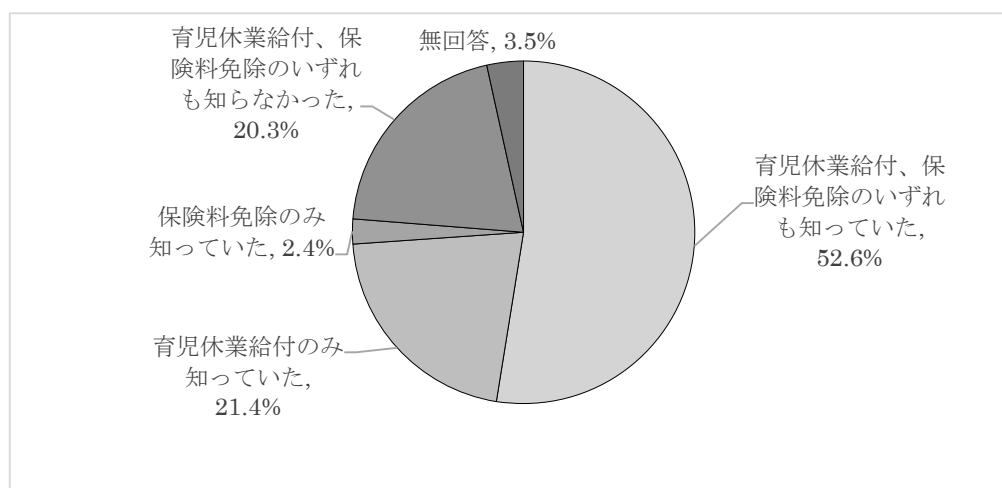
■育児休業を取得していない理由



項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	7	13.5%	175	41.2%
仕事が忙しかった	2	3.8%	188	44.2%
(産休後に) 仕事に早期復帰したかった	0	0.0%	1	0.2%
仕事に戻るのが難しそうだった	7	13.5%	15	3.5%
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%	22	5.2%
収入減となり、経済的に苦しくなる	4	7.7%	139	32.7%
保育所などに預けることができた	2	3.8%	4	0.9%
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%	106	24.9%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	1	1.9%	52	12.2%
子育てや家事に専念するため退職した	14	26.9%	5	1.2%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	13	25.0%	40	9.4%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	1	1.9%	3	0.7%
育児休業を取得できることを知らなかった	1	1.9%	11	2.6%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	1	1.9%	1	0.2%
その他	12	23.1%	31	7.3%
無回答	2	3.8%	9	2.1%
回答者数	52	—	425	—
非該当	496	—	123	—

問 36-1 子どもが原則 1 歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

育児休業給付が支給される仕組み、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた (52.6%)」が最も高く、続いて「育児休業給付のみ知っていた (21.4%)」「保険料免除のみ知っていた (2.4%)」となっています。また、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 20.3%と高いものとなっています。

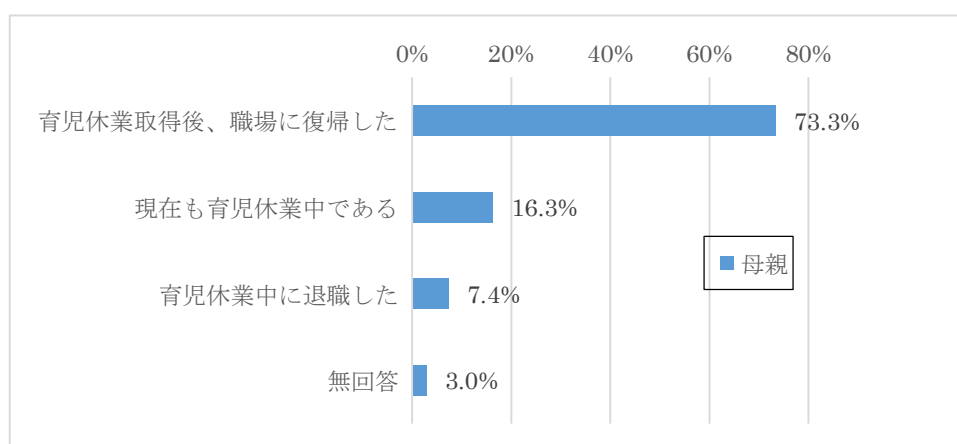


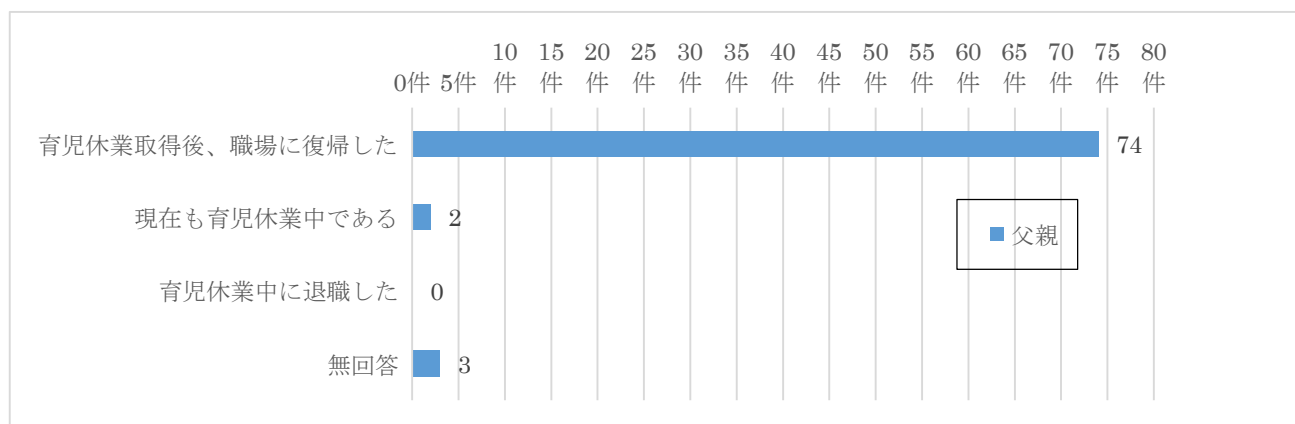
項目	度数	構成比
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	288	52.6%
育児休業給付のみ知っていた	117	21.4%
保険料免除のみ知っていた	13	2.4%
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	111	20.3%
無回答	19	3.5%
回答者数	548	100.0%

問 36-2 問 36 で (1) または (2) で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 37 にお進みください。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

育児休業取得後の職場への復帰状況は、「母親」「父親」とともに、「育児休業取得後、職場に復帰した（母親：73.3%、父親：74 件）」の回答が多くなっています。





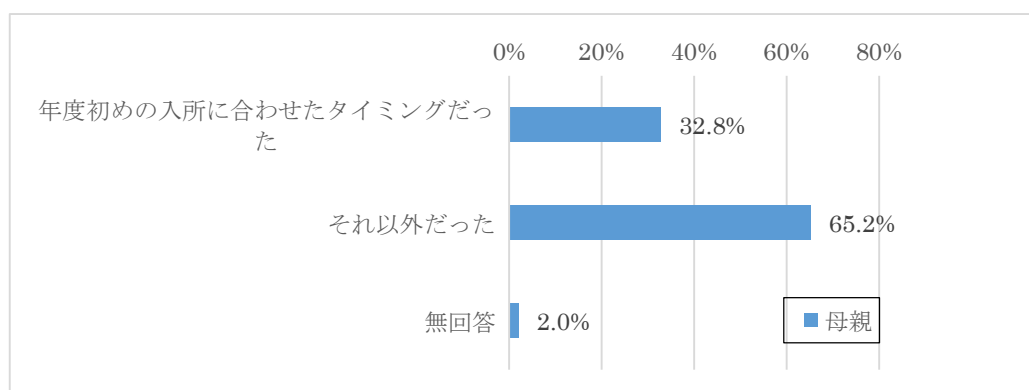
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	247	73.3%	74	93.7%
現在も育児休業中である	55	16.3%	2	2.5%
育児休業中に退職した	25	7.4%	0	0.0%
無回答	10	3.0%	3	3.8%
回答者数	337	100.0%	79	100.0%
非該当	211	—	469	—

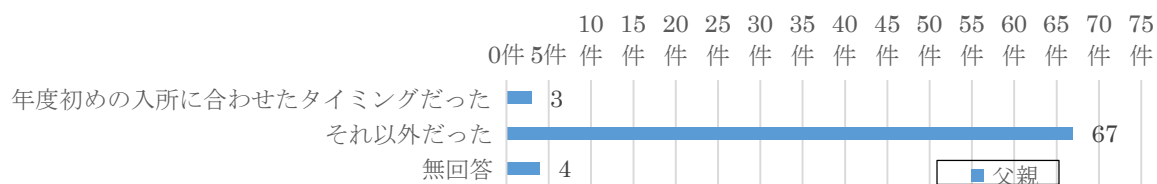
問 36-3 問 36-2 で (1) または (2) で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親 (2) 父親

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかについては、「母親」「父親」とともに、「それ以外だった (母親：65.2%、父親：67 件)」の回答が多くなっています。



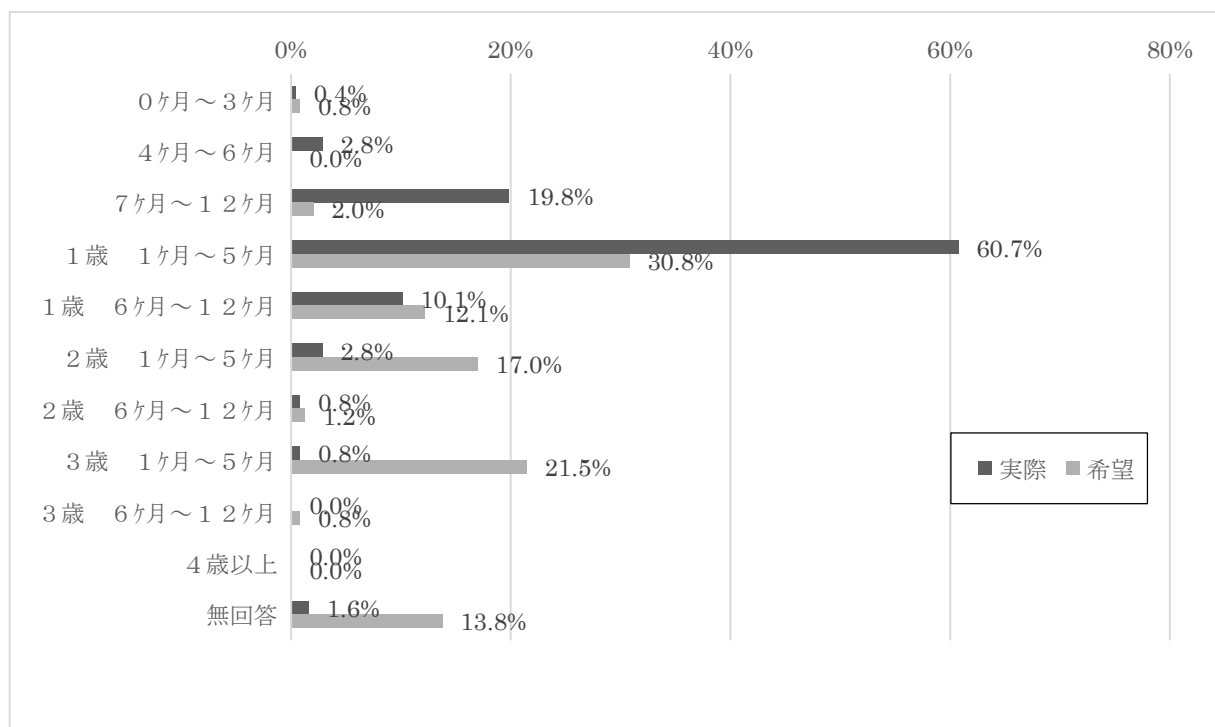


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	81	32.8%	3	4.1%
それ以外だった	161	65.2%	67	90.5%
無回答	5	2.0%	4	5.4%
回答者数	247	100.0%	74	100.0%
非該当	301	—	474	—

問 36-4 問 36-2 で (1) または (2) で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

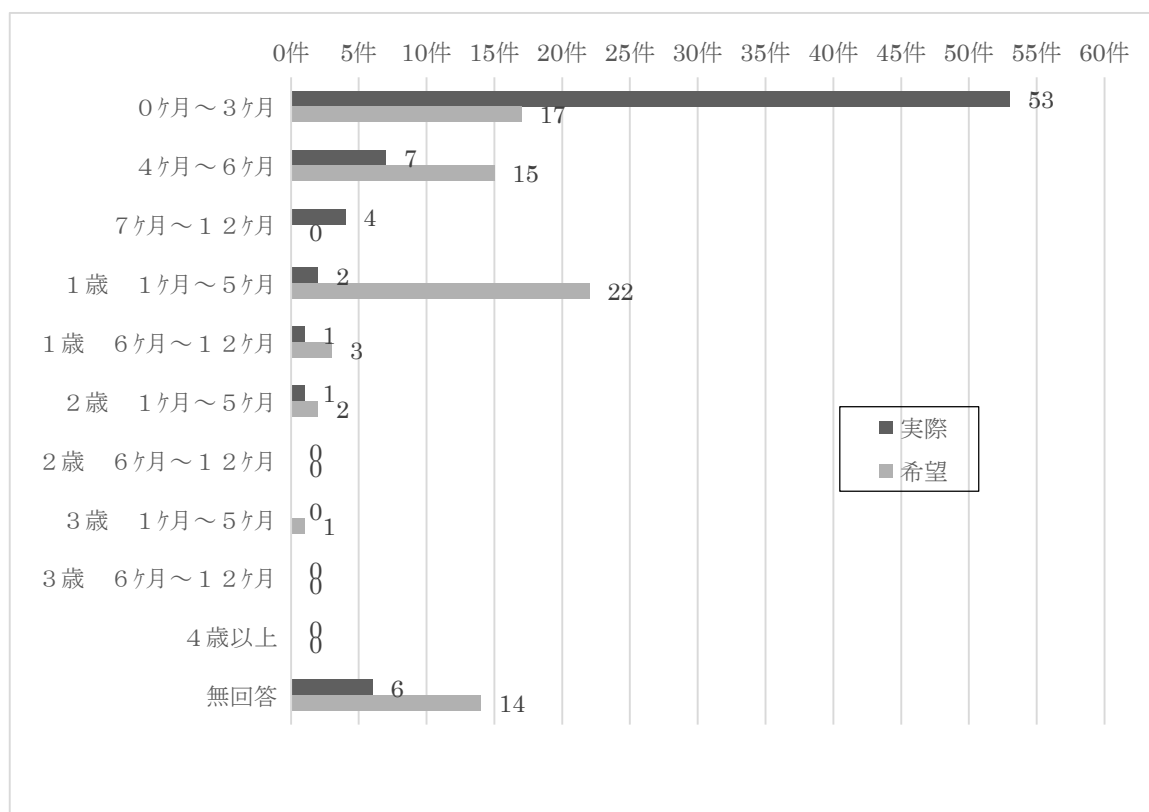
育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「実際」では「1歳1ヶ月～5ヶ月」の割合が60.7%、「希望」でも「1歳1ヶ月～5ヶ月」の割合が30.8%と、それぞれ最も高くなっています。



子どもの年齢	実際		希望	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	1	0.4%	2	0.8%
4ヶ月～6ヶ月	7	2.8%	0	0.0%
7ヶ月～12ヶ月	49	19.8%	5	2.0%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	150	60.7%	76	30.8%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	25	10.1%	30	12.1%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	7	2.8%	42	17.0%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	2	0.8%	3	1.2%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	2	0.8%	53	21.5%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	2	0.8%
4歳以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	4	1.6%	34	13.8%
回答者数	247	100.0%	247	100.0%
非該当	301	—	301	—

(2) 父親

育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「実際」では「0ヶ月～3ヶ月」が53件、「希望」が「1歳1ヶ月～5ヶ月」が22件と、それぞれ最も多くなっています。



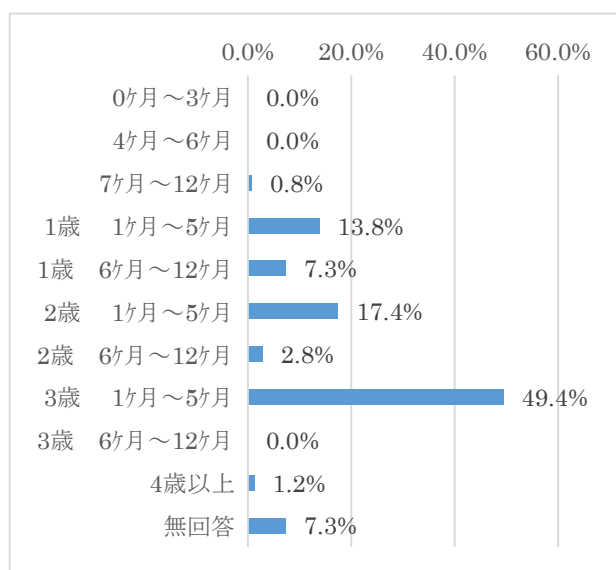
子どもの年齢	実際		希望	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	53	71.6%	17	23.0%
4ヶ月～6ヶ月	7	9.5%	15	20.3%
7ヶ月～12ヶ月	4	5.4%	0	0.0%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	2	2.7%	22	29.7%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	1	1.4%	3	4.1%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	1	1.4%	2	2.7%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	0	0.0%	1	1.4%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
4歳以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	8.1%	14	18.9%
回答者数	74	100.0%	74	100.0%
非該当	474	—	474	—

問 36-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

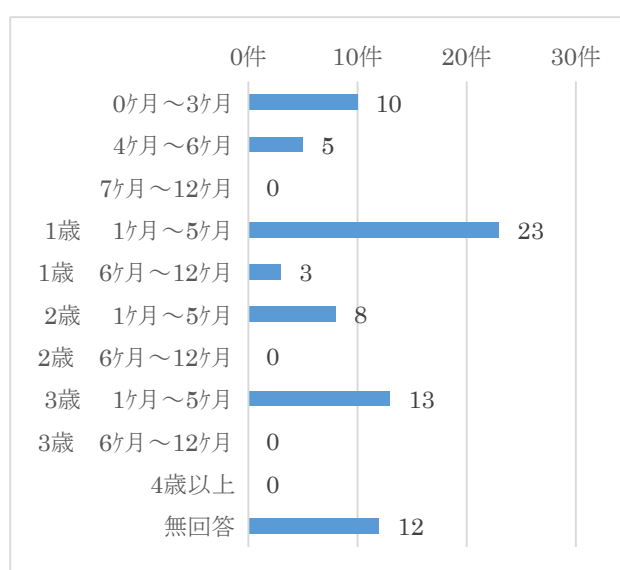
（１）母親 （２）父親

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期（子どもの年齢）は、「母親」では「3歳1ヶ月～5ヶ月」の割合が49.4%と最も高くなっています。「父親」では、「1歳1ヶ月～5ヶ月」の回答が多くなっています。

■母親



■父親



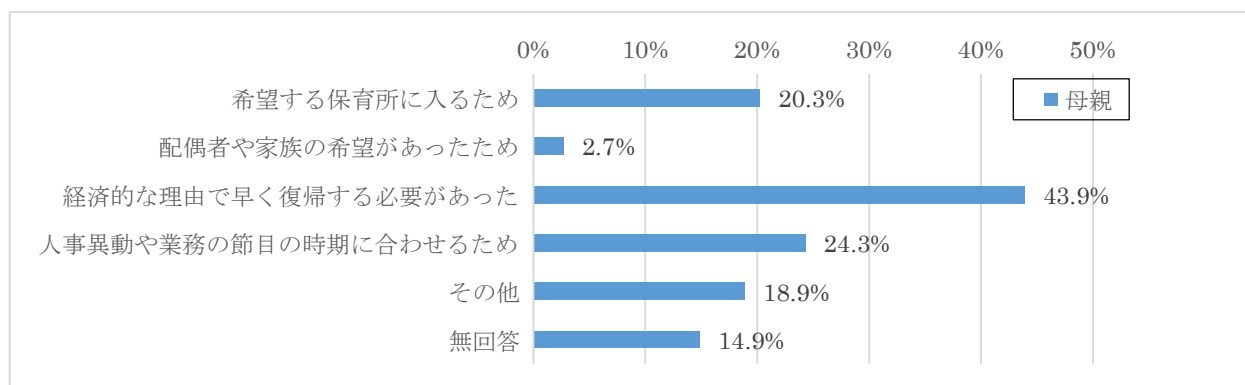
年齢	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	0	0.0%	10	13.5%
4ヶ月～6ヶ月	0	0.0%	5	6.8%
7ヶ月～12ヶ月	2	0.8%	0	0.0%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	34	13.8%	23	31.1%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	18	7.3%	3	4.1%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	43	17.4%	8	10.8%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	7	2.8%	0	0.0%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	122	49.4%	13	17.6%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
4歳以上	3	1.2%	0	0.0%
無回答	18	7.3%	12	16.2%
回答者数	247	100.0%	74	100.0%
非該当	301	—	474	—

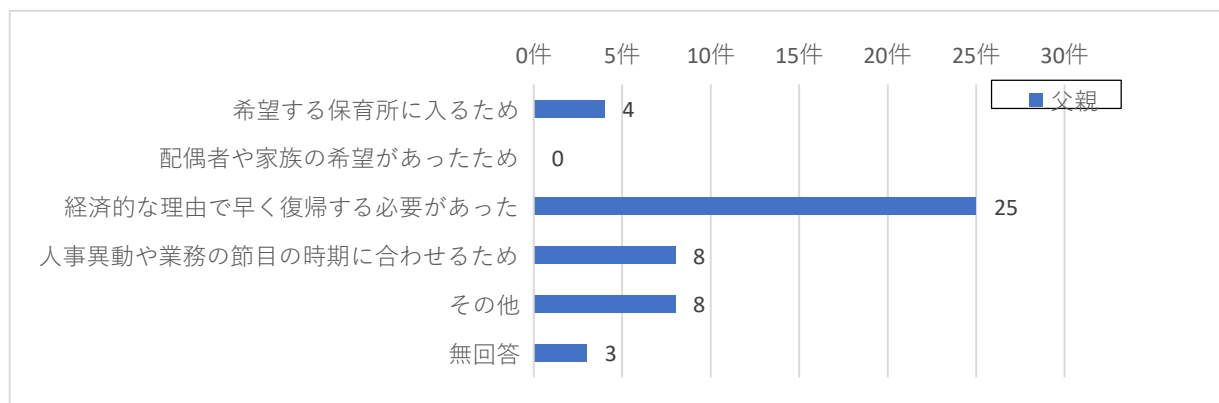
問 36-6 問 36-4 の (1) または (2) で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親 ②父親

希望より早く復帰した保護者のうち、希望の時期に職場復帰しなかった理由は、「母親」では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった (43.9%)」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため (24.3%)」の割合が比較的高くなっています。



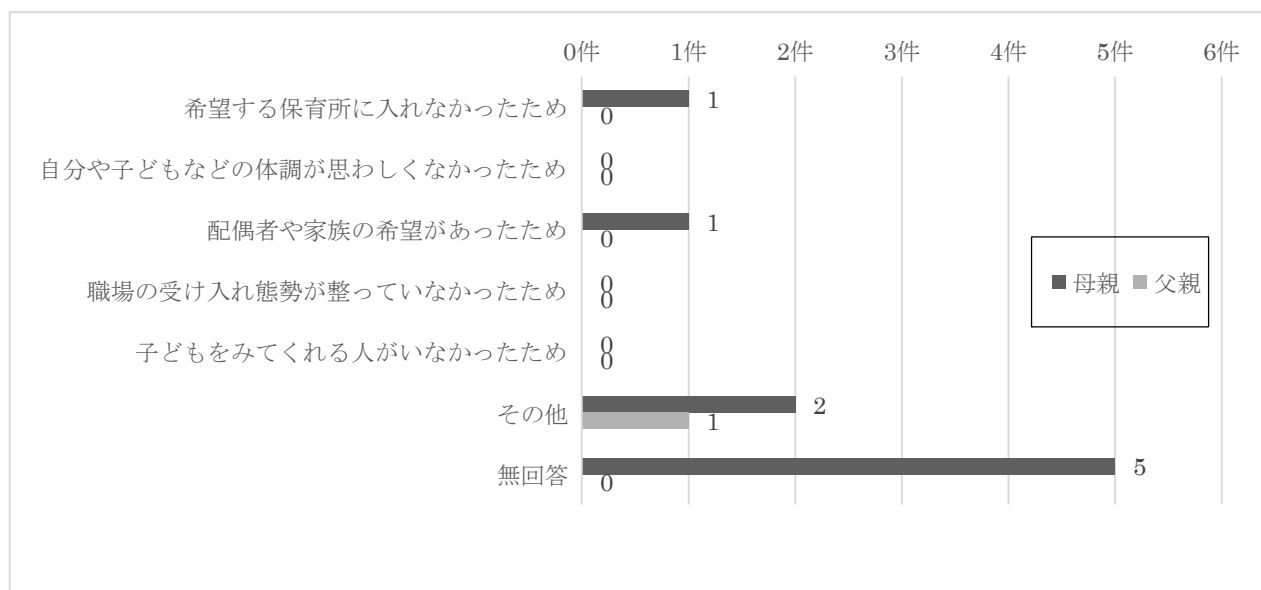


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育所に入るため	30	20.3%	4	9.3%
配偶者や家族の希望があったため	4	2.7%	0	0.0%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	65	43.9%	25	58.1%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	36	24.3%	8	18.6%
その他	28	18.9%	8	18.6%
無回答	22	14.9%	3	7.0%
回答者数	148	—	43	—
非該当	400	—	505	—

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親 ② 父親

希望より遅く復帰した保護者のうち、希望の時期に職場復帰しなかった理由は、「母親」では、「希望する保育所に入れなかったため」「配偶者や家族の希望があったため」が各1件となっています。

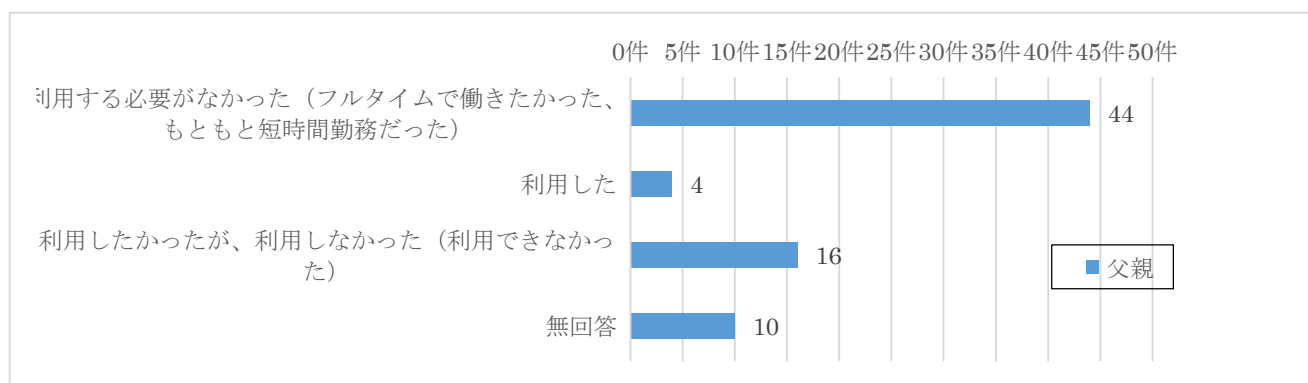
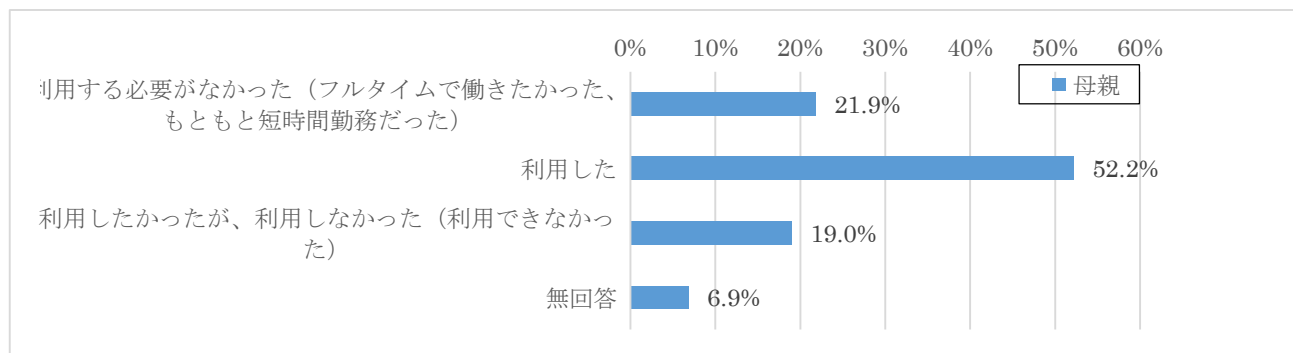


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育所に入れなかったため	1	12.5%	0	0.0%
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	1	12.5%	0	0.0%
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%	0	0.0%
子どもをみてくれる人がいなかったため	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	25.0%	1	100.0%
無回答	5	62.5%	0	0.0%
回答者数	8	—	1	—
非該当	540	—	547	—

問 36-7 問 36-2 で (1) または (2) で「1. 休業後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、母親では、「利用した」の割合が 52.2%で、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」は 19.0%で、「利用した」が「利用しなかった（利用できなかった）」を上回っています。



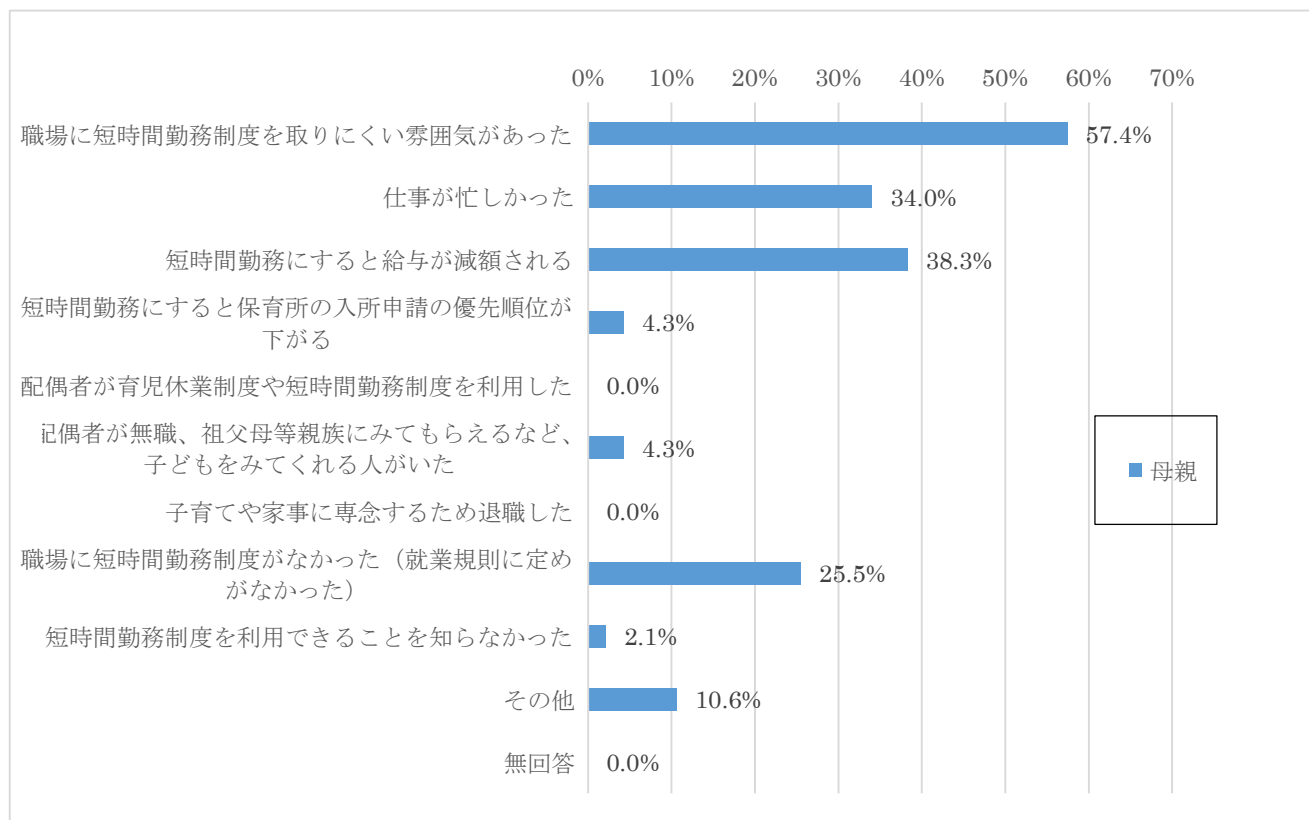
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	54	21.9%	44	59.5%
利用した	129	52.2%	4	5.4%
利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	47	19.0%	16	21.6%
無回答	17	6.9%	10	13.5%
回答者数	247	100.0%	74	100.0%
非該当	301	—	474	—

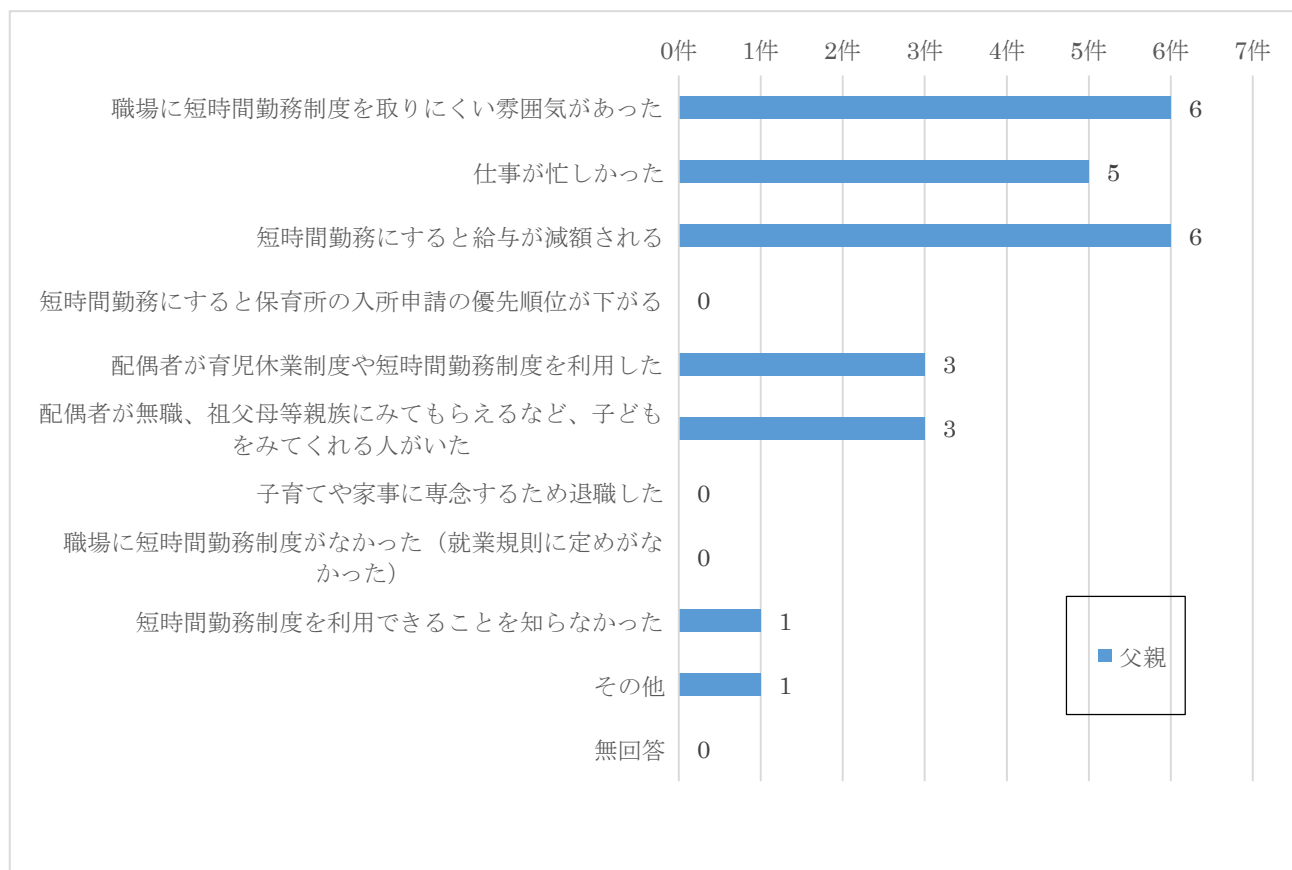
問 36-8 問 36-7 で (1) または (2) で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は、「母親」では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が 38.3%、「仕事が忙しかった」が 34.0%となっています。

また、「父親」では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務にすると給与が減額される」などの回答となっています。



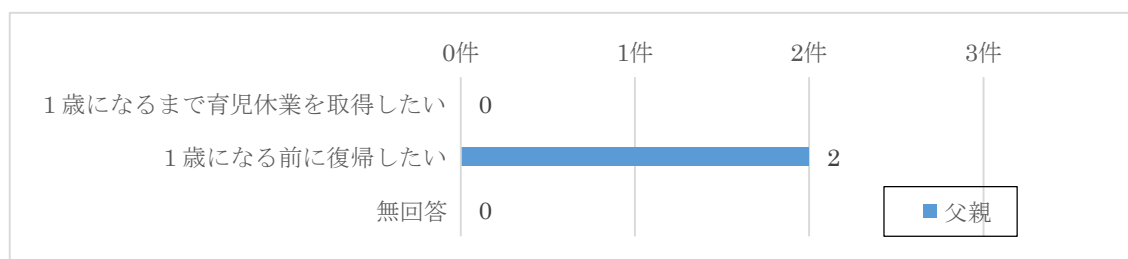
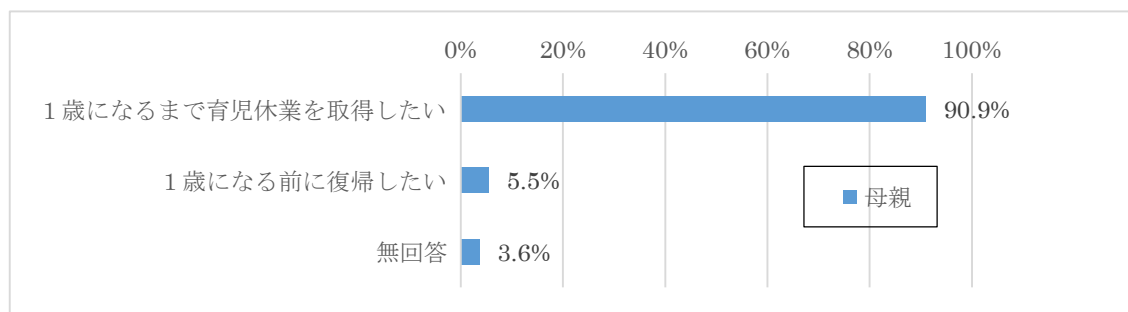


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	27	57.4%	6	37.5%
仕事が忙しかった	16	34.0%	5	31.3%
短時間勤務にすると給与が減額される	18	38.3%	6	37.5%
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	2	4.3%	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%	3	18.8%
配偶者が無職、祖父母等親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	2	4.3%	3	18.8%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	12	25.5%	0	0.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	1	2.1%	1	6.3%
その他	5	10.6%	1	6.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	47	—	16	—
非該当	501	—	532	—

問 36-9 問 36-2 で (1) または (2) で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業等があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

子どもが1歳になったとき必ず利用できる事業があるなどの場合の育児休業の取得希望は、「母親」では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の回答が90.9%と多くなっています。

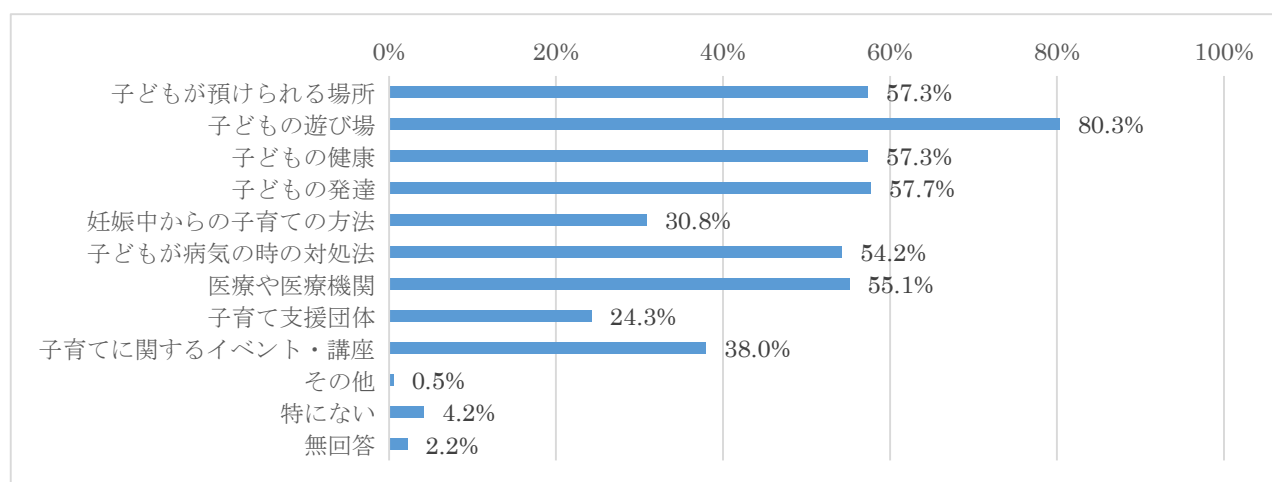


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
1歳になるまで育児休業を取得したい	50	90.9%	0	0.0%
1歳になる前に復帰したい	3	5.5%	2	100.0%
無回答	2	3.6%	0	0.0%
回答者数	55	100.0%	2	100.0%
非該当	493	—	546	—

12 子育ての情報や環境、子育てへの意識、市の施策について

問37 子育てに関して、どのような情報が必要ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

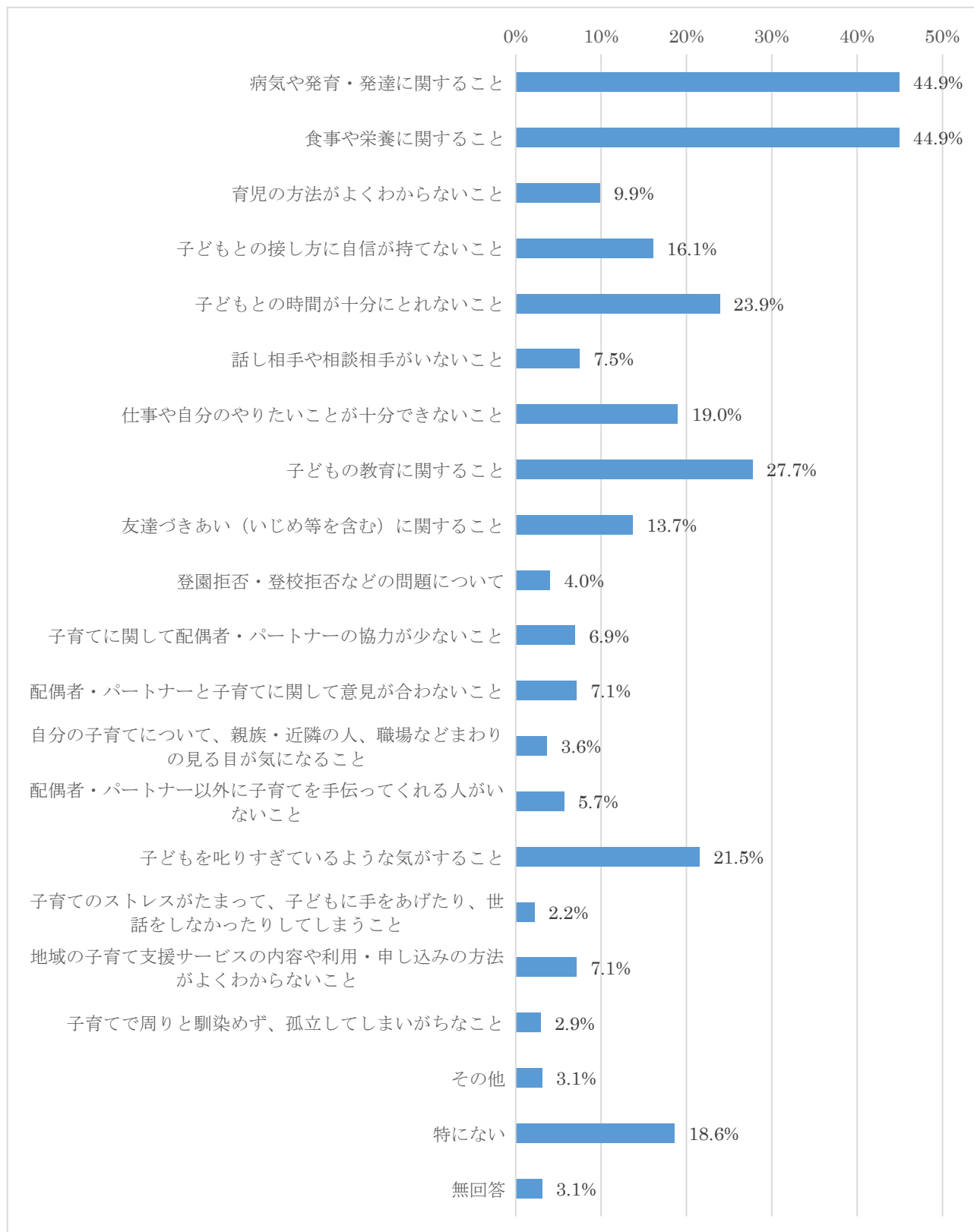
子育てに関する必要な情報としては、「子どもの遊び場（公園、児童館、公共施設などで行っている活動、育児サークルなど）」の割合が80.3%と最も高く、次いで「子どもの発達（発達段階ごとの子どもの成長、発達心理学、発達障害など）」が57.7%、「子どもが預けられる場所（保育所、幼稚園、一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど）」「子どもの健康（病気のこと、離乳食などの食に関すること、予防接種の情報など）」がいずれも57.3%となっています。



項目	度数	構成比
子どもが預けられる場所（保育園、幼稚園、一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど）	314	57.3%
子どもの遊び場（公園、児童館、公共施設などで行っている活動、育児サークルなど）	440	80.3%
子どもの健康（病気のこと、離乳食などの食に関すること、予防接種の情報など）	314	57.3%
子どもの発達（発達段階ごとの子どもの成長、発達心理学、発達障害など）	316	57.7%
妊娠中からの子育ての方法（妊娠中の生活、検査・検診など出産準備情報など）	169	30.8%
子どもが病気の時の対処法	297	54.2%
医療や医療機関	302	55.1%
子育て支援団体	133	24.3%
子育てに関するイベント・講座	208	38.0%
その他	3	0.5%
特にない	23	4.2%
無回答	12	2.2%
回答者数	548	—

問 38 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

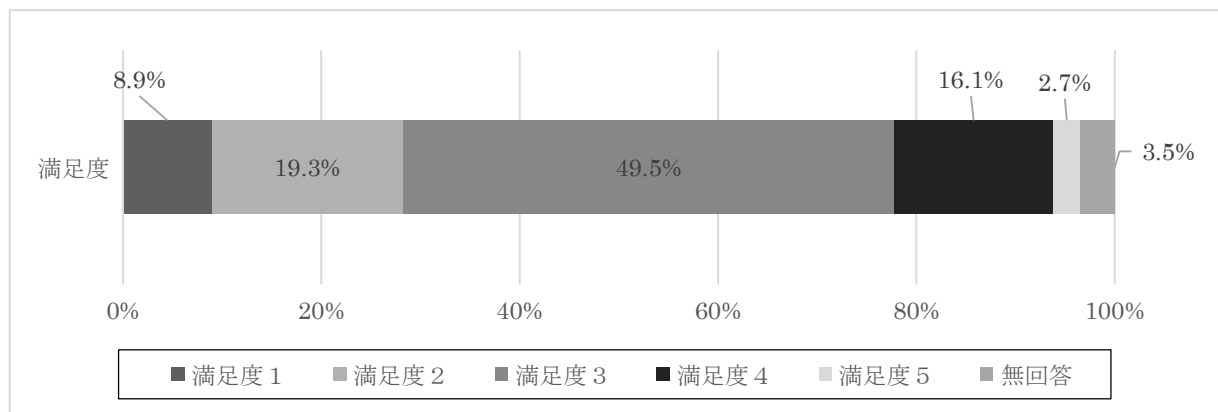
子育てに関する悩みや気になることは、「病気や発育・発達に関すること（44.9%）」「食事や栄養に関すること（44.9%）」の割合がいずれも4割を超え高くなっています。



項目	度数	構成比
病気や発育・発達に関すること	246	44.9%
食事や栄養に関すること	246	44.9%
育児の方法がよくわからないこと	54	9.9%
子どもとの接し方に自信が持てないこと	88	16.1%
子どもとの時間が十分にとれないこと	131	23.9%
話し相手や相談相手がいないこと	41	7.5%
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	104	19.0%
子どもの教育に関すること	152	27.7%
友達づきあい（いじめ等を含む）に関すること	75	13.7%
登園拒否・登校拒否などの問題について	22	4.0%
子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	38	6.9%
配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	39	7.1%
自分の子育てについて、親族・近隣の人、職場などまわりの見る目が気になること	20	3.6%
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	31	5.7%
子どもを叱りすぎているような気がする	118	21.5%
子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと	12	2.2%
地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込みの方法がよくわからないこと	39	7.1%
子育てで周りとは馴染めず、孤立してしまいがちなこと	16	2.9%
その他	17	3.1%
特になし	102	18.6%
無回答	17	3.1%
回答者数	548	—

問 39 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、「満足（「満足度4」と「満足度5」の合計）」の割合が18.8%に対し、「不満（「満足度1」と「満足度2」の合計）」が28.3%と、不満の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
満足度1	49	8.9%
満足度2	106	19.3%
満足度3	271	49.5%
満足度4	88	16.1%
満足度5	15	2.7%
無回答	19	3.5%
回答者数	548	100.0%

13 子育ての環境や支援に関する意見まとめ

問 40 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関する意見は、ニーズ調査回答者 548 人（全体の 36.3%）のうち 137 人（回答者の 25.0%）から寄せられました。意見・要望等を項目ごとに整理、件数表示し、その中からいくつかの意見を抜粋しました。

（1）意見等の内訳

項目	内容	件数	構成比
教育・保育	保育時間の延長、休日保育、保育士の確保・待遇改善 など	13	6.2%
地域子ども・子育て支援	子育て支援センター・児童館の充実、学童の新設・利用改善、一時預かり、病児・病後児保育の充実 など	35	16.7%
母親・乳幼児の健康	健診・予防接種の充実（機会・場所）、小児科医療の充実 など	26	12.4%
相談・情報提供	相談窓口の充実、情報の周知、交流の場（サークル・イベント）の開催 など	22	10.5%
障害児施策	職員の質、支援施設の充実など	4	1.9%
仕事と家庭の両立	働きやすい環境づくり など	12	5.7%
経済的負担の軽減	保育料等の無償化・補助 など	38	18.1%
遊び場	公園等の増設、施設の点検・遊具の充実、イベントの開催 など	42	20.0%
その他	歩道の整備・改善、防犯、地域づくり など	18	8.6%
合計		210	100%

※意見は複数項目にわたるものがあるため合計件数と意見数は一致しません。

（2）抜粋した意見

①教育・保育

園の先生の入替わりが激しいのが気になります。
 学校の先生が鬱病等に罹患しやすいという話も良く耳にします。
 保育士や学校の先生等、教育に係わる方々が気持ちや時間に余裕を持って子供達に関わってくれる事が良い教育に結びつくのではと考えておりますので、まずは先生方への手厚い支援を望みます。

保育士の先生方のお給料に対して積極的に補助を出してください。 あまりにも低賃金で離職がすすんでしまいます。 長野には「信州山保育」だったでしょうか、一定の条件のもと、保育士のお給料に対して補助がでているようです。 母親は安心して保育士の皆さんが働ける場所にこそ子供を預けて働きたいと思います。長野への子育て移住が盛んなのも頷けます。 どうぞ、お給料をあげてください。 また、保育士の配置数をふやしてください。現状だと0歳児に3人に対して1人の保育士だと思います。園に侵入者が来た場合、片手に1人ずつ抱いて1人は置き去りになります。 また5歳などになれば数十人に1人の保育士配置かと思います。 そのようなこどもの数を1人の大人で見られると普通は考えられないと思います。
保育士さんの待遇、サポートを手厚くしてあげてほしいです。
保育士の給料アップ&先生一人あたりが見る子供の人数の見直し 保育士さんは勉強を教えるわけではないが、子どもの心の成長など大事な時期に携わる人たちで、その方たちが報われないのはおかしいと思う。 保育士さんへの負担を減らすためには、保育士さんを増やす、保育士さんになっても生計が十分に成り立つくらいの給料がなければ、どんどん保育士さんを目指す人も減る。そうなると、結局、いい保育環境なんてありえないと思う。 子ども中心ではなく、大人都合の保育になる。
藤岡市はとてもよく支援してくださっていると思います。いつもありがとうございます。 こども園の保育園部分は就業状況によらず、もっと使えるようになればいいと思います。子供をきちんと養育できる親はそうそう長時間預けないと思いますし、逆に、仕事でもないのに長時間子供を園に預けたいという親の子供は、むしろなるべく園で預かっていた方がその子供に福祉につながると思います。親が家にいても、動画漬けとかにするくらいなら先生方に見ただけの方が何倍も子供のためと思うので。色々な考えかたや予算の関係もあると思いますが、子供がどんどん減っている今ならできるんじゃないかしらと思うので、この機会に述べさせていただきました。
働いている日に限り日曜、祝日も子ども園を利用できるようにしてほしい。(アレルギーなどがあり普段いつている子ども園に預けられれば安心。) 小学校を選択制にして欲しい。(小学校はその子にとって今後の生き方が決まると言っているほど大切だと思うため、両親の教育方針やその子に合う小学校を選びたい。校区で決められた小学校が少人数だった場合など選択できないのはひどいと思う。家を建てる際土地があっても校区で選ばれてしまうと違うところを買わなくてはならない場合もでてくるのでよりお金がかかる。)
認定こども園には看護師を配置して欲しい。
保育士や教員の数を増やして、負担軽減をしてゆとりをもって子どもにむかえるような体制をつくっていただきたい。

② 地域子ども・子育て支援

安全性の高い公園や児童館など充実させてほしい。
日曜日も児童館を利用できるとパパ、ママ友などの交流も高まり子育ての相談がしやすくなる気がします。
土日、祝日も子どもを遊ばせてあげる事のできる児童館のような施設をもっと増やして欲しいです。
市内に気軽に一時保育で子どもを預かってくれる施設が欲しい。利用ハードルと料金の低さから、高崎市の一時保育施設(かしの木)を利用することが多い。
学童の料金が高いと思います。うちは4人子供がいるので、そう簡単に学童に行かせられません。
小学校に上がった際は、共働きのため学童保育を希望しますが、送迎の関係や職員不足による定員人数などにより、行きたい学童に入りにくいのが現状です。母親も働きながら安心して子育てできる環境づくりに力を入れて頂きたいと感じます。
他のところと比べると児童館の数が少な過ぎる。
藤岡市は子育て支援センターがたくさんあって助かります。園の雰囲気も何処も良いです
以前にも書いていますが…藤岡市は基本的に仕事以外で預ける場所がないので、親のリフレッシュ時間を確保できる預かり保育施設が必要である。前に住んでいた自治体では児童館が積極的に行っていました。 子育て支援センターは未就園児対象にて使用できず、遊び場が少ない。
・病児保育、病後児保育の充実。もう少し利用できる所を増やして欲しい。 ・ファミサポは、地域住民と言われると、どんな方々がくるのかが、定かでなく、昔と今で子育ても少し違ったりするのではと思い、預けづらい印象がある。1度親も一緒に関わる機会があると、ファミサポさんの人柄もわかり、短時間なら預けようかなという気になるかもしれない。
児童館や学童保育が充実して欲しい。地域で協力して子ども達の居場所作りが必要。室内遊具がある遊び場、冷暖房完備で自由に使える施設があると良い。
はいはいの子供達が遊べる場所がもっと欲しい。支援センターは午前中で終了してしまう所が多いので、午後自宅以外で遊べる場所がない。
保育園の子育て支援センターを利用してるが、はじめてだと参加しづらさを感じる時がある。
病後児保育ではなく、病児保育があるといいなと思います。
土曜日も支援センターなどやってるといいなと思います。
児童館や子育て支援センターなど気軽にいける場所を増やして欲しい。夏休み中は子どもやってるとのことで利用しにくい。
子育て支援センターを育休明けでも自由に使えるようにしてほしい。 今通わせている保育園以外にも訪問してみたい。いつもと違う保育園の保育士さんとのふれあいや友達作りなど。 その場合は、土日の開園を希望します。
近くに子供を遊ばせられる公園や児童館がない。

病児保育もひとつもない。 病後児保育が一つあったってまったく助けになりません。 児童館があつた古い施設ひとつしかないのもどうしようもないです。 こんなに暑い夏に庚申山やららん藤岡、群馬の森（高崎ですが）なんて行っていられません。 体育館や大型遊具のある広い児童館がいくつかあればこんな思いはしないですみます。 子どもを連れていける大型の商業施設があるわけでもない。 こども園などでやっている支援教室？は皆、平日でいけません。 市の取り組みも平日にやられても何も行けません。 藤岡市でシングルがマイノリティなのはわかりますが、共働き家庭はそんなに少ないのでしょうか？母親はパートで短時間働くの理想とされているのでしょうか？ ファミリーサポートですが、こういう時代なので地域のなんの資格もない、素性のわからない人に預かってもらうなんてさすがに怖すぎて利用できません。
病後保育園が中栗須保育園にありますが、その保育園に登園している人は利用しやすいと思いますが、他の園に通っているとどんなところなのかわからないので利用するのに敷居が高いです。利用したいとは思いますが、実態がどんなものなのかわからないし、登録が必要なのか等もわからないので利用できません。やってます、というなら広報でもなんでももっとオープンに情報を公開して利用しやすいようにしてほしいです。 あとこれは市が関与できるところではないかもしれませんが、私は現在育休中なので小学校1年の長女は学童保育に入れませんでした。近所の子たちはみんな学童に行っているのと一緒に下校する友達も放課後遊ぶ友達もいません。学童に入らなければ平日友達と遊べません。親が働いていてもいなくても学童に希望すれば入れる仕組みにしてほしいです。
・保護者のリフレッシュ目的での一時保育が、広く認められてほしい。また、預け先が一時保育の利用を快く受け入れてほしい。（一時保育可となっても実際は受け入れた経験が園側になかったり、入園を確約する児に限ってだったり、利用までのハードルが高く諦めた。他県では、一時保育専用の部屋で一時保育担当の先生が子供を預かってくれた。市のホームページにもリフレッシュ目的であれば週1、不定期な就労であれば週3、等々明確に示されていたため、リフレッシュ目的でも週1で罪悪感なく子供を預けられた。また、幼稚園に入学するまでは一時保育を利用しながら週2～3日のパートで収入を得ながら子供との時間も長く持つ、という選択をする保護者が多くいたように思う。利用料も安く、30分あたりで料金が設定されており、短時間から一日まで臨機応変に預けやすかった。） ・ここに預けたい！ここなら安心して預けられる！と思える学童保育がほしい。
学童保育料を安くしてほしい。（2人通っていると負担が大きい） 学童でそのまま習い事ができるよう、補助、推進してほしい。
日曜日や祝日に預けられる施設や、高崎市でやっている「かしの木」のようないつでも誰でも簡単に預けられるシステムや場所ができてくれるととても助かります。

③ 母親・乳幼児の健康

藤岡市は小児科が少ない為、休日体調を崩して休日当番医の内科へ電話すると、「小児科の先生がいない為、診察出来ません。高崎市や富岡市の休日当番医を利用下さい」と言われる。医療の充実や、遊具が沢山ある公園があればなおいと思う。
5才児健診基準が厳しい 通常問題がないと思われる子も通級指導教室等への通級を勧められる 親子共に余計な不安を抱かせないためにも適性な検査を求めたいです
・保健センターでの、乳幼児検診の保健師の問診は、大部屋で、ガヤガヤとプライバシーもない印象があるので、できたら、個室や、もう少し問診の机の間隔をあける等の工夫をして頂けたら嬉しいです。
小児科が少ない。予防接種の予約が取れない、朝8時以降に急変した時どこも予約枠がいっぱいで受診できないため、市外や県外まで病院を探すはめになり、親子で負担が大きい。市外に住む友人に「何で藤岡なんかに住んでるの？何も給付金とか出ないよ。お年寄りしか助けてくれないよ」と言われ、何も言い返せなかった。確かに藤岡で子育てするのは大変だと思う。引越しできるなら、もっと支援が充実した地域を考えたい。
小児科が少ない。診療時間が短い。
小児科が少なく、診察が午前のみだったり、予防接種の予約が取れなかったり、午後も診療してる小児科は医師が気分屋だったり…。小児科にかかりたい時の藤岡市はダメですね。高崎へ行っています。
市内の小児科が少なすぎる。混みすぎていて、小児科に通うのが一苦労。小児医療提供体制の充実も子育て支援のとても大きな柱であることを忘れないでほしい。 休日、夜間救急の場合、藤岡総合病院が当番でないと、富岡、高崎まで行かないといけないのが不便。藤岡の小児科の体制を充実させてほしい。 市内に授乳相談、おっぱいケアができる施設が少なすぎる。 産後ケア事業を充実させてほしい。利用しやすくしてほしい。また、できれば市内で完結してほしい。赤ちゃんを連れて佐藤病院まで行くのは大変。
藤岡市の小児科が少なく、一部の医者に集中している気がする。待ち時間が長いからといって、体調が悪い子供を高崎市の小児科まで連れて行くのもかわいそうだし大変。子どもの医療環境も整えてほしい。自宅から救急車で運ばれる先が、高崎医療センターとか…遠すぎる。(この時は熱性けいれんでした)近くに藤岡総合があるのに。退院後の経過観察にも高崎までいけないといけないので、藤岡市に住んでいる子供の救急は、藤岡総合で対応してほしい。(もちろん、病状によって別の病院に運ばれるのは話は別。)
小児科専門医のいる小児科が少なく、営業時間も短かったりいつも混んでいたりで利用しづらいです。 気軽に相談できる医療機関や小児科が増えたら嬉しいです。

市の健診に行くたびに、子供の発達について指摘を受けて、心配になる事が多いです。 子供の将来の為に言っているのはわかりますが、自分の子育てを否定されたような気持ちになり毎回落ち込み、終わった後はしばらくの間涙が出てきたりします。 生後1ヶ月の自宅への訪問の時は、保健師さんに子供の性器が小さいと言われ、夫婦で不安になりました。結果、小児科を受診した際に確認してもらい、問題はありませんでした。2歳児健診でも、別室に行き行動を見てもらう機会がありましたが、結果問題はありませんでした。 何か指摘があった際は、小児科やこども園の先生に相談すると、問題が無いことばかりです。 なぜ、わざわざ不安にさせるような事を言うんですか？もっと、寄り添った言い方や、指摘するなら具体的な解決策を提案するなどもっと伝え方があるのではないですか？子育て中の母親は、自分の子育てに自信を持っている人は少ないのではないのでしょうか。毎日、不安の中で手探りで精一杯子育てしている時に、あの様な言い方をされると心が折れます。私だけでなく、一緒に聞いていた夫も同じように感じています。 検診、健診は、短い時間ですよね？ それも、子供の眠い時間やお腹の減っている時間など、子供のいつも通りとは違った状態であるとは認識されているとは思いますが、もう一度考えて欲しいです。 いつもは出来ることも、あの場、あの時間帯では子供だってできないんです。 大人だって、面接などでは緊張しませんか？その点を考慮して、もっと、いつも通っているこども園の先生にアンケートをとるなど（負担にはなるかと思いますが）子供のため、母親の精神面を考慮していただきたいです。 私は、行く度に不安になり、もう市の保健センターには何も相談はしたくないと思っています。
子供の体や心について、気軽に相談できる医療機関が充実するといいです。
小児科を増やしてほしい。予約がいっぱいだからと、診てもらえないことが多い。
小児科が足りなさすぎてありません。子どもを連れて何時間も並ばないといけなだけで相当苦しいのに、締め切られてしまっって診てもらえないなんてどうかしてます。その問題まず解決してもらえないと、こんなアンケートやってもなんの効果もないですよ。
小児科が少ない、病児保育がない
両親フルタイムで働いていると子どもが体調を崩した時が1番大変で、誰が仕事を休むのか、何日休むのか見通せないことが1番だと思います。しかも開業医で小児科の看板を出している病院は藤岡市では2箇所しかなく、1箇所は午前中だけしか開院してなくて朝7時に予約いっぱいになってしまうし、もう1箇所も予約でいっぱいです。水曜日の午後はどちらもお休みなので受診することができません。病院もビジネスなのでどうにもならないかもしれないですが、すぐに開業医に受診できないなんて不便だし、急病のときなど怖いことだなと思います。
コロナやインフルが流行った際、藤岡市の小児科の少なさがとても不便で子育ての環境が整っていないと感じた。
小児科、皮膚科、眼科が、少ない。混む。

④ 相談・情報提供

広報などにもしかしたら記載があるのかもしれないが、もっとわかりやすく、また全面的に情報を発信してほしい(子育てしながらでは目を通すのも大変だから)
一時保育や、児童館等の子どもが遊べる場所について、情報が少ないので、手続き等も含めて情報が欲しいです。
ワンオペ育児をしていて自分が体調不良などの時頼れる人(身内)がいらないため緊急時でも子どもを預けられるところがあったら良い。 普段でも気軽に育児相談できる場所があったら良い。
子供の1歳の誕生日頃に育児休業が終わるタイミングで、教育・保育事業を行なっている施設に希望通り入れるのかが分からず、(いわゆる待機児童になってしまう恐れがないか)希望の園に問い合わせをするまで不安だった。年度途中は入園希望月の前月20日までの申込となっているが、もし希望の園に入れなかったとしたら困るので、(そもそも市内に、定員に達してしまい入園出来ない園があるのか分からなかった。)とりあえず生後6ヶ月ごろに問い合わせをし、その後、希望の園の支援に参加していた。その流れが一般的だったのかどうかも分からない。園に預けるタイミングは人それぞれなので、細かいことまでは発信出来ないと思うが、自ら電話で問い合わせをするより先に、どの園にも定員が必ずあるので、せめて定期的に空き状況が分かると焦る事なく探す事が出来ると思った。
子育ての支援について、情報が届きづらいです。子ども園を通してプリント等で配布してもらえるとありがたいです。
最近藤岡市でも子供と一緒に参加できるイベントやマルシェが増えてきました。 行政でも積極的にイベント開催や告知をサポートし、「子育てが楽しい街づくり」を目指していただけることを期待しております。
・子どもを遊ばせながらママ同士がランチやカフェ、お茶が出来たりする施設がほしいです。 藤岡には1つもないのでモールや全国チェーン店などそういった施設があれば嬉しいです。
子供達や母親を守れる場所であってほしいです。夫からのDVやモラハラで、精神的にも身体的にもどん底まで落ちました。行政などの窓口もありましたが、最終的には自分自身で動かなければどうにもなりません。子供が子供らしくいられる環境、母親が自分らしくいられる環境は当たり前ではありませんでした。今は女性が仕事をしながら子育てをしなければ、経済的に厳しい世の中です。ぜひ、藤岡市が子供と母親ファーストの市(行政)であってほしいです。
保険センターの支援等で具体的なアドバイスや専門的な知識を教えて欲しいです。
習い事の情報も市の広報などでわかりやすくまとめてくれると利用しやすいと思いました。
子供の体や心について、気軽に相談できる医療機関が充実するといいいです。

- ・他県から引っ越してきたが、説明やサポートが不十分な気がした。(子育て支援センターについて、仕組みが分からず戸惑った。最初に、市内のどの支援センターに行ってもよいことや他市の支援センターに行ってもよいことなど知りたかった。)
- ・各園で行われている園庭解放や子育て支援は、どこまでが対象なのか知りたい。(例えば、夏休みなどの長期休業で園がお休みになった際、通っている園と違う園に出掛けて良いのか、園庭開放も公園の一つと捉えて自由に出掛けて良いのか知りたい。)
- ・各園で行われている子育て支援のシステムがバラバラなので、可能な限り統一してほしい。統一が難しければ、各園の予定表に明記してほしい。(プログラムの予約は毎月〇日～、内容に関わらず来所の際は電話が必要なのか、飲食可能なのか等)

仕事が忙しく、「藤岡市にどんな子育て支援サービスがあるのか」などを調べる時間すらないので、藤岡市で現在可能な子育て支援情報(病児保育や預かり制度等)を広報などに分かりやすく記載していただけると情報を得ることがしやすいかと思います。

⑤ 障害児施策

児童発達支援や放課後デイサービス等、療育施設において市内では、既に定員に満たしており、入ることが出来ない。また、働いていて施設との送迎時間が合わないところも多い。

放課後デイサービスに問い合わせ探しているが見つからず、市の福祉課や相談員に相談しても自分で一つ一つあたり探すしかない状況。働きながらで市外にまで問い合わせ見学を繰り返し負担が大きい。

また、色々見学に行っても環境やスタッフ等にも不安を感じる施設もある。

とても困っており、不安や負担が大きいです。来年度から療育をどうすれば良いかと悩んでいる状況。

有料支援は、ひとり親には手が出しづらいので、無料支援を増やして欲しいと思います。また、発達障害などに対応した支援も増やして欲しいです。対応している病院も少なく、交通費や拘束時間の長さに疲弊してしまいます。

現在、発達障害児を抱ながらフルタイムの共働きで生計を立てています。有給もなくなり、今後欠勤が慢性的に続けば処遇が危うい首の皮一枚繋いでる状態です。

何が言いたいかと申しますと、発達障害児故の登園拒否や登校拒否、定期的精神病院の受診や心理士への相談の為の有休消化などが、共働き夫婦の職場への処遇にダイレクトに影響しています。

今後、小学生へあがれば登校拒否問題や、学童問題も出てくるでしょう。働きたくても働けない日がやってくると、未来に希望が待てません。

朝早く、夜遅く放課後デイサービスもない。

情報を知らないだけなら、もっと藤岡市として情報を市民に発信してほしい。

ネットやデジタルを拡充して、スピードをあげて危機感をもって取り組んでもらいたい。

切実な願いです。

今回の様な、アンケートや聞き取り調査ありがたいです。声が届くことを願っています。

私の家は孫を祖母が引き取って育てていく生活をしています。障害をもっているので、これからの発達に注意しながら子育てをしていくつもりであります。やはり、体調が悪くなった時が心配です。

⑥ 仕事と家庭の両立

母親の仕事復帰に対して、ブラック企業であるため子育ての理解や協力がなく、法的に認められている権利さえ何度も話し合ってもようやく獲得できた。明らかにパワハラと分かっている、(組合もないため)意見を言っても聞く耳持たずで「気に入らないのなら辞めてもらっている」と言われる。社員たちは皆家族があり生活があるから泣き寝入りしている。そんな会社でも生活のために働き続けなければならないが、公共のサポートや法的制度を拡充させていたかないと、退職が民事訴訟の選択肢しかなくなる。育児で肩身の狭い思いをさせることがない社会にしてください。

超過勤務が多い職場で、パートになったからといっても、土日祝の仕事がお休み出来ません。そのような環境で子育てしているため、保育園の時間も長く、子供には、可哀想な寂しおもしろいをさせています。

病児保育も、利用時間が決まっていて、不便だし、仕事を休む分、どこかでしわ寄せが来ます。仕事を辞める事で、楽になるきはしますが、仕事を辞める=在宅介護が待っている感じです。高齢出産で、未就学児と介護が一気に来て、とても辛いです。

預かってくれる時間や、預かり所の拡大、利用条件など、ある程度フリーにしてもらえないかとも思います。

結局、高齢者の行き場がないことで、子育てしにくいです。

利用出来る時間を拡大していただけないでしょうか。

様々な支援があったとしても、利用出来る時間帯に、開園してなかったり、仕事終わり迄見ていただけないので、休むしかありません。そのような環境にある人も、利用しやすいように検討していただきたいです。

土曜日にも仕事になることがあるので、土曜日にも 19 時まで保育が可能になって欲しいなと思います。

昨年度までは 17 時だったのが、今年度からは 18 時まで可能になりましたが、18 時では、定時まで仕事をする、お迎えが間に合いません。従って、時間有休を取得しなければ行けなくなってしまいます。

仕事をしていないと保育へ預けにくい雰囲気があり保育所からも親が休みの場合は家庭でと言われている。今子育てをしながらの就労が思った以上に苦痛である。しかし周りが行っているし、就労の書類を毎年書いて提出をしなければならないので働いているが、育児の疲れが子どもへといくことが増えてきている。また、その書類を記入しているときも時々気が重くなるときもある。母親に向けた就労支援やセミナーは多くやっているが、就労したあとのケアや問題の解決方法など、市がサポートできるものの活動や情報が弱すぎる。

また個人差もあるが、病気がちな子どももあり、就労できる時間に周囲との差が生じていると思う。

普段から休みが多い子どもの場合はどうしたらいいのだろうかと思う。月に3日ほどしか通園できずに保育料がかかり、収入も減っている、家庭での看病で出費し、仕事への連絡の精神的な負担、保育所を休み看病をするだけで毎月様々な苦しみがある。

収入面での不安は大きく、働けずに収入が減り家にいると食費の増加など変動することが多く、保育所に登園できていないのに保育料がかかってしまい、せめて保育所の食費や副食費を日割にしてほしいと思っている。

もうひと段階子どもとより良く関わっていけるように母親の負担が軽くなるような子育て環境や支援ができれば良いと思う。

⑦ 経済的負担の軽減

いろんな物の物価高で消耗品のオムツやお尻拭きも少しづつ値段が上がり、たまには息抜きしたいベビーフードもお惣菜も節約のために諦めることがあります。小さい子がいる家はお金もかかる為、消耗品のオムツ等割引券などがあるととても助かります。

①未満児も保育料無償化してほしいです。

②学童の利用料もすべて無償化してほしいです。

高校生まで医療費が無料になったり、第一子から給食費が免除になったりいい方向に進んでいると思う。

今後は私立、公立関係なく、高校の授業料、大学の費用、教育に必要な資金なども支援してくれる制度を整えたいと思う。子供を育てるのにお金がかかるのは教育資金。ここの支援があると、仕事をセーブし、子供との時間も増やせることができ、心の余裕も出てきて、子育てに時間を費やせる。子どもの変化にも敏感になり、子どもの感情と寄り添いながら生活でき、結果、子供とのいい関係を作れる。

子育てにかかる費用の負担が少なくなったり、無償になったりが増えると良いなと思います。

・0～2歳児の保育料算定を前年所得で算出するのはやめてほしいです。育休明けには時短若しくはパート復帰になり必然的に正社員フル勤務の時より年収が下がるので。仕事をしないと家計が厳しいのでこの物価高のご時世に前年所得で計算されると家計を圧迫するのが目に見えていて不安です。

高崎市のように広く子育て支援に支援金を使ってほしい

藤岡総合病院跡地に、子育て支援の機能をもつ複合施設ができるようです。 その中の遊技場が有料であると聞きました。ぜひ無料にしてほしいです。有料施設である必要があるならそれは一部のみにして、無料の箇所を少しでも増やしてください。お願いいたします。 夏は厚すぎて冬は寒く、年の違う兄弟 3 人が屋内で同時に遊べる場所が少ないです。4 人目を産みたい気持ちはあるものの、年が離れるほど皆んなで楽しく安全に過ごせる場所が限られるので苦しく感じます。人数が増えるほど有料の遊び場は出費が嵩みます。県内の有料施設も、子沢山を歓迎して、こども 3 人目以降無料！などが増えるといいのになと思います。
・子育て応援券の年齢幅、利用施設の拡大。 ・保育料第 2 子無償化。近くだと玉村町は第 2 子無償化で、うらやましい。
上の子が小学生になっているからといって、2 人目なのに、保育料が半額ではないのが納得いかない。上の子が年少以上で在園中なら、保育料がかかってないのだから、小学生と何ら関係ないのではないのでしょうか。働いてる意味がないくらい取られるので、おかしいと思います。少子化とか言っている割に、こんなことしているのでは、産みたいとも思いません。
共働きだとしても保育料が高すぎて到底 2 人目などが考えられないこと もう少し保育料がどうにかありませんか
東京都や渋谷市のように、保育料が 1 人目から無料になったら本当にありがたい。また、2 人目保育料半額は、第一子が保育園に通園していなくても、2 人目であれば半額というふうにしてほしい。2 人分保育料がかかる時期が長くあり、経済的負担が大きすぎる。 子育て応援券の使い道をもっと増やしてほしい。最近、ピラティスにも使えるようになったが、とてもよいと思う。上の子の時はなかなか使いたいコンテンツがなく、せっかくいただいたが全て無駄になってしまった。また利用期限を 3 歳まで伸ばしてほしい。
学童費用も免除もしくは一部負担になると助かります。 保育園まではほぼお金がかからずに済んでいたものの小学校にあがると学校と学童にお金がかかるため、家計への負担が増え、仕事時間を増やすもしくは削りにくくなってしまいます。また、それにより子どもとの時間や精神的余裕もなくなり悪循環を感じています。
保育料、保育園に通園中の子が 2 人以上いるときだけ安くなるのではなく、第一子、第二子、第三子とその子供の人数に合わせて安くしてほしい。給食費は無料にして欲しい。オムツ代 1 年間無料等、藤岡市特有の新しいことをしてほしい。子育て世帯の減税。医療費 18 歳まで無料の継続。
上里町は保育料が無料になったと聞いて、非常に羨ましく思った。せめて、長女が卒園しても、二人目なのだから半額にして欲しい。保育園を卒園してもお金は変わらずかかる。国の子育て支援もほとんど恩恵が無いなか、子育てを支援されているという実感は一切無い。
未就学児 0 歳から保育料無償 市営団地の入居条件に子育て世帯も入れて欲しい。 妊婦健診の保険適用
非課税世帯だけが苦しいわけではないので子育て世帯全体的に支援金があればいいのに
子どものいる家庭は買わなくてはならない物が本当に多いためすべての税金を免除などもっと優遇していただければ、子どもが増えると思う。

最低限の食事や学用品、制服などなにをするにも費用が高すぎてしんどい。 共働きなのでなんの支援もないので母子家庭や生活保護の方を見るとうらやましい。 母子家庭でフルタイムで働いていなくて、生活にも特に困ってなさそうな人がたくさんいるのでなんだかなあと思うことは多々あります。
保育料が高い。保育料が高いから共働きをしなければいけない家庭が増えているような気がする。保育料が安くなれば、子供との時間も取れて心身ともに落ち着いて子供と向き合えると思う。
未満児の保育料の負担が大きい
市役所の子ども課の方たちはすごく丁寧な対応をしてくださりいつも感謝しています。 しかし1つ重要な課題に感じるのは保育料金が高いので3歳児未満の保育料減額、または無償化をして欲しいです。 やはり夫、または妻の片方の稼ぎだけでは豊かな暮らしができません。将来子供にかかるお金のことも考えると小さいうちから働き始めないと生活が困窮することが目に見えています。働いているのに保育料が高いと生活が困窮し、子供を育てられない不安から少子化に直結すると考えます。 現在、私も自身も第二子を欲しい気持ちはありますが経済的に考えると難しいのではないかと考えています。もっと子供を安心して育てられるような経済的援助があると非常に助かります。
体育着や制服など、必ず購入しなければならない物品は無償化していただけるとありがたいです。
コロナやインフルが流行った際、藤岡市の小児科の少なさがとても不便で子育ての環境が整っていないと感じた。 また、保育料も子供が未就学児の時にとても負担に感じ、短時間でパート勤務していたので働いている分が全て保育料で消えるような状態だった。 保育料など子育ての環境面では他の市の取り組みより遅れていると感じる。
所得があっても子供の人数により負担の大きさが違うので考慮していただきたい。
未満児の保育料が第2子でも、上の子が小学生に上がると満額になるのも、第2子なら半額のみままであって欲しいです。もしくは、未満児も無償化して欲しいです。

⑧ 遊び場

安全性の高い公園や児童館など充実させてほしい。
子育てしやすい環境をもっと増やした方がいいと思う。公園の遊具を沢山増やしたり、今ある遊べる所をそのままにせずに綺麗に保つなど。
子どもが遊べる室内施設があると助かります。
公園の遊具が撤去や使用禁止などにより利用できないことが多くなり、遊ぶ場所が限られてしまうため、もっと公園に遊具を設置して欲しい。
夏が暑すぎるので屋内で野球やサッカーができる施設があったら良いなと思います。
子供と気軽に遊びにいける場所プールや児童館など増やして欲しい。みずとぴあは混みすぎていたのと受付で、市内の人たちへの券売する際のアナウンスに不足を感じた。

幼児でも遊べる場所がもっと欲しいです。外で思いっきり遊ばせたいのですが、夏場は暑すぎて遊べませんし、雨が降ると帰らなければなりません。公園、室内遊び場がもっと欲しいです。子供を安心して遊ばせられて、雨、暑さがしのげて、昼食食べる場所があり、帰りに親の買い物も済ませられる立地だと最高です。個人的な理想は、子育てひろば(元気 21 内)、だれでも広場(旧ユートピア)、玉村北部公園、深谷テラスパーク、ケルナー広場(観音山)のような明るく安心して遊べる公園が増えてほしいです。 個人的な希望立地は、ベルク藤岡店周辺、セキチュー周辺、旧総合病院跡地にあったらなーと前から考えていました。 市内の公園施設利用の感想は、 児童館は、スタッフの皆様もとても明るくウェルカムな雰囲気です、すごく気持ちがいいです！混雑時は、感染症の不安もあるのでちょっと心配ですが、こんな施設が増えてほしいです。藤の咲く丘も整備されていて、明るい雰囲気で安心して遊べます。イベントをたくさん開いて盛り上げてほしいです。(アート作品展、ハンドメイド作家出店、イベント開催地として誘致、キッズヨガなど如何でしょうか?) また先日、ららん藤岡の噴水を子供と楽しんできました。とても楽しそうだったのですが、日差しが暑すぎて熱中症が怖く 15 分程しか居られなかったです。夏場だけでも噴水の上に日除けシートでもあったらなと思いました。あと、最近頑張っている鬼石方面のイベント行きたいのですが、2 歳児だとまだ遊べるか不安なので、大きくなったら連れて行きたいです。 総合学習センターは、妊娠中に散歩で行きましたが、草ぼうぼうで、不審者もいて、とてもいいイメージじゃなかったです。それきり行っていないので、遊具新設をさっき検索して知りました。未だに施設内でどんな事が出来るのか情報がなく分からないため、足が向きません。藤岡の公園は暗い雰囲気のところが多いです。
土日でも屋内で遊べる施設が欲しい。今のような夏の時期は屋外ではなかなか遊べない。または、防災公園などの大きな公園であれば、日除けのような大きな屋根(布の)など設置してほしい。
運動公園の整備をしてほしいです。グラウンドは芝生もきれいですがその周りのコンクリートがでこぼこしています。何年も変わってないように感じます。
公園をつくってください。大きいものでなくてかまいません。子どもがちょっと遊べるところでいいのです。遊ぶところがないから、家に庭もないから、自宅で遊ぶしかありません。ゲーム三昧です。
土日でも室内で遊べるところを作してほしいです。暑くて公園では遊べなかったりするので、アスレチックみたいなどがあるとよいです。
子どもが遊べる場所が少ない。新しくできた防災公園も、日陰が少なく夏場の利用が厳しい。屋内で遊べる施設は殆どなく、誘致などが必要と考える。足利市のきつずびあ、太田市の B のくにを見習ってほしい。
前橋にあるげんきプラザ 21 のような、親子で気軽に遊びに行き、図書館等も併設されているような施設があると大変ありがたいです。藤岡市には綺麗な公園はありとても嬉しいですが、猛暑日は公園で遊べず、また保育園幼稚園で子育て支援はやっているものの通園予定の保育園幼稚園以外の園には行きにくいので、そのような公の大きな施設があると子育てしやすい街であ

と感じると思います。
はいはいの子供達が遊べる場所がもっと欲しい。支援センターは午前中で終了してしまう所が多いので、午後自宅以外で遊べる場所がない。
夏場は暑いので子供たちが公園のように室内で遊べる施設が市内に欲しいです。
暑い日に涼しく遊べる施設が増えたら嬉しい。有料でも使うので土日也能るゲームセンターの中にある遊具施設のようなところが藤岡市にもほしい。夏は暑すぎて公園に行けない。
藤岡市の商業施設内（スーパー）にキッズスペースがある場所を作って欲しいです。施設内が無理だとしたら隣接した土地に公園が欲しいです。歩道がないところが多く子供と歩くことが難しいです。今度できる複合施設内にフードコートが欲しいです。コープ配送センター隣の公園に遊具を増やしてほしいです。
もっと子供がのびのび遊べる公園や、屋内施設がほしい。
子供の室内の遊び場がもっとあったらいいです。公園ももっとあったらいいです。
近くに子供を遊ばせられる公園や児童館がない。学区に一つくらいは中規模な公園があると嬉しい。 室内でも遊ばせられる場所があるともっと良いと思う。
防災公園、SNS でひろめられてあちこちから来るようになりました！総合公園の封鎖された遊具、ケルナー広場を作ったケルナーさんという方にデザイン建設をお願いしたいです！！藤岡に元々ある自然を生かした日を浴びながら遊べる施設をたくさん作って欲しいです。
・雨の日に子どもを遊ばせられる施設や日曜日に開いている無料で遊べる施設が欲しい。 ・快適に過ごせる公園が増えたり、既にある公園がもっと利用したくなるように環境整備されたりしてほしい。 ・ベビーカーや幼児が安全に歩ける道路（緑道など）がほしい。安全に散歩したり、散歩して公園に行けたりが理想。
遊び場が増えると良いなと思います。あれもダメこれもダメじゃ居心地が悪いです。

⑨ その他

子供の相談や一時預かりは、普段利用している保育園や施設がいいが、最近は保育士の園児への虐待のニュースを見ると、プライバシーも大事だか、防犯カメラの設置も考えさせられる。
オーガニック給食 地産地消 給食を取り入れて欲しい
地域の事です、夏場の早朝の草むしり、下水道の掃除してほしいと案内が来ますが、夫が単身赴任中のため、基本的に家に大人は1人しかいなく子供の月齢が若いこともあり参加することが困難です。朝早いこともあり、預けるのも大変です。せめて1歳になる位まで免除していただけるとありがたいです。
明石市のように世間から注目される子育て支援制度に期待しています。
子供タクシーを取り入れている自治体があるが、仕事でお迎えに行けない時などとても助かると思う。

高齢者人口が多く財政難な藤岡市に望むのは酷だと思いますが、子供が天候や曜日を関係なく遊べる施設や未満児の保育料の軽減制度、発熱時の預け先制度などあれば助かります。

望むだけでなく、農業や自然資源を活用した観光、都内から軽井沢への一休みの場などとして藤岡市の活用法を民間でも考え活動していきたいと思います。

アンケートが長すぎる。子育てしてる人にそんな時間はない。

藤岡市子ども・子育て支援事業計画に係る ニーズ調査結果報告書

令和6年11月発行

発 行 藤岡市

編 集 藤岡市健やか未来部子ども課

■藤岡市

〒375-8601 群馬県藤岡市中栗須 327 番地

TEL 0274-22-1211（代表）

市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>
